

2024年度

学生便覧

芸術学部 [音楽学科]

[美術学科]

社会学部 [地域社会学科]

短期大学部 [保育科]

[専攻科保育専攻]



札幌大谷大学
札幌大谷大学短期大学部

目 次

建学の精神	7
札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部 三つのポリシー	7
芸術学部音楽学科 教育目標・三つのポリシー	7
芸術学部美術学科 教育目標・三つのポリシー	7
社会学部地域社会学科 教育目標・三つのポリシー	7
短期大学部保育科 教育目標・三つのポリシー	7
短期大学部専攻科保育専攻 教育目標・三つのポリシー	7
2024年度学年暦	7

I. 組織図

I-1. 組織図	9
I-1-1. 大学・短期大学部組織図	9
I-1-2. 事務局組織図と担当窓口	9

II. キャンパスライフ

II-1. 学生生活を始めるにあたって	11
II-1-1. 学生証・学籍番号	11
(1) 学生証 (2) 学籍番号	
II-1-2. 学生原簿	12
II-1-3. 通学定期券の購入	12
II-1-4. 学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）の利用	12
(1) 申込方法 (2) 使用上の注意	
II-1-5. 各種証明書の交付	13
II-1-6. 諸届・諸願の種別及び提出	14
II-1-7. 校舎等の使用	14
(1) 校舎の使用 (2) 大谷記念ホールの使用	
(3) 学内の施設及び備品の使用 (4) ラーニングコモンズの使用	
(5) コンピュータ教室の使用	
II-1-8. 事務局窓口受付時間	18
II-1-9. 学生への連絡	19
(1) 連絡方法 (2) 学生ポータルサイト	
II-1-10. Rapporti（学生食堂）	19

Ⅱ－１－11. 緊急時の避難	19
(1) 火災を発見した場合 (2) 火災報知器が鳴った場合	
(3) 地震が発生した場合	
(4) Jアラート（全国瞬時警報システム）発動時の対応	
Ⅱ－１－12. 学生の心得	20
(1) 通学 (2) 喫煙 (3) アルバイト求人・ボランティア	
(4) 学生ロッカー (5) 落し物 (6) 持ち物 (7) 掲示物	
(8) 配布印刷物 (9) 禁止事項 (10) 日常生活 (11) 環境保全	
Ⅱ－２. 学生生活の設計	23
Ⅱ－２－１. 奨学金・授業料減免・特待生制度	23
Ⅱ－２－２. 教育ローン	24
Ⅱ－２－３. 国民年金	24
Ⅱ－２－４. 健康管理	24
Ⅱ－２－５. 学生保険	24
Ⅱ－２－６. キャンパス・ハラスメント	25
Ⅱ－２－７. 課外活動	26
(1) 課外活動団体への加入 (2) 学生団体の諸手続	
(3) 学生団体一覧	
Ⅱ－２－８. 学外行事	27
(1) 学外行事参加の許可願い (2) 学外演奏の許可願い	
Ⅱ－３. 学費等納付金	28
Ⅱ－３－１. 芸術学部音楽学科	28
(1) １年次入学の学費・委託諸費 (2) 教職課程履修費	
(3) ３年次編入学の学費・委託諸費	
Ⅱ－３－２. 芸術学部美術学科	29
(1) １年次入学の学費・委託諸費 (2) 教職課程履修費	
(3) ３年次編入学の学費・委託諸費	

【表紙デザイン】

札幌大谷大学芸術学部美術学科
メディア表現領域卒業

淡 谷 実 来

Ⅱ－３－３．社会学部地域社会学科	30
(1) 1年次入学の学費・委託諸費 (2) 教職課程履修費	
(3) 2年次編入学の学費・委託諸費 (4) 3年次編入学の学費・委託諸費	
Ⅱ－３－４．短期大学部保育科	32
(1) 学費・委託諸費 (2) 教職課程履修費・保育士養成課程履修費	
Ⅱ－３－５．短期大学部専攻科保育専攻	32
(1) 学費・委託諸費 (2) 教職課程履修費	
Ⅱ－３－６．学費等納付金	33
Ⅱ－４．キャリア支援	34
Ⅱ－５．図書館	34

Ⅲ．学修

Ⅲ－１．学修に関する留意事項	35
Ⅲ－１－１．学期	35
Ⅲ－１－２．授業計画表・授業時間・時間割	35
Ⅲ－１－３．履修登録・履修訂正・履修放棄	35
(1) 履修登録 (2) 履修訂正 (3) 履修放棄	
Ⅲ－１－４．履修人数の制限	35
Ⅲ－１－５．履修登録の年間上限単位数	36
(1) 音楽学科 (2) 美術学科 (3) 地域社会学科 (4) 保育科	
(5) 専攻科保育専攻	
Ⅲ－１－６．休講・補講・集中講義	36
(1) 休講・補講 (2) 集中講義	
Ⅲ－１－７．出席・欠席・遅刻・早退	36
(1) 出席・欠席 (2) 遅刻・早退	
Ⅲ－１－８．単位	38
Ⅲ－１－９．評価対象・単位修得	38
(1) 評価対象 (2) 単位修得	
Ⅲ－１－10．成績評価とGPA制度	39
Ⅲ－１－11．GPAによる履修指導・履修登録上限単位数の再設定・進級判定	39
(1) 半期（1学期）GPAによる履修指導	
(2) 通算（累計）GPAによる履修登録上限単位数の再設定	
(3) 通算（累計）GPAによる（大学4年次への）進級判定	
Ⅲ－１－12．成績についての異議申し立て	40
Ⅲ－１－13．オフィスアワー	41
Ⅲ－１－14．大学の他学部他学科における授業科目の履修等	41

Ⅲ－１－15. 他の大学または短期大学における授業科目の履修等	41
Ⅲ－１－16. 大学と短期大学部における単位互換科目の履修等	41
Ⅲ－１－17. 大学または短期大学以外の教育施設等における学修	41
(1) 大学 (2) 短期大学部保育科	
Ⅲ－１－18. 入学前の既修得単位の認定	42
Ⅲ－１－19. 合理的配慮	42
Ⅲ－２. 試験に関する留意事項	43
Ⅲ－２－１. 学期末試験・レポートや作品等の課題提出	43
Ⅲ－２－２. 遵守事項	43
Ⅲ－２－３. 不正行為	43
Ⅲ－２－４. 試験欠席・追試験	44
Ⅲ－２－５. レポート	44
Ⅲ－３. 学籍に関する留意事項	45
Ⅲ－３－１. 修業年限と在学年限	45
(1) 大学 (2) 短期大学部	
Ⅲ－３－２. 休学・退学の手続き	45
Ⅲ－３－３. 休学を希望する場合	45
(1) 休学 (2) 後期１学期の休学を希望する場合	
(3) 前期１学期または１年間の休学を希望する場合 (4) 中途休学の場合	
(5) 休学期間経過後他	
Ⅲ－３－４. 退学を希望する場合	46
(1) 年度末退学を希望する場合 (2) 中途退学を希望する場合	
Ⅲ－３－５. 転学	46
Ⅲ－３－６. 除籍	47
Ⅲ－３－７. 長期履修制度	47
Ⅲ－３－８. 音楽学科の転コース	47
Ⅲ－３－９. 芸術学部の研究生	47
(1) 音楽専攻 (2) 美術専攻	
Ⅲ－４. 大学の教育職員免許状	48
Ⅲ－４－１. 教育職員免許状の取得	48
Ⅲ－４－２. 教職課程の科目	48
Ⅲ－４－３. 教職課程履修費	49
Ⅲ－４－４. 教職課程履修の申込み	49
Ⅲ－４－５. 教職課程履修の取り止めの手続き	49
(1) ２年生以上 (2) １年生 (3) 全学年共通	
Ⅲ－４－６. 教職課程の履修要件	49

Ⅲ－４－７．介護等体験	49
Ⅲ－４－８．教育実地研究（教育実習）実施の要件	50
Ⅲ－４－９．教職課程の履修の継続要件	50
Ⅲ－５．社会福祉主事（任用資格）	51

Ⅳ．芸術学部音楽学科の学修

Ⅳ－１．卒業要件単位数	53
Ⅳ－２．授業科目情報	54
Ⅳ－３．履修モデル	62
Ⅳ－４．教育職員免許状の取得	76
Ⅳ－５．実技演奏法（レッスン）の主専攻・副科・副専攻	79
Ⅳ－６．日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）受験資格と全国音楽療法士養成協議会 音楽療法士（１種）称号の取得	81

Ⅴ．芸術学部美術学科の学修

Ⅴ－１．卒業要件単位数	91
Ⅴ－２．授業科目情報	92
Ⅴ－３．履修モデル	98
Ⅴ－４．教育職員免許状の取得	100

Ⅵ．社会学部地域社会学科の学修

Ⅵ－１．卒業要件単位数	103
Ⅵ－２．授業科目情報	104
Ⅵ－３．履修モデル	110
Ⅵ－４．教育職員免許状の取得	118
Ⅵ－５．社会調査実務士と社会調査アシスタントの取得	122
(1) 社会調査実務士・社会調査アシスタント	

Ⅶ．短期大学部保育科の学修

Ⅶ－１．卒業要件単位数	123
Ⅶ－２．授業科目情報	124
Ⅶ－３．幼稚園教諭二種免許状の取得と「教育実習Ⅱ」履修資格	126
Ⅶ－４．保育士資格の取得と保育実習の履修資格	129
Ⅶ－５．履修モデル	132

VIII. 短期大学部専攻科保育専攻の学修

VIII－1. 修了要件単位数	133
VIII－2. 授業科目情報	134
VIII－3. 幼稚園教諭一種免許状の取得	135
VIII－4. 学位授与機構への申請	137
VIII－4－1. 学位授与機構申請のための単位修得	137
VIII－4－2. 学位授与機構申請用科目分類一覧	138
VIII－5. 履修モデル	139

IX. 札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部副専攻（マイナープログラム）

IX－1. 副専攻（マイナープログラム）とは	141
IX－2. 履修登録	141
IX－3. 修了認定の要件	141
IX－4. 各種プログラム（履修体系）	141
(1) 音楽実技系レッスン [楽器名又は専攻科目名] (2) 音楽指導 [ピアノ]	
(3) 音楽指導 [吹奏楽・合唱] (4) 音楽文化 (5) 総合造形	
(6) 美術教養 (7) 総合デザイン (8) 地域メディア	
(9) コミュニティデザイン (10) インターンシップ	

X. 資料

147

建学の精神

<https://www.sapporo-otani.ac.jp/about/establishment/>

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部 三つのポリシー

<https://www.sapporo-otani.ac.jp/about/three-policy/>

芸術学部音楽学科 教育目標・三つのポリシー

<https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/music/general/>

芸術学部美術学科 教育目標・三つのポリシー

<https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/art/general/>

社会学部地域社会学科 教育目標・三つのポリシー

<https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/society/general/>

短期大学部保育科 教育目標・三つのポリシー

<https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/nursery/general/>

短期大学部専攻科保育専攻 教育目標・三つのポリシー

<https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/nursery/general/>

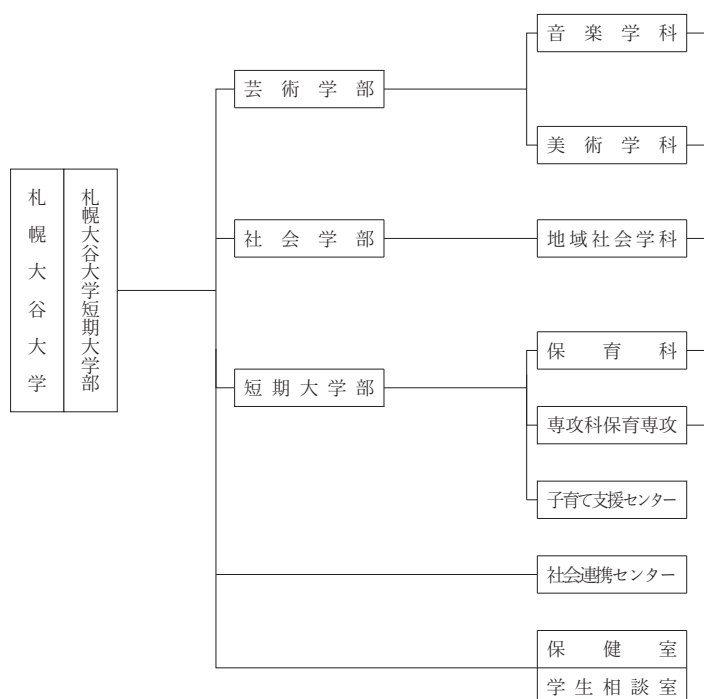
2024年度学年暦

<https://sites.google.com/sapporo-otani.ac.jp/gakuseiportalsite/ホーム/-学年暦?authuser=0>

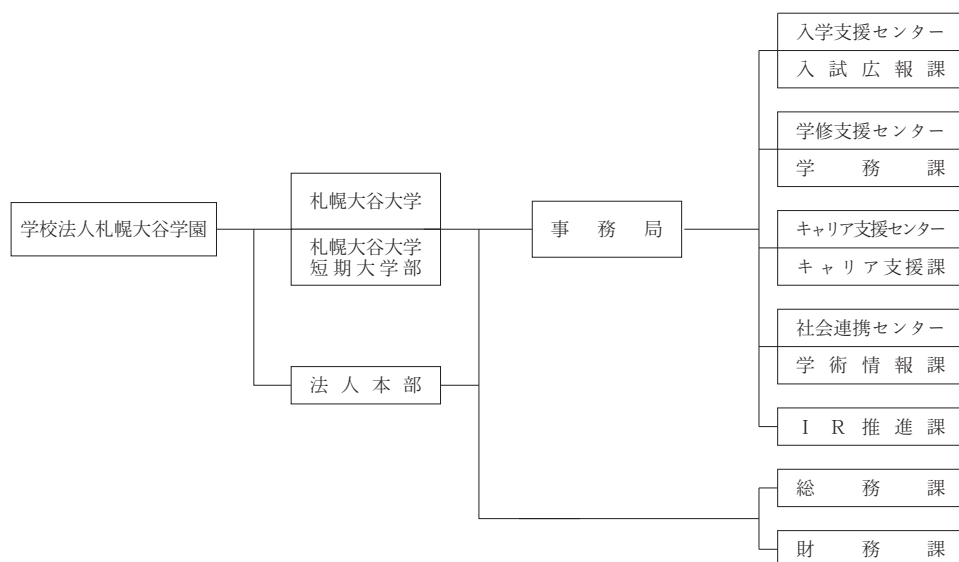
I. 組織図

I - 1. 組織図

I - 1 - 1. 大学・短期大学部組織図



I - 1 - 2. 事務局組織図と担当窓口



学 生 に 関 す る 業 務 内 容	担 当 課 担当課の電話番号
○入学者選抜のこと ○広報のこと ○学生募集のこと	入試広報課 011-742-1643 (直通)
○カリキュラムや時間割、履修のこと ○授業料の減免のこと ○成績・単位取得のこと ○学生保険のこと ○休学・復学・退学など学籍のこと ○保健室のこと ○資格・免許のこと ○アパートなどの紹介のこと ○実習及びインターンシップなどのこと ○アルバイトのこと ○授業に関する教室等使用管理のこと ○自治会活動のこと ○成績証明書などの発行のこと ○サークルなど課外活動のこと ○学生証・学割の発行のこと ○自転車通学のこと ○各種奨学金のこと ○住所変更や保証人のこと	学 務 課 011-742-2233 (直通)
○就職活動に必要な証明書の受付のこと ○求人の紹介や斡旋のこと ○キャリア支援講座のこと ○インターンシップのこと ○進路に関する相談のこと ○札幌大谷キャリア支援プログラムのこと ○資格取得活動のこと	キャリア支援課 011-742-1607 (直通)
○図書館のこと ○社会連携センターに関すること ○パソコンのこと	学術情報課 011-741-3681 (直通)
○学校行事に関すること ○学内施設（破損・修理・交換）のこと ○同窓会のこと	法 人 本 部 総 務 課 011-742-1651 (代表)
○学費等の徴収に関すること ○提携教育ローンのこと ○教育後援会のこと	法 人 本 部 財 務 課 011-742-8804 (直通)

土・日・祝・学校休業日は電話対応を行っておりません。

窓口受付時間はⅡ－１－８．事務局窓口受付時間をご参照ください。

Ⅱ. キャンパスライフ

II-1. 学生生活を始めるにあたって

II-1-1. 学生証・学籍番号

(1) 学生証

学生証は本学の学生であることを証明するものです。常に携帯し、その取り扱いに注意してください。

- ① 他人に貸与または譲渡してはいけません。
- ② 学生証は紛失及び盗難並びに汚損などのないよう取り扱いに注意してください。もし、紛失した時や盗難にあった場合は、必ず学務課へ届け出てください。
- ③ 学生証の記載事項について変更が生じた場合は、学生原簿変更届を学務課に提出してください。変更内容により新たな顔写真を提出してもらう場合があります。
- ④ 学生証は試験の受験、各種証明書の交付のほか、下記の場合にも必ず提示しなければなりません。
 - ・学割証を使うとき
 - ・定期券を購入するとき
 - ・本学の教職員から提示を求められたとき
- ⑤ 学生証の情報盗難に注意してください。
- ⑥ 退学及び除籍などで本学学生の身分を失った場合は、直ちに学務課へ学生証を返却してください。
- ⑦ 氏名は常用漢字で印字されています。(本学で発行するものの氏名はすべて常用漢字を使用します。)

(2) 学籍番号

学生証には7桁の学籍番号が印字されています。この学籍番号をもとに学籍及び履修登録並びに成績などを電算処理しています。試験の答案用紙及びレポート並びにその他の手続書類には、学籍番号を正確に記入してください。



Ⅱ－１－２．学生原簿

入学時の４月に学務課へポータルシステム「Campus-Xs」から学生原簿を提出します。

氏名などの漢字は常用漢字にて入力し、３ヶ月以内に撮影した顔写真を学務課へ提出するか、メールにより提出してください。

また、学内での急病及び事故などの際に保護者への緊急連絡先として使用しますので、保護者の連絡先（携帯電話・メールアドレス）、勤務先等も必ず記入してください。

なお、住所などに変更があった場合は速やかに「学生原簿変更届」を学務課へ提出してください。

Ⅱ－１－３．通学定期券の購入

通学定期券の購入は、定期券発売所備え付けの「定期券購入申込書」と次の必要書類を定期券発売所へ提出し購入してください。乗車区間及び経路については、自宅から大学までの最短の区間が基本となりますが、地下鉄及び市電部分については希望の区間で購入できます。ただし、教育実習など正課教育の実習に関しては学務課に申し出てください。

購入時必要書類 交通機関	新 規		継 続	
	学 生 証	通学証明書等	学 生 証	旧 定 期 券
J R（列車・バス）	○	○	○	○
札幌市営（地下鉄・市電）	○	×	○	○
中央バス	○	○	○	○

○…購入時必要 ×…必要なし

- ① J R及び中央バスの通学証明書は学務課で発行しています。学生証を添えて定期券発売所へ申し込んでください。
- ② 札幌市営交通（地下鉄・市電）は市営交通各定期券発売所で購入してください。
- ③ 「中央バス⇔地下鉄」の乗り継ぎ定期券は、市営交通各定期券発売所で購入してください。
- ④ 「J R⇔地下鉄」の乗り継ぎ定期券はありませんので、各定期券販売所で購入してください。

Ⅱ－１－４．学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）の利用

JRでは学生が帰省及び課外活動並びに就職試験などで列車を利用する場合の制度を設けています。片道101kmを超えて利用する場合に、２割引で乗車券を購入することができます。

なお、研究生及び科目等履修生は対象となりません。

(1) 申込方法

- ① 申込書に必要事項を記入して、学生証を提示し、学務課に申し込んでください。
- ② 交付は原則として申込を受付した翌日の13時以降になります（土・日・祝日を除く）。長期休業、連休前は交付まで日数を要する場合がありますので、余裕を持って申し込んでください。

(2) 使用上の注意

- ① 学割証を使用する場合は必ず学生証を携帯すること。
- ② 有効期限は交付日から３カ月間です。
- ③ 以下の場合是不正使用となり、使用区間の普通旅客運賃とその２倍に相当する額の追徴金の請求、通学定期券の発売中止、大学に対する学割証の使用停止などの罰則が課される場合がありますので、取り扱いに注意してください。
 - ・学生証を携帯しないで使用したとき

- ・他人名義や、無効の学生証で交付を受け使用したとき
- ・他人に譲渡、または貸与したとき
- ・その他不正使用したとき

II-1-5. 各種証明書の交付

- ① 証明書は必要な手数料分の証紙を学内の証紙販売機で購入し、申込書に貼付し学務課で申し込んでください。
- ② 交付は申込を受付した翌日の13時以降になります（土・日・祝日を除く）。英文証明書については、窓口で確認してください。
- ③ 受取の際は学生証を提示してください。なお、代理人による証明書受取の場合、本人の学生証または身分証明書（運転免許証、保険証）の写し等の提示が必要です。
- ④ 就職に必要な証明書は、キャリア支援課で確認してください。

証明書名	証明内容・使用用途等	手 数 料 (各1通)
成績証明書	学修成績の証明。就職活動先への提出等に使用。修得した科目名、単位、評価が記載。	200円
単位修得証明書	学修成績の証明。進学先への提出等に使用。修得した科目名、単位、修得年度が記載。	
在学証明書	在学していることを証明。	
在籍証明書	休学中に在籍していることを証明。	
卒業見込証明書	大学・短期大学部保育科卒業学年対象。卒業が見込まれていることを証明。	
修了見込証明書	短期大学部専攻科保育専攻修了学年と研究生が対象。修了が見込まれていることを証明。	
健康診断証明書	卒業及び修了学年対象。ただし、当該年度の5月末までに本学の指定する医療機関で受診している者に限る。	
学力に関する証明書	教員免許状申請時に必要な証明書。	
免許状取得見込証明書	教職課程履修者卒業学年対象。教員免許状を取得する見込みであることを証明。	
資格取得見込証明書 (保育士)	短期大学部保育科卒業学年対象。保育士資格を取得する見込みであることを証明。	
推薦書	就職活動、奨学金申請等に使用。	1,000円
成績証明書（英文）	上記成績証明書と同じ	
在学証明書（英文）	上記在学証明書と同じ	
卒業見込証明書（英文）	上記卒業見込証明書と同じ	無料
通学証明書・学割証等	公共交通機関を学生料金で利用する際に使用。	
学生証	紛失・汚損時のみ再発行。学生証申込時には要写真。	500円
その他証明書	学務課までお問い合わせください。	

Ⅱ－１－６．諸届・諸願の種別及び提出

- ① 学生及び保証人に、改姓・改名・保証人変更・住所・電話番号に変更があった場合は、直ちに学務課へ届け出てください。
- ② その他の諸届及び諸願は下記の「諸届及び諸願一覧」を参照のうえ、提出してください。

〔諸届及び諸願一覧〕

種 別	時 期	参 照 項 目	用紙設置場所
休 学 願	そ の 都 度	休学手続きについてⅢ－３－３参照 復学手続きについてⅢ－３－３(5)参照	学務課
退 学 願	そ の 都 度	退学手続きについてⅢ－３－４参照	
学期末試験欠席届	〃		
再 試 験 願	〃		
変更届(学生調書)	〃		
変更届(保 証 人)	〃		
変更届(氏 名)	〃	戸籍抄本を添付のうえ提出	
学生団体結成願	〃	学生団体の結成及び継続についてⅡ－２－７参照	
被 害 ・ 紛 失 届	〃	落し物についてⅡ－１－12参照	
事故・病気報告書	〃		
授 業 欠 席 届	〃	やむを得ない理由による欠席について Ⅲ－１－７参照	
教室使用許可願	〃	教室使用の許可願についてⅡ－１－７参照	記帳台
学外行事参加許可願	〃	学外行事参加の許可願についてⅡ－２－８参照	

Ⅱ－１－７．校舎等の使用

(1) 校舎の使用

- ① 在学時間
 - ・通常授業期間 7時30分から22時00分（教室使用は21時45分）
2024年度は2024年4月1日～2024年7月29日
2024年9月7日～2025年1月27日とします。
 - ・通常授業期間外 7時30分から21時00分（教室使用は20時45分）
- ② 日曜日及び祝日並びに休暇中（夏期・冬期・春期）の使用
 - ・登校者は登校簿に記入してください。
 - ・火気及び電気器具並びにガス器具は特別な場合を除いては使用できません。
 - ・全館に暖房（冬期間）が入りません。
- ③ 登校制限日
次の場合には登校できません。年末年始及び盆休み中は玄関を閉鎖します。
 - ・年末年始（12月29日から1月3日）
 - ・盆休み（8月13日から8月16日）

- ・入試準備日及び入試日（日程が決まり次第都度お知らせします）
 - ・その他、登校制限がかかる場合はお知らせします。
- ④ 冬期間の暖房
- ・土曜日は授業で使用する教室以外暖房が入りません。
 - ・集中暖房の教室は授業終了後暖房が入りません。
 - ・冬期間は電気ストーブを貸出します。使用する際は正面玄関横の警備室へ申し出てください。
- ⑤ 使用後の確認
- 教室を最後に退室される方は、電気及び冷暖房の電源を切って、窓が開いていないか確認してください。
- ⑥ 「教室使用許可願」の提出
- ・クラブ活動等で教室を使用する場合は、「教室使用許可願」を使用日の5日前までに学務課へ提出し、許可を得てください。
 - ・教室を使用できる時間は通常授業期間は18時20分から21時45分までです。通常授業期間外は7時30分から20時45分まで使用可能です。
 - ・在学時間の21時または22時には玄関を出るようにしてください。
 - ・教室内の備品は移動しないでください。
 - ・教室内の電子機器は触らないでください（設定などが変更され授業に支障をきたします）。
- ⑦ 卒業生の使用
- ・卒業生が教室（含レッスン室）を使用する場合は、使用希望日の7日前までに総務課へ届出が必要となります（有料）。
 - ・在学生と卒業生が一緒に使用する場合は、事前に総務課へ届出が必要となります（有料）。
- ⑧ 学内施設の使用に関わる提出書類・使用料の有無

使 用 者	使用料の有無	提 出 書 類
本学学生	無料	教室使用許可願
本学学生＋本学教員	無料	施設・備品使用予約申込書 ※学務課までご相談ください
本学学生＋外部	有料	
本学学生＋本学教員＋外部	有料	

※「外部」には卒業生及び非常勤講師も含まれます。

- ⑨ B棟4階の体育館
- B棟4階の体育館は授業で使用する以外、立入禁止です。
- ⑩ コンセントの使用
- 校舎内のコンセントの私的な使用（携帯電話の充電、ヘアアイロン等の使用）は禁止です。
- ⑪ 内線電話の使用
- 教室に設置されている内線電話は、緊急時以外学生が使用することはできません。
- ⑫ 印刷室
- B棟1階の印刷室は学生立入禁止です。コピー機を使用する場合は、図書館及びB165（音楽学科研究室）前、D202（美術学科研究室）前に設置してあるコピー機を利用してください（有料）。
- ⑬ 非常勤講師室
- B棟1階の非常勤講師室は学生立入禁止です。
- ⑭ 証紙販売機及びコピー機の集金作業を月末に行います。その間は使用できません。

(2) 大谷記念ホールの使用

学生は、事前に学科へ企画書を提出し、学長が認めた場合「大谷記念ホール」を有料で 사용할 ことができます。ただし、無料（チケット代など）の催しであることを条件とします。

使用が認められた後、速やかに「教室使用許可願」に企画書の写しを添付して学務課へ提出してください。ホールの空き状況により、貸出できない場合もあります。企画書のための提出ではホールの使用はできません。

また、出演者は本学教員及び非常勤講師並びに学生のみとし、卒業生の出演及び門下生（教員主催扱い）の発表会は認められません。詳細は学務課までお問い合わせください。

(3) 学内の施設及び備品の使用

- ① 施設及び備品には禁止及び留意事項があります。破損などがあった場合は、学務課までお知らせください。
- ② 大学の備品を使用する場合は、「備品等借用申請書」を学務課へ提出してください。
- ③ 学外に譜面台、楽器などを持ち出す場合は事前に学務課へ申し出てください。返却の際、破損などがあった場合は全額自己負担で修理または弁償となります。
- ④ B113、B160、C111のトナー及び用紙を補充する場合は、学務課に申し出てください。
- ⑤ 火気の使用は、授業や課外活動での使用以外は禁止です。
- ⑥ 学内の備品などを故意に破損（本来の使用以外で使用）したときは、全額自己負担で修理または弁償となります。この際、本学で加入している保険は対象外となります。

(4) ラーニングコモンズの使用

ラーニングコモンズは、図書館などに設置される総合的な自主学修を支援する環境です。

詳しくは下記サイトをご確認ください。

URL: <https://sites.google.com/sapporo-otani.ac.jp/ocis/%E6%95%99%E5%AE%A4%E3%81%AE%E5%88%A9%E7%94%A8/%E3%83%A9%E3%83%BC%E3%83%8B%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%82%B3%E3%83%A2%E3%83%B3%E3%82%BA-%E3%81%AE%E4%BB%95%E6%A7%98%E3%81%A8%E4%BD%BF%E3%81%84%E6%96%B9?authuser=0>

(5) コンピュータ教室の使用

① コンピュータ教室

パソコンを設置している教室は以下のとおりです。

B113、B160、C111

② 連絡事項

- ・用紙の補充やトナーを交換する場合、学務課まで直接伝えること（内線は使用禁止）。
- ・印刷済の用紙で使用しないもの（ミスプリント等）は、自分で廃棄すること。
- ・最後に退室する方は、教室の電気及びエアコン等を消すこと。
- ・個別対応 [B160のマウスとキーボードの電池]

電池が消耗した場合、コンピュータの電源を消してから他のコンピュータに移動すること。決して他の台のマウスを持ちこんで使用しないこと。電池の交換は、学務課まで直接伝えること。

③ 禁止事項

- ・教室内の飲食
- ・備品（ヘッドフォン等）の持ち出し
- ・私的な印刷及び大量印刷目的での使用
- ・その他 コンピュータ教室で授業を実施している場合、履修者以外の入室及びパソコンの使用はできません。

コンピュータ教室は、教職員が不定期で巡回します。教室内（特に机上）で、飲食に関わるものを発見した場合、教室内で飲食をしたとみなす場合もあります。禁止事項（教室内の飲食や備品の紛失等）があった場合、個人の使用を制限する場合があります。

また、コンピュータ教室の使用状況が著しく悪いと判断された場合は、授業時間外の使用を制限する場合があります。利用マナーを守り、みなさんが快適に利用できるようご協力をお願いします。

④ 貸出用ノートパソコン（学内での使用に限定）

学内で自由に使用できるノートパソコンがあります。希望者は図書館カウンターで手続きしてください。

⑤ オンライン授業用パソコン

長期間の貸出ができるパソコンを用意しています。希望者は図書館カウンターで手続きしてください。

飲食禁止教室					
A棟	5階	A 502～508	C棟	1階	C 111
B棟	1階	B 113			C 114～115
		B 151～158		C 201	
		B 160～162		C 205～209	
	2階	B 255～261		C 215	
	3階	B 351～357		3階	C 301～315
		B 359～388	1階	D 101～105	
4階	B 402～403	5階	D 503		
			K棟	1階	K 105 (食事のみ禁止)
				2階	K 202
				3階	K 302～303

土足禁止教室		
A棟	4階	A 405
	5階	全教室
B棟	1階	B 113
C棟	1階	C 106
	2階	C 215
K棟	3階	K 302～303

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部 情報セキュリティポリシー 学生向けガイドライン

本ガイドラインは、学内にてコンピュータや学生用ネットワークを利用するにあたって遵守すべき事項および注意事項を定めたものです。

全ての学生は本ガイドラインを遵守し、情報の取り扱いについては細心の注意を払うこと。

また、不正使用を行ったときは、学則、その他の諸規則に従って処分を受けることがあります。

－遵守事項－

1. 個人に付与されたID、パスワード、メールアドレスは他人と共用しないこと。
2. コンピュータの損傷（ウイルス等）、情報漏えいを避けるため信頼性が低いと思われる Web サイトへのアクセスまたはダウンロードなどを行わないこと。
3. 学内で公開されている情報をみだりに学外に持ち出さないこと。
4. ウイルス等に感染した恐れがあるときは、すぐにネットワークケーブルを抜くなどしてネットワークを止め、至急管理者に連絡すること。

－注意事項－

1. 本学に設置されたコンピュータを利用する際、USB メモリ等の外部記憶装置を使用時にはウイルス等の感染被害防止策として、ウイルスチェックを実行したあとに利用することが望ましい。
2. 電子メール（Web メール等）利用の際は、送受信する内容を十分に考慮し機密性を保持すること。
3. 電子メール（Web メール等）送信時、添付ファイルに機密情報（個人情報等）を含む場合は、情報漏えいを防ぐため、添付ファイルにパスワードを設定して送信することが望ましい。
4. 電子メール（Web メール等）を送付する際は送り先アドレスを十分に確認すること。
5. 学業に無関係な情報を入手して通信回線を混雑させないこと。
6. 各自の重要な情報は各自で管理すること。

以上 〔情報環境委員会〕

Ⅱ－1－8．事務局窓口受付時間

月曜日～金曜日 9時00分～17時00分

土・日・祝日 休業

※事務局受付時間外・土・日・祝日・休暇中の教室の鍵貸出は正面玄関横の警備室で対応します。

II－1－9．学生への連絡

(1) 連絡方法

学生への連絡は、掲示及び学生ポータルサイト又はメールで行います。毎日1回は必ず確認してください。

(2) 学生ポータルサイト

学生生活に必要な情報が掲載されている本学専用のサイトです。

URL: <https://sites.google.com/sapporo-otani.ac.jp/gakuseiportalsite>

II－1－10. Rapporti (学生食堂)

Rapporti (ラッポルティ)

ラッポルティとは、イタリア語で“人と人とのつながり”という意味です。人と人、人と食とが向き合い、つながってゆく食堂になれば、という願いが込められています。

営業時間

Rapporti 11時30分から14時00分

休業日

土・日・祝日及び休暇中

II－1－11. 緊急時の避難

学内の非常装置（火災報知器・避難器具・消火器など）と避難方法を普段から確認し、万一非常事態が発生した場合は、教職員の指示や学内放送に従って行動してください。

(1) 火災を発見した場合

- ・火災報知器のボタンを押す。
- ・大声で近くにいる人や教職員に知らせ、事務局または正面玄関横の警備室に連絡をする。
- ・手短な消火器または水を使って初期消火につとめる。

(2) 火災報知器が鳴った場合

- ・放送による指示に従い、すみやかに落ち着いて行動をとる。
- ・火気使用時は、火気の始末をし、ガスの元栓を閉じる。

(3) 地震が発生した場合

- ・落下物から身を守るとともに出口を確保する。
- ・校舎外への避難は、教職員の指示に従い勝手な行動はとらない。
- ・本学周辺の一時避難場所は避難誘導で指定された場所になります。
- ・学外で震災にあった場合は、可能な限り事務局に連絡をする。

(4) Jアラート（全国瞬時警報システム）発動時の対応

- ・「Jアラート」（全国瞬時警報システム）が発動された場合、あるいは「緊急速報メール」を受信した場合、身の安全を守るため、落ち着いて次の行動をとってください。

① Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の行動例

屋外にいる場合の行動例	・近くの建物や地下などに避難する。 ・近くにて適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。
屋内にいる場合の行動例	・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

② ミサイルが着弾した場合の行動例

- ・近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
- ・弾道の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。

③ ミサイルが海に落下した場合

引き続き避難をしていただく必要はありませんが、不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、警察・消防や海上保安庁に連絡してください。

Ⅱ－１－12. 学生の心得

(1) 通学

- ① 学生の自動車、バイク、スクーターでの通学を禁止します。
- ② 自転車で通学する場合は、学務課で登録し「登録シール」を見える場所に貼ってください。
- ③ 自転車は指定の駐輪場に置いてください。
- ④ 事故防止のため冬期間（12月1日～3月31日）は駐輪場を閉鎖し、自転車通学を禁止します。
- ⑤ 長期間放置されている自転車は、大学側で処分し費用は本人へ請求します。
- ⑥ 特別な事情（身体の障害等）により自動車の通学の必要性がある場合は、学務課に相談してください。

(2) 喫煙

- ① 喫煙をする場合は、K棟南側が指定喫煙場所となります（学内禁煙）。
- ② 指定喫煙場所以外での喫煙については、指導します。
なお、当該行為が原因で施設及び備品などに修繕が必要となった場合は費用を請求することがあります。

(3) アルバイト求人・ボランティア

- ① アルバイトの求人は、本学からも紹介しています。
- ② アルバイトを始める時は、事前に契約条件（賃金・時間帯・仕事内容など）を確認してください。
- ③ 学業を優先し学生生活に支障のないように最小限度にとどめてください。
- ④ 身の危険や疑問を感じた時は、雇用主に早めに相談すること。トラブルが生じた時は一人で判断せずに学務課へ相談してください。

URL: <https://sites.google.com/sapporo-otani.ac.jp/gakuseiportalsite/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0/%E3%82%A2%E3%83%AB%E3%83%90%E3%82%A4%E3%83%88%E6%B1%82%E4%BA%BA%E3%83%9C%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%86%E3%82%A3%E3%82%A2?authuser=0>

(4) 学生ロッカー

- ① 在学中は個人ロッカーを貸与します。各自鍵をかけて管理してください。

- ② 破損などがあった場合は、学務課まで連絡ください。
- ③ ロッカーにシールやチラシを貼ることは禁止します。
- ④ ロッカーの上に私物は置かないでください。不定期に確認し撤去します。

(5) 落とし物

- ① 学内で落とし物を拾った時は、学務課に届けてください。
- ② 落とし物は1ヵ月間学務課で保管します。心当たりの物があった時は学生証を持参のうえ学務課に申し出てください。
- ③ 3ヶ月以上経過しても落とし主が現れなかった場合は、大学側で処分します。

URL: <https://sites.google.com/sapporo-otani.ac.jp/gakuseiportalsite/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0/-/%E9%81%BA%E5%A4%B1%E7%89%A9%E6%8B%BE%E5%BE%97%E7%89%A9%E8%90%BD%E3%81%A8%E3%81%97%E7%89%A9?authuser=0>

(6) 持ち物

- ① 教室及びレッスン室を離れる際、私物（貴重品・手荷物など）は、各自ロッカーに鍵をかけて保管してください。私物の管理は自己責任です。
- ② 所持品を失くした場合は、学務課に申し出てください。

(7) 掲示物

- ① 学生がポスターなどを学内に掲示するときは、掲示物に学務課の認印を受けてください。
- ② 掲示できるのは、クラブ及び同好会の紹介、学生が関わっている催しの案内（演奏会・展覧会・ボランティアなど）です。
- ③ 掲示できるサイズは原則A3サイズ1枚までとします。

(8) 配布印刷物

- ① 学生を対象に印刷物を配布する時は、事前に学務課で許可を得てください。
- ② 内容は教育の場にふさわしいものとし、「政治的なもの」や「商業宣伝目的のもの」は認められません。

(9) 禁止事項

学内では、次の行為を禁止します。

- ・宗教、政党、自己啓発セミナー、民間会社のビラの配布、その他営業を含む執拗な勧誘活動
- ・ハラスメントや、友人や恋人への暴力行為、ストーカー行為
- ・授業、研究、業務の支障となる行為

自分のことだけでなく、「友人のこと…」、「学内で見かけた…」など、情報がありましたら担任教員または学務課までお知らせください。

(10) 日常生活

- ① 通学途中の交通事故
 - ・加害者及び目撃者の氏名と連絡先（携帯番号や住所など）をメモする。
 - ・警察に通報し必ず警察官立ち会いによる現場検証をしてもらう。
 - ・医師の診断を受ける（外傷がなくても、後になって後遺症が起きる場合もあります）。
 - ・「交通事故証明書」を必ず交付してもらう。
- ② 契約トラブル

悪徳商法やキャッチセールス、自己啓発セミナーなどは、色々な手口で勧誘してきます。住所や

電話番号などプライバシーは明かさず、はっきりと断りましょう。

もしも契約してしまったらクーリングオフ（無条件解約権）制度もあります。
「しまった」と思ったら直ちに消費者センターに相談してください。
札幌市消費者センター TEL 011-728-2121（土・日・祝日休み）
北海道立消費生活センター TEL 050-7505-0999（土・日・祝日休み）

③ 安全安心な生活

事件事故などの危険から身を守るため、自己管理を徹底してください。特に一人暮らしの学生はカギを二重につける、防犯ブザーを持つ、暗い場所は避ける、服装に気をつけるなど、十分な注意が必要です。

④ 個人情報の管理

個人情報（住所・電話番号・メールアドレス・口座番号・クレジットカードの番号など）の取り扱いには十分注意してください。

また、友人や先生など他人の個人情報も第三者に教えてはいけません。教える場合は必ず本人の許可を取ってください。

⑤ 飲酒及び喫煙

20歳未満の飲酒及び喫煙は法律で禁じられています。

特に命に関わる一気飲みの強制は絶対にしてはいけません。飲酒の強制による事故が毎年全国の大学などで発生しています。

⑥ 薬物の乱用

若年層の薬物使用が多発しています。薬物の乱用は脳と体に重大なダメージを与えます。また、薬物の所持は違法行為であり、自分の人生を台無しにします。薬物には絶対かわらず、健全な学生生活を送りましょう。

⑦ SNSなどの利用

SNSなどの利用に当たっては、個人情報が分かるような書込みや、写真の使用は絶対にしてはいけません。

安易に他人の名前など（教職員・友人・知人）を投稿しないよう、注意してください。

- ・投稿する前に必ず文章を読み返すように心がける。
- ・個人情報を公開する際は十分に注意する。
- ・大学名や学科を安易に発信しない。
- ・誹謗中傷をしない。
- ・本人の許可なく写真を掲載しない。

(11) 環境保全

クリーンで快適な学習・研究環境の整備・充実を図るため、学内の環境保全に配慮し下記に示す事項を意識しましょう。

- ① ごみは極力出さないこと。持ち込まないこと。
- ② ゴミは放置せず、分別して指定の場所に捨てること。
- ③ 備品等は大切に扱い、使用後は元に戻すこと。
- ④ エアコン等の使用時は適切な温度を保つこと。
- ⑤ 冷暖房時はドア・窓を閉めること。
- ⑥ 照明やパソコン等の電気機器の電源をこまめに消すこと。
- ⑦ エレベーターの利用を極力控え、階段を利用すること。
- ⑧ トイレや手洗いの水の使用は、必要最小限にすること。

Ⅱ－２．学生生活の設計

Ⅱ－２－１．奨学金・授業料減免・特待生制度

音：<https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/music/admission/scholarships/>

美：<https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/art/admission/scholarships/>

社：<https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/society/admission/scholarships/>

保：<https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/nursery/admission/scholarships/>

Ⅱ－２－２．教育ローン

<https://www.sapporo-otani.ac.jp/tuition/>

Ⅱ－２－３．国民年金

<https://sites.google.com/sapporo-otani.ac.jp/gakuseiportalsite/ホーム/-奨学金授業料減免制度?authuser=0>

Ⅱ－２－４．健康管理

<https://sites.google.com/sapporo-otani.ac.jp/gakuseiportalsite/ホーム/-健康管理学生相談室ぼらん保健室学生保険?authuser=0>

Ⅱ－２－５．学生保険

<https://sites.google.com/sapporo-otani.ac.jp/gakuseiportalsite/ホーム/-健康管理学生相談室ぼらん保健室学生保険?authuser=0>

Ⅱ－２－６．キャンパス・ハラスメント

本学は、学生及び教職員が安心して修学・就労・教育・研究できる環境を目指します。

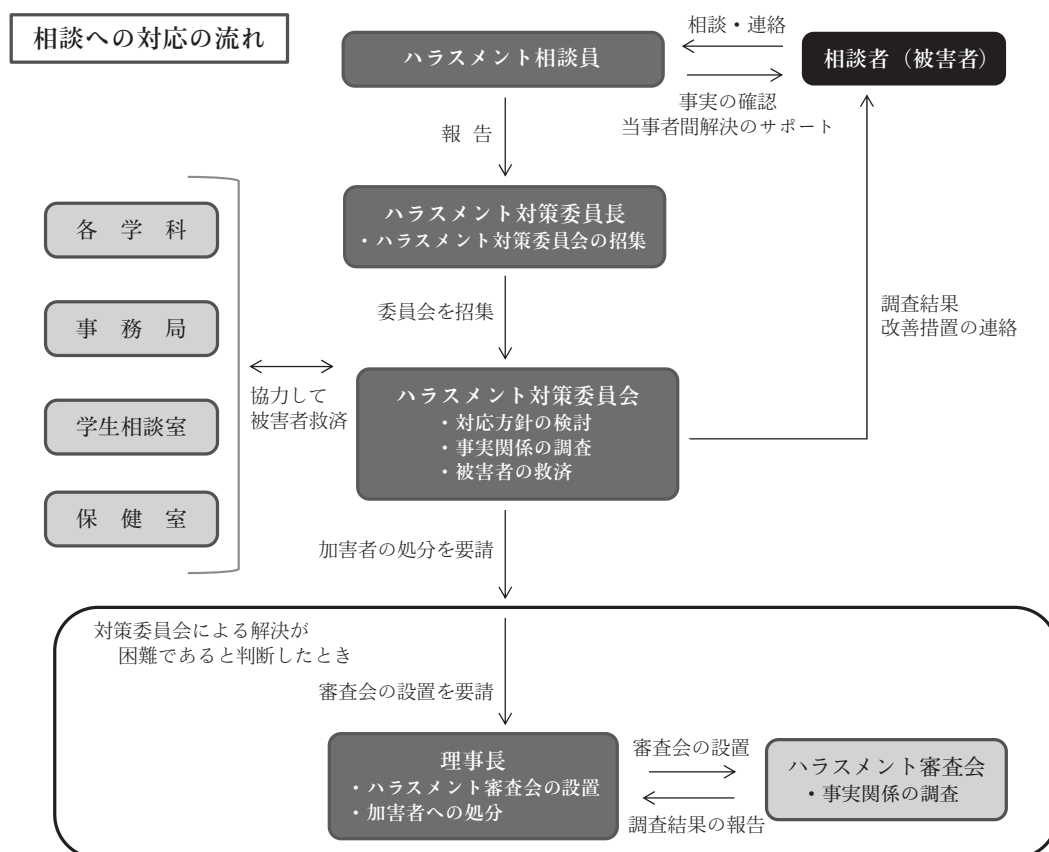
一人で悩まずに、身近な人に相談してください。みなさんの秘密は守られます。

なお、本学では人権侵害や性差別のない大学づくりを目指すため、ハラスメント相談窓口を設けています。

キャンパス・ハラスメントとは、大学などの教育研究の場で起こる嫌がらせや人権侵害のことを言います。教員と学生、先輩と後輩など対等ではない関係の中での攻撃、個人の尊厳と誇りを傷つける行動はすべて「ハラスメント」とみなされます。

キャンパス・ハラスメントには、「アカデミック・ハラスメント（単位・成績・レッスン・就職等での教職員と学生の問題）」「セクシュアル・ハラスメント（不快な性的な言動によるトラブル）」「パワー・ハラスメント（性差別的な言動やアルコールハラスメント）」などが含まれます。

キャンパス・ハラスメントは、教職員から学生に対してだけとは限りません。先輩と後輩、同級生との間でも起こりうる問題です。相手の受取り方が重要であり、言動や行動によってはハラスメントと受けとめられる可能性があります。SNSの利用も含め、日常生活の中で常に言動に責任を持ち行動するように心掛けましょう。



Ⅱ－２－７．課外活動

学生のみなさんが学修や課外活動を通じて、積極的な学生生活を送り、実り多いものにするために全学生が参加する自治組織「学生自治会」があります。

本学では、自治会が主体となって、各クラブによる課外活動が活発に行われています。学生のみなさんが納入する「学生自治会費」は自主的で広範な活動を積極的に行うための費用として運用されています。

(1) 課外活動団体への加入

課外活動を通じて能力を向上させるとともに、友人関係も構築して充実した学生生活を送るためにも、サークル活動などに参加し、課外活動の時間を充実させることを期待します。

(2) 学生団体の諸手続

①結成

学生団体を結成しようとするときは、5名以上の部員（本学学生のみ）を有し、本学専任の教職員のうちから顧問を依頼（複数も可）し、学生団体結成願を学務課へ提出して承認を受けてください。

②外部指導者

学生団体指導者を外部から依頼する必要があるときは、指導者の氏名、略歴などを顧問に届け出て承認を受けてください。

③継続

団体が当該団体を継続しようとするときは、団体継続届に構成員名簿を添え、毎年1月下旬までに学生自治会へ提出して承認を受けてください。

④活動計画

強化クラブ及びクラブ、同好会の代表は年度はじめに、「年間活動計画書」、「名簿」、「予算書」（予算書はクラブのみ）を学生自治会へ提出してください。

(3) 学生団体一覧

強化クラブ

硬式野球部	男子サッカー部
女子バレーボール部	男子バレーボール部

クラブ

アニマート（音楽ボランティア）	しふぉん（ボランティア）
折り紙研究会	染色部
コロボックル	にこにこおんがくたい
バスケットボールサークル	バドミントンサークル
アンサンブルクラブ	漫画研究会
まちけん	卓上ゲーム部

同好会

アウトドアサークル	e スポーツクラブ
オペラサークル	メディアアート同好会
音楽療法研究会	パフォーマンス愛好会
Club de mode	バレーボールサークル
即興演奏サークル	ダベサー
茶道同好会	

II－2－8．学外行事

(1) 学外行事参加の許可願い

個人または団体が本学の名称を用いて学外の行事や催し物（テレビ・ラジオ・コンクール・コンテスト・発表会・展覧会など）に参加及び出演する場合には、「学外行事参加許可願」を開催日の5日前までに学務課へ提出し、学長の許可を受けてください。

(2) 学外演奏の許可願い

個人または団体がコンクール及びコンテスト並びに発表会などに参加及び出演する場合には、「学外演奏許可願」を発表会等の2週間前までに学科長に提出し、学長の許可を受けてください。

Ⅱ－３．学費等納付金

Ⅱ－３－１．芸術学部音楽学科

(1) 1年次入学の学費・委託諸費 (単位 円)

区 分	年 次	1 年 次			2 年 次		
	納 期	入学手続時	後期(9月)	年 額	前期(4月)	後期(9月)	年 額
学 費	入 学 料	200,000	—	200,000	—	—	—
	授 業 料	600,000	600,000	1,200,000	600,000	600,000	1,200,000
	教育充実費	200,000	200,000	400,000	200,000	200,000	400,000
	計	1,000,000	800,000	1,800,000	800,000	800,000	1,600,000
委託諸費	教育後援会費	3,500	—	3,500	3,500	—	3,500
	学生自治会入会金	1,500	—	1,500	—	—	—
	学生自治会費	4,000	—	4,000	4,000	—	4,000
	同 窓 会 費	10,000	—	10,000	—	—	—
	学生保険料	4,960	—	4,960	—	—	—
	計	23,960	0	23,960	7,500	0	7,500
合 計		1,023,960	800,000	1,823,960	807,500	800,000	1,607,500

※3年次納付額は2年次と同額となります。4年次納付額は前期807,500円、後期820,000円（同窓会費20,000円含む）となります。

(2) 教職課程履修費(高等学校教諭一種・中学校教諭一種履修者)

(単位 円)

年 次	1 年 次	2 年 次	3 年 次	合 計
納 期	前期(6月)	前期(4月)	前期(4月)	
履 修 費 等	40,000	40,000	37,500	117,500

※履修費等には、介護実習・教育実習指導費を含みます。

(3) 3年次編入学の学費・委託諸費 (単位 円)

区 分	年 次	3 年 次			4 年 次		
	納 期	入学手続時	後期(9月)	年 額	前期(4月)	後期(9月)	年 額
学 費	入 学 料	200,000	—	200,000	—	—	—
	授 業 料	600,000	600,000	1,200,000	600,000	600,000	1,200,000
	教育充実費	200,000	200,000	400,000	200,000	200,000	400,000
	計	1,000,000	800,000	1,800,000	800,000	800,000	1,600,000
委託諸費	教育後援会費	3,500	—	3,500	3,500	—	3,500
	学生自治会入会金	1,500	—	1,500	—	—	—
	学生自治会費	4,000	—	4,000	4,000	—	4,000
	同 窓 会 費	10,000	—	10,000	—	20,000	20,000
	学生保険料	2,580	—	2,580	—	—	—
	計	21,580	0	21,580	7,500	20,000	27,500
合 計		1,021,580	800,000	1,821,580	807,500	820,000	1,627,500

※札幌大谷大学短期大学部の卒業者は入学手続時納付額のうち、入学科及び学生自治会入会金分（1,500円）免除。
また、同窓会費は全額免除。

Ⅱ－３－２．芸術学部美術学科

(1) 1年次入学の学費・委託諸費

(単位 円)

区 分	年 次	1 年 次			2 年 次		
	納 期	入学手続時	後期(9月)	年 額	前期(4月)	後期(9月)	年 額
学 費	入 学 料	200,000	—	200,000	—	—	—
	授 業 料	450,000	450,000	900,000	450,000	450,000	900,000
	教育充実費	200,000	200,000	400,000	200,000	200,000	400,000
	計	850,000	650,000	1,500,000	650,000	650,000	1,300,000
委託諸費	教育後援会費	3,500	—	3,500	3,500	—	3,500
	学生自治会入会金	1,500	—	1,500	—	—	—
	学生自治会費	4,000	—	4,000	4,000	—	4,000
	同 窓 会 費	10,000	—	10,000	—	—	—
	学生保険料	4,960	—	4,960	—	—	—
	計	23,960	0	23,960	7,500	0	7,500
合 計		873,960	650,000	1,523,960	657,500	650,000	1,307,500

※3年次納付額は2年次と同額となります。4年次納付額は前期657,500円、後期670,000円（同窓会費20,000円含む）となります。

(2) 教職課程履修費(高等学校教諭一種・中学校教諭一種履修者)

(単位 円)

年 次	1 年 次	2 年 次	3 年 次	合 計
納 期	前期(6月)	前期(4月)	前期(4月)	
履 修 費 等	40,000	40,000	37,500	117,500

※履修費等には、介護実習・教育実習指導費を含みます。

(3) 3年次編入学の学費・委託諸費

(単位 円)

区 分	年 次	3 年 次			4 年 次		
	納 期	入学手続時	後期(9月)	年 額	前期(4月)	後期(9月)	年 額
学 費	入 学 料	200,000	—	200,000	—	—	—
	授 業 料	450,000	450,000	900,000	450,000	450,000	900,000
	教育充実費	200,000	200,000	400,000	200,000	200,000	400,000
	計	850,000	650,000	1,500,000	650,000	650,000	1,300,000
委託諸費	教育後援会費	3,500	—	3,500	3,500	—	3,500
	学生自治会入会金	1,500	—	1,500	—	—	—
	学生自治会費	4,000	—	4,000	4,000	—	4,000
	同 窓 会 費	10,000	—	10,000	—	20,000	20,000
	学生保険料	2,580	—	2,580	—	—	—
	計	21,580	0	21,580	7,500	20,000	27,500
合 計		871,580	650,000	1,521,580	657,500	670,000	1,327,500

※札幌大谷大学短期大学部の卒業者は入学手続時納付額のうち、入学科及び学生自治会入会金分（1,500円）免除。
また、同窓会費は全額免除。

Ⅱ－３－３．社会学部地域社会学科

(1) 1年次入学の学費・委託諸費

(単位 円)

区 分	年 次	1 年 次			2 年 次		
	納 期	入学手続時	後期(9月)	年 額	前期(4月)	後期(9月)	年 額
学 費	入 学 料	200,000	—	200,000	—	—	—
	授 業 料	350,000	350,000	700,000	350,000	350,000	700,000
	教育充実費	125,000	125,000	250,000	125,000	125,000	250,000
	計	675,000	475,000	1,150,000	475,000	475,000	950,000
委託諸費	教育後援会費	3,500	—	3,500	3,500	—	3,500
	学生自治会入会金	1,500	—	1,500	—	—	—
	学生自治会費	4,000	—	4,000	4,000	—	4,000
	同 窓 会 費	10,000	—	10,000	—	—	—
	学生保険料	4,960	—	4,960	—	—	—
	計	23,960	0	23,960	7,500	0	7,500
合 計		698,960	475,000	1,173,960	482,500	475,000	957,500

※3年次納付額は2年次と同額となります。4年次納付額は前期482,500円、後期495,000円（同窓会費20,000円含む）となります。

(2) 教職課程履修費(高等学校教諭一種・中学校教諭一種履修者)

(単位 円)

年 次	1 年 次	2 年 次	3 年 次	合 計
納 期	前期(6月)	前期(4月)	前期(4月)	
履 修 費 等	40,000	40,000	37,500	117,500

※履修費等には、介護実習・教育実習指導費を含みます。

(3) 2年次編入学の学費・委託諸費

(単位 円)

区 分	年 次	2 年 次			3 年 次		
	納 期	入学手続時	後期(9月)	年 額	前期(4月)	後期(9月)	年 額
学 費	入 学 料	200,000	—	200,000	—	—	—
	授 業 料	350,000	350,000	700,000	350,000	350,000	700,000
	教育充実費	125,000	125,000	250,000	125,000	125,000	250,000
	計	675,000	475,000	1,150,000	475,000	475,000	950,000
委託諸費	教育後援会費	3,500	—	3,500	3,500	—	3,500
	学生自治会入会金	1,500	—	1,500	—	—	—
	学生自治会費	4,000	—	4,000	4,000	—	4,000
	同 窓 会 費	10,000	—	10,000	—	—	—
	学生保険料	3,870	—	3,870	—	—	—
	計	22,870	0	22,870	7,500	0	7,500
合 計		697,870	475,000	1,172,870	482,500	475,000	957,500

※札幌大谷大学短期大学部の卒業者は入学手続時納付額のうち、入学科及び学生自治会入会金分(1,500円)免除。

また、同窓会費は全額免除。

※4年次納付額は前期482,500円、後期495,000円(同窓会費20,000円含む)となります。

(4) 3年次編入学の学費・委託諸費

(単位 円)

区 分	年 次	3 年 次			4 年 次		
	納 期	入学手続時	後期(9月)	年 額	前期(4月)	後期(9月)	年 額
学 費	入 学 料	200,000	—	200,000	—	—	—
	授 業 料	350,000	350,000	700,000	350,000	350,000	700,000
	教育充実費	125,000	125,000	250,000	125,000	125,000	250,000
	計	675,000	475,000	1,150,000	475,000	475,000	950,000
委託諸費	教育後援会費	3,500	—	3,500	3,500	—	3,500
	学生自治会入会金	1,500	—	1,500	—	—	—
	学生自治会費	4,000	—	4,000	4,000	—	4,000
	同 窓 会 費	10,000	—	10,000	—	20,000	20,000
	学生保険料	2,580	—	2,580	—	—	—
	計	21,580	0	21,580	7,500	20,000	27,500
合 計		696,580	475,000	1,171,580	482,500	495,000	977,500

※札幌大谷大学短期大学部の卒業者は入学手続時納付額のうち、入学科及び学生自治会入会金分(1,500円)免除。

また、同窓会費は全額免除。

Ⅱ－３－４．短期大学部保育科

(1) 学費・委託諸費

(単位 円)

区分	年 次	1 年 次			2 年 次			合 計
	納 期	入学手続時	後期(9月)	年 額	前期(4月)	後期(9月)	年 額	
学 費	入 学 料	200,000	—	200,000	—	—	—	200,000
	授 業 料	400,000	400,000	800,000	400,000	400,000	800,000	1,600,000
	教育充実費	100,000	100,000	200,000	100,000	100,000	200,000	400,000
	計	700,000	500,000	1,200,000	500,000	500,000	1,000,000	2,200,000
委 託 諸 費	教育後援会費	3,500	—	3,500	3,500	—	3,500	7,000
	学生自治会入会金	1,500	—	1,500	—	—	—	1,500
	学生自治会費	4,000	—	4,000	4,000	—	4,000	8,000
	同 窓 会 費	10,000	—	10,000	—	20,000	20,000	30,000
	学生保険料	2,580	—	2,580	—	—	—	2,580
	計	21,580	0	21,580	7,500	20,000	27,500	49,080
合 計		721,580	500,000	1,221,580	507,500	520,000	1,027,500	2,249,080

(2) 実習費

(単位 円)

年 次	1 年 次	2 年 次	合 計
納 期	後期(9月)	前期(4月)	
履 修 費 用	70,000	80,000	150,000

※1年次後期に納める70,000円のうち、10,000円は事務費。

※納入前に実習を辞退した場合は徴収しないが、納入後(実習直前)の辞退の場合は返金しない。

Ⅱ－３－５．短期大学部専攻科保育専攻

(1) 学費・委託諸費

(単位 円)

区分	年 次	1 年 次			2 年 次			合 計
	納 期	入学手続時	後期(9月)	年 額	前期(4月)	後期(9月)	年 額	
学 費	授 業 料	200,000	200,000	400,000	200,000	200,000	400,000	800,000
	教育充実費	100,000	100,000	200,000	100,000	100,000	200,000	400,000
	計	300,000	300,000	600,000	300,000	300,000	600,000	1,200,000
委 託 諸 費	教育後援会費	3,500	—	3,500	3,500	—	3,500	7,000
	学生自治会費	4,000	—	4,000	4,000	—	4,000	8,000
	学生保険料	2,580	—	2,580	—	—	—	2,580
	計	10,080	0	10,080	7,500	0	7,500	17,580
合 計		310,080	300,000	610,080	307,500	300,000	607,500	1,217,580

※本学卒業生以外の入学者は入学手続時納付額に入学料200,000円、委託諸費11,500円(学生自治会入会金1,500円、同窓会費10,000円)を加えて納付。また、2年次後期納付額に同窓会費20,000円を加えて納付。

(2) 教職課程履修費(幼稚園教諭一種履修者)

(単位 円)

年 次	1 年 次			合 計
納 期	入学手続時	後期(9月)	年 額	
履 修 費 等	—	60,000	60,000	60,000

II-3-6. 学費等納付金

- (1) 学費等納付金の振込依頼書は、前期納付分・後期納付分（3月郵送）を学生原簿に記載されている保証人（保護者）宛てへ郵送しますので、期日までに振込みしてください。なお、新入生には後期納付分を8月に別途郵送します。
- (2) 領収書は発行されませんので、振込みの際の本人控を大切に保管してください。
- (3) 特別な事情により期日までに振込みできないときは、分納が認められる場合もありますので、財務課へ相談してください。（下記「札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部の学費等納付金分納の取扱要領」参照）
- (4) 教育ローンについては、本学ホームページをご覧ください。

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部の学費等納付金分納の取扱要領

- 1 対象者
この取扱いの対象者は、経済的理由により納付期限までに学費等納付金の納付が困難であり、かつ、勉学意欲のある学生を対象とする。
- 2 対象納付金
 - (1) 入学手続納付金以外の学費を対象とする。
 - (2) 学費とは、授業料、教育充実費をいう。
- 3 納付期限
 - (1) 前期4月15日（銀行休業日の場合は、翌日）とする。
 - (2) 後期9月15日（同上）とする。
- 4 分納の申請手続
 - (1) 納付期限の5日前までに別紙の分納願を提出すること。
 - (2) その他学校が必要と認めた書類の提出を求めることがある。
- 5 分納の許可
分納願により許可された場合は、許可通知及び分納振込依頼書を送付する。
- 6 最大分納期限
 - (1) 前期は8月15日（銀行休業日の場合は、翌日）とする。
 - (2) 後期は2月15日（同上）とする。
- 7 分納の方法は、原則として次による。
 - (1) 各期の納付額を最大延納期限内の月毎の均等分割とする。
 - (2) 毎月の納付締切日は、15日（但し、初回のみ末日）とする。
 - (3) 各月の納付締切日前に、残月数の一括納付は可能とする。
- 8 分納の遅延
 - (1) 期限内に納付出来ない状況になった時は、速やかに申し出ること。
 - (2) 申し出の状況に応じて対応する。
 - (3) 連絡が無く期限を過ぎた場合は、財務課から督促する。

Ⅱ－４．キャリア支援

<https://sites.google.com/sapporo-otani.ac.jp/sps/キャリア支援センター?authuser=0>

Ⅱ－５．図書館

<http://library.sapporo-otani.ac.jp/library/>

Ⅲ. 学修

Ⅲ－１．学修に関する留意事項

Ⅲ－１－１．学期

学年を次の２学期に分けています。

前期：４月１日から　　９月30日まで

後期：10月１日から翌年３月31日まで

詳細は下記 URL からご確認ください。

<https://sites.google.com/sapporo-otani.ac.jp/gakuseiportalsite/ホーム/--学期授業時間?authuser=0>

Ⅲ－１－２．授業計画表・授業時間・時間割

<https://sites.google.com/sapporo-otani.ac.jp/gakuseiportalsite/ホーム/--授業計画表時間割シラバス?authuser=0>

Ⅲ－１－３．履修登録・履修訂正・履修放棄

(1) 履修登録

履修しようとする授業科目は前期・後期の所定期間（以下「履修登録期間」という）に履修登録の手続きをしなければなりません。

履修登録期間は前期が４月初旬、後期が９月中旬となります。詳細は都度、お知らせします。

(2) 履修訂正

履修訂正とは、履修科目の修正・追加・取消の手続きです。履修訂正は履修訂正期間内に手続きしてください。履修訂正期間が過ぎると履修訂正はできません。

- ① 修正：授業科目名の間違いによる修正、授業科目の変更による修正等
- ② 追加：空いた授業時間に別の新しい授業科目を追加等
- ③ 取消：勘違いによる錯誤、または履修意思がなくなったことによる取消等

(3) 履修放棄

履修放棄とは、シラバスにより事前確認した授業科目を履修し、ある程度受講してみたが、授業内容が自分の勉強したいものと違っていた場合や、授業内容が非常に難しく、このままでは望ましい評価が得られないと判断した場合、履修を取り消す手続きです。

Ⅲ－１－４．履修人数の制限

大学の選択科目において、履修希望者が多い場合は、履修人数を制限する場合があります。

履修人数を制限する場合、履修者はこれまでの成績評価（GPA等）、抽選等の方法で決定します。芸術学部においてはコース、専攻による制限で決定する場合があります。ただし、教育職員免許状及び各種資格の取得に必要な授業科目は当該資格取得登録者を優先します。

また、履修希望者が少ない場合は、その授業科目を開講しない場合があります。

Ⅲ－１－５．履修登録の年間上限単位数

卒業要件単位については年間で履修登録できる単位数には上限があります。上限を超えた場合は、履修放棄期間までに手続きしてください。なお、成績が優秀な学生については、次年度年間上限単位数の追加を認める制度があります（Ⅲ－１－11.「履修登録上限単位数の再設定」参照）。

(1) 音楽学科

49単位

(2) 美術学科

49単位

(3) 地域社会学科

49単位

(4) 保育科

49単位（ただし、免許・資格を取得する者は除く）

(5) 専攻科保育専攻

40単位

Ⅲ－１－６．休講・補講・集中講義

(1) 休講・補講

休講と補講の連絡は本学ホームページ（<https://www.sapporo-otani.ac.jp/student/>）でお知らせします。

補講については補講期間の他、平日の空き時間や6講目、土曜日にも開講する場合があります。

(2) 集中講義

集中講義は授業計画表の集中講義期間に開講します。

なお、履修登録は通常の授業科目と同様、履修登録期間内に手続きしてください。

Ⅲ－１－７．出席・欠席・遅刻・早退

授業の出席回数が定められた授業回数の3分の2に満たない場合は、その授業科目の単位の修得はできません。

$$\text{出席割合} = \frac{\text{出席回数}}{\text{授業回数}}$$

(1) 出席・欠席

- ① 授業の出席は、授業科目担当教員の指示に従ってください。
- ② 体調が悪くなり退出するときは、授業科目担当教員に直接申し出てください。申し出があった学生は授業科目担当教員の判断により出席扱いとします。
- ③ 出席状況は、授業科目担当教員へ直接申し出のうえ、確認してください。学務課で出席状況の確認はできません。
- ④ やむを得ない理由により授業を欠席する（した）場合、授業科目担当教員に授業欠席届及び内容

を証明する書類（写し可）を提出してください。授業科目担当教員の裁量により下記のいずれかの対応となります。

(i) レポートや課題、別日への振替え等

(ii) 全授業回数からやむを得ない理由による欠席をした回数を差し引いて出席割合を算出
やむを得ない欠席理由となる判断基準

理由		必要書類
各種実習等	各種実習及び正規授業のインターンシップ（事前打ち合わせを含む）	内容を証明する書類等（写し可）
就職活動	採用や選考を伴う説明会、面接試験、筆記試験等の採用試験、内定式、内定後の研修（それに伴う移動を含む）	
定期演奏会	本学主催の演奏会（それに伴う移動を含む）	
課外活動	本学が認めた団体が大会へ出場する場合（それに伴う移動を含む）	
	個人または団体が全国大会及びそれに準じる大会へ出場する場合（それに伴う移動を含む）	
忌引	父母 7日	
	兄弟姉妹 5日	
	配偶者 10日	
	子 7日	
	祖父母 3日	
	伯父・伯母・叔父・叔母 1日	
	曾祖父母 1日	
公共交通機関の運休または遅延		医師の診断書等
感染症	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に定められた感染症及び「学校保健安全法施行規則」に定められた感染症	
裁判員等	「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」に基づく裁判員としての任務	内容を証明する書類等（写し可）
その他	特別講義等、他に学修支援センター会議で認めたもの	

⑤ 学期末の授業内試験及び定期試験並びに実技試験（以下「学期末試験」という）を欠席する（した）場合「学期末試験欠席届」を学務課に提出してください。

また、「学期末試験欠席届」は、欠席した日より1週間以内に提出してください。

(2) 遅刻・早退

① 授業開始時までに入室していないと原則欠席扱いとなります。

② 公共交通機関の不通または遅延で授業や学期末試験に遅刻した場合は、公共交通機関が発行する遅延証明書等（写し不可）を授業科目担当教員にすみやかに提出してください。遅刻か欠席かの判断は、授業科目担当教員が決定します。

Ⅲ－１－８．単位

単位とは、授業科目の修得に必要な学修量を測る基準となるものです。大学・短期大学部で開講している授業科目には、全て履修した場合に与えられる単位数が設定されています。単位制度とは、各授業科目に配当されている単位を履修し、その単位数を一定以上修得することで卒業できる制度のことです。

文部科学省の大学設置基準では、1単位とは45時間の学修を必要とする内容を標準とすることが定められていますが、これは教室での授業内における学修だけではなく、教室外の自学自習の時間を含めた内容としていることを意味してします。

$$\boxed{\text{教室での授業時間}} + \boxed{\text{教室外の自習時間 (予習・復習)}} = 45\text{時間} \Rightarrow 1\text{単位}$$

大学・短期大学部の1回の授業は90分ですが、2時間の学修に相当するものとして換算されます。

一般的な講義科目については、1学期15週（30時間）行うことにより2単位を与えています。基準によると2単位には90時間の学修が必要ということになりますが、その場合、教室での授業時間30時間に加え60時間の教室外での自習時間、つまり予習と復習が必要となります。

Ⅲ－１－９．評価対象・単位修得

(1) 評価対象

各授業科目において次の全ての条件に満たない場合は、評価の対象とはなりません。

- ・履修登録期間内に履修登録の手続きを完了すること。
- ・定められた授業回数の3分の2以上、授業に出席すること。

(2) 単位修得

評価対象となる授業科目は、授業科目担当教員が次の複数の方法から評価し、単位認定します。

- ・学期末試験（学期末の授業内試験・定期試験・実技試験）
- ・平常試験（担当教員が必要に応じて随時行う小テストや中間テスト等）
- ・レポートや作品等の課題提出
- ・学修状況等

Ⅲ－１－10. 成績評価とGPA制度

授業科目の成績評価は、学則に規定する各評価に加え、学修成績を総合的に判断する指標として、1単位あたりの評価平均値（Grade Point Average（以下「GPA」という。）」を用います。

また、各学修の評価に対する授業科目の評点及び評価の数値（Grade Point（以下「GP」という。）」は、次の表のとおりとします。

評価	評点	GP
秀	90点以上	4
優	90点未満80点以上	3
良	80点未満70点以上	2
可	70点未満60点以上	1
不可	60点未満	0（評価対象外の授業科目含む）

GPAは次のとおり算出します。

対象となる授業科目は、履修登録の手続きをした全ての授業科目とします。

ただし、大学の教職課程科目他は、GPAの対象から除くものとします。

GPAの数値の小数点以下第3位は四捨五入します。

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{成績評価GP})] \text{の総和}}{\text{科目の単位数（不可・評価対象外の単位数を含む）}}$$

〔GPAの算出例〕

授業科目名	単位数	評 価	GP
建学の精神と大谷学A	2	秀	$2 \times 4 = 8$
英語基礎 I	1	優	$1 \times 3 = 3$
日本国憲法	2	良	$2 \times 2 = 4$
国際社会と法	2	可	$2 \times 1 = 2$
健康スポーツ学A（体育理論）	1	不可	$1 \times 0 = 0$
健康スポーツ学B（体育実技）	1	出席不足	$1 \times 0 = 0$
合 計	9		17

$$\text{GPA} = 17 \div 9 = 1.888\cdots \text{（小数点以下第3位を四捨五入して）}$$

$$\Rightarrow 1.89$$

学期別の成績発表は、成績通知書にてお知らせします。

成績通知書は前期分を10月に、後期分を次年度4月に、保証人には郵送します。

Ⅲ－１－11. GPAによる履修指導・履修登録上限単位数の再設定・進級判定

(1) 半期（1学期）GPAによる履修指導

札幌大谷大学

- ① 1学期のGPAが1.0未満の学生に対しては、担任教員または学科の学修支援センター員が個人面談を通して学修指導をする。
- ② GPA1.0未満が2期連続または、通算3回になった学生に対しては、再度担任教員または学科の

学修支援センター員が個人面談を通して学修指導をし、保証人と面談を通して学生の現状について確認する。

- ③ GPA1.0未満が3期連続または、通算4回になった学生に対しては、学部長または学科長が個人面談を通して学修指導をし、保証人と面談を通して学生の現状について確認する。
- ④ ③に該当する学生で以降も修学の改善が認められない場合は、学修支援センターの議を経て学部長または学科長が退学勧告を実施する。ただし、面談状況を勘案し、勧告に猶予を与える場合がある。

札幌大谷大学短期大学部

- ① 1学期のGPAが1.0未満の学生に対しては、担任教員または学修支援センター員が個人面談を通して学修指導をする。
- ② GPA1.0未満が2期連続または、通算3回になった学生に対しては、学部長または学科長が個人面談を通して学修指導をし、保証人と面談を通して学生の現状について確認する。
- ③ ②に該当する学生で以降も修学の改善が認められない場合は、学修支援センターの議を経て学部長または学科長が退学勧告を実施する。ただし、面談状況を勘案し、勧告に猶予を与える場合がある。

(2) 通算（累計）GPAによる履修登録上限単位数の再設定

通算（累計）GPAが3.0以上の学生には、学部学科及び学年別に定められた履修登録の年間上限単位数に単位を追加することができます。

なお、年間上限単位数の追加は、2年生以上（大学・短期大学部共通）とします。

通算（累計）GPA	次年度追加単位数
3.5以上	8単位
3.0以上3.5未満	4単位

(3) 通算（累計）GPAによる（大学4年次への）進級判定

大学4年次（最終学年）への進級要件として3年次修了までに大学の通算（累計）GPAが1.0未満で、かつ卒業要件として定める授業科目の単位数を75単位以上修得していない場合は、4年次（最終学年）配当科目の履修はできません。

進級判定で不合格の場合は、例えば「卒業研究」、「卒業制作」、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」等を履修することができなくなります。

	①通算（累計）GPA	②3年次までの修得単位数
音楽学科	1.0以上	75単位以上
美術学科	1.0以上	75単位以上
地域社会学科	1.0以上	75単位以上

Ⅲ—1—12. 成績についての異議申し立て

成績評価について異議があるときは前期、後期終了時の異議申し立て期間に申し立てすることができます。異議申し立ての内容については次のとおりです。

- ① 出席日数について明らかに授業科目担当教員の誤りがあると思われるもの。
- ② 成績評価の誤記入等、明らかに授業科目担当教員の誤りがあると思われるもの。
- ③ シラバス等により周知された成績評価方法に基づき、明らかに疑義があると思われるもの。

なお、詳細については学期末にお知らせします。

Ⅲ－１－13. オフィスアワー

オフィスアワーとは、学生のみなさんから様々な相談に応じるため、教員が自分の研究室に確実に在室している特定の時間のことです。

オフィスアワーの時間帯は、学期毎にお知らせします。オンライン上で実施することもあります。

URL: <https://sites.google.com/sapporo-otani.ac.jp/gakuseiportalsite/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0/--%E3%82%AA%E3%83%95%E3%82%A4%E3%82%B9%E3%82%A2%E3%83%AF%E3%83%BC?authuser=0>

Ⅲ－１－14. 大学の他学部他学科における授業科目の履修等

教育上有益と認めるときは、学生が所属する学部・学科以外の学部・学科の授業科目（以下「他学部他学科科目」という。）のうち、大学が指定する授業科目について履修することができます。

この場合、履修した他学部他学科科目について、修得した単位を学生が所属する学部・学科において履修したものとみなすことができます。

他学部他学科科目の単位は、自由科目として20単位を限度として卒業要件単位数に算入することができます。

なお、他学部他学科科目は授業科目担当教員の裁量により決定します。

Ⅲ－１－15. 他の大学または短期大学における授業科目の履修等

教育上有益と認めるときは、学生が他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を授業科目の履修により修得したものとみなすことができます（制限単位数は大学及び短期大学の学則を確認してください）。

他の大学または短期大学における授業科目を履修し、単位の認定を受ける場合、必要書類を所定の期間内までに学務課に提出してください。

Ⅲ－１－16. 大学と短期大学部における単位互換科目の履修等

短期大学部保育科では「札幌大谷大学と札幌大谷大学短期大学部における単位互換に関する協定書」に基づき大学の授業科目を履修することができます。

なお、対象科目は大学共通科目で授業科目担当教員の裁量により決定します。

Ⅲ－１－17. 大学または短期大学以外の教育施設等における学修

教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができます（制限単位数は大学及び短期大学の学則を確認してください）。

大学または短期大学以外の教育施設等における学修により本学の単位の認定を受ける場合、必要書類を所定の期間内までに学務課に提出してください。詳細は4月上旬にお知らせします。

なお、単位を与えることができる学修、認定基準、対応する本学の授業科目及び単位数、評価については、次のとおりです。

公益財団法人日本英語検定協会主催の「実用英語技能検定」の取得級及び一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会主催の「TOEIC®」の得点に応じて本学の授業科目の単位として認定します。

本学の授業科目で認定する科目については申請により審議します。なお、入学前からの取得または入

学後の取得のどちらにも適用し、評価は「認定」とします。

(1) 大学

実用英語技能検定	TOEIC®	合計最大単位数	本学の授業科目	単位数
2 級	500点以上	2	英語基礎Ⅰ	1
			英語基礎Ⅱ	1
			英語応用 A	1
			英語応用 B	1
準 1 級	700点以上	6	英語基礎Ⅰ	1
			英語基礎Ⅱ	1
			英語応用 A	1
			英語応用 B	1
			英語コミュニケーションⅠ	1
			英語コミュニケーションⅡ	1
1 級	850点以上	10	英語基礎Ⅰ	1
			英語基礎Ⅱ	1
			英語応用 A	1
			英語応用 B	1
			英語コミュニケーションⅠ	1
			英語コミュニケーションⅡ	1
			総合英語 A	2
			総合英語 B	2

(2) 短期大学部保育科

実用英語技能検定	TOEIC®	合計最大単位数	本学の授業科目	単位数
2 級	500点以上	2	英語（口語表現）	1
			英語（文書表現）	1

Ⅲ－1－18. 入学前の既修得単位の認定

教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができます（制限単位数は大学及び短期大学部の学則を確認してください）。

本学に入学前の既修得単位等の認定を受ける場合、必要書類を所定の期間内に学務課に提出してください。詳細は4月中にお知らせします。

Ⅲ－1－19. 合理的配慮

病気・障害等を理由として就学するうえで配慮してもらう必要がある場合、教育の目標・内容・評価の本質を変えないことを原則に授業内で配慮が可能な場合があります。

希望する場合は担任に相談してください。

Ⅲ－２．試験に関する留意事項

Ⅲ－２－１．学期末試験・レポートや作品等の課題提出

- ① 学期末試験・レポートや作品等の課題提出の日程及び内容は、授業内でお知らせします。
- ② 学期末試験は試験開始 5 分前には着席してください。

Ⅲ－２－２．遵守事項

- ① 試験場への持ち込みは、当該授業科目担当教員によって許可されたものに限る。
- ② 携帯電話は、必ず電源を切ったうえで、画面を伏せて机の上に置かなければならない。携帯電話を時計等の代わりに使うことや鞆やポケットの中にしまっておくことは禁止する。
- ③ 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。席が指定されている場合は、これに従い着席しなければならない。
- ④ 試験場では静粛にし、筆記用具・消しゴム等の貸借をしないこと。やむを得ない場合は試験監督者の指示に従うこと。
- ⑤ 学生は学生証を必ず所持し、試験監督者が確認できるように机の上に提示しておかなければならない。なお、試験に際し、学生証を忘れた場合は、学務課で所定の手続きをしなければならない。
- ⑥ 提出する答案用紙には、必ず学籍番号・氏名等を記入しなければならない。
- ⑦ 答案用紙を試験場から持ち出した者に対しては、その科目は無効とする。
- ⑧ 試験監督者の許可なくして退出した者に対しては、その科目は無効とする。
- ⑨ その他の事項については、試験監督者の指示によることとする。

Ⅲ－２－３．不正行為

学期末試験や追・再試験において不正行為と認定された学生の成績評価は、当該学期のすべての授業科目の成績評価を「不可」とし、大学及び短期大学部の学則に則り、停学以下の懲戒処分となります。

- ① カンニングペーパー等を使用する行為
- ② 他人に受験させ、または他人の代わりに受験する行為
- ③ 答案用紙を交換する行為
- ④ あらかじめ机上に受験科目に関する内容を記入し、使用する行為
- ⑤ 他人の答案を写し、または他人に答案をみせて書かせる行為
- ⑥ 試験内容に関し、口頭及び動作で連絡する行為
- ⑦ 持ち込みが許可されていない電子機器・通信機器または書籍等を使用する行為
- ⑧ その他不正な手段を用いて受験する行為

Ⅲ－２－４．試験欠席・追試験

- ① Ⅲ－１－７．(1)④の表に示すやむを得ない理由により学期末試験を欠席する（した）場合、学生ポータルサイト内の「学期末試験欠席」フォームにて、必要事項を入力し、証明書等を提出したうえで追試験を受験することができます。
- ② 追試験は、原則として１回実施します。
- ③ 申込期間内に学務課に手続きをしてください。
申込期間の最終締切日時以降は、いかなる理由があっても手続きはできません。
- ④ 病気を理由に、学期末試験等を欠席する場合は、ただちに学務課に電話連絡し、診断書または病院に行ったことを証明する書類（通院日を確認できるもの）を「学期末試験欠席届」に添付し、学務課に提出してください。

Ⅲ－２－５．レポート

- ① レポート提出期間の最終締切日時は、厳守すること。
レポート提出期間の最終締切日時以降は、いかなる理由があっても提出はできません。
- ② コンピュータ教室では、プリンターのインク交換やシステムトラブル等が発生する場合もありますので、早期の取り組みと提出を心掛けてください。

Ⅲ－３．学籍に関する留意事項

Ⅲ－３－１．修業年限と在学年限

(1) 大学

- ① 修業年限は４年です。
- ② 学生は８年を超えて在学することはできません（在学年限）。

(2) 短期大学部

- ① 修業年限は２年です。
- ② 学生は４年を超えて在学することはできません（在学年限）。

Ⅲ－３－２．休学・退学の手続き

学生と保証人は、下記①から④の全てを実施して手続き終了となります。

- ① 学生は、担任教員に休学または退学を申し出て面談をしてください。
- ② 学生及び保証人は、当該期の学費を完納してください。未納の学費がある場合は、休学及び退学の手続きはできません。なお、休学は事前に分納の申請手続きをし、許可されている場合は、この限りではありません。
- ③ 学生は、学務課に休学または退学を申し出てください。
- ④ 学生及び保証人は、学務課から渡された「休学願」または「退学願」に、それぞれの署名等をしてください。

休学及び退学の決定には、学長の許可が必要になります。

Ⅲ－３－３．休学を希望する場合

(1) 休学

- ① 疾病その他やむを得ない事情により２カ月以上修学することのできない場合、休学することができます。
- ② 休学期間は、１年を超えることができません。ただし、特別の理由がある場合は、引き続き１年まで延長することができます。
- ③ 休学期間は、通算して次の年数を超えることはできません。
大学 ：４年
短期大学部 ：２年
- ④ 休学期間は、在学年限に算入されません。

(2) 後期１学期の休学を希望する場合

休学期間：後期授業開始日から翌年３月31日まで

学生及び保証人は、後期授業開始日の２週間前までに必ずⅢ－３－２の手続きを終了してください。

１学期の休学は、在籍料として20,000円を納入していただくことになります。

(3) 前期1学期または1年間の休学を希望する場合

前期1学期の休学期間：4月1日から 後期授業開始日前日まで

1年間の休学期間：4月1日から翌年3月31日まで

学生及び保証人は、年度末の2週間前までに必ずⅢ－3－2の手続きを終了してください。

1年間の休学は、在籍料として40,000円を納入していただくことになります。

(4) 中途休学の場合

学生及び保証人は、前期は6月末までに、後期は12月末までに手続きを終了してください。

前期は7月1日以降、後期は1月1日以降、当該期の中途休学はできません。

中途休学は、休学となった学期の納入すべき授業料及び教育充実費の3分の1を免除します。

なお、免除金額に1,000円未満の端数が生じたときは切り捨てて算出します。

(5) 休学期間経過後

手続きは不要で自動的に復学となります。

なお、休学期間中に、休学理由が消滅した場合は「復学願」を学務課に提出してください。学長の許可を得て復学することができます。

Ⅲ－3－4. 退学を希望する場合

(1) 年度末退学を希望する場合

退学日：3月31日

学生及び保証人は、年度末の2週間前までに必ずⅢ－3－2の手続きを終了してください。

手続きが遅れた場合は、次年度中途退学となり学費が発生します。

(2) 中途退学を希望する場合

手続きは随時可能です。

Ⅲ－3－5. 転学

他の教育機関への入学または転学を希望する場合は、キャリア支援課まで相談に来てください。

Ⅲ－３－６．除籍

次のいずれかの項目に該当する場合は、教授会の議を経て除籍となります。

- ① 在学年限を超えた者
- ② 休学の期間を超えてなお修学できない者
- ③ 授業料の納付を怠り、催促してもなお納付しない者
- ④ 長期にわたり行方不明の者
- ⑤ 死亡した者

なお、③については、除籍の日から起算して３年以内に、当該除籍の事由となった未納の授業料を納付して復籍を願い出ることにより、教授会の議を経て復籍することができます。復籍の時期は、復籍の願い出があった日以降における最初の学期の始めとします。

Ⅲ－３－７．長期履修制度

職業を有している、育児・介護等を行う必要がある、障害がある等の事情により、標準的な修業年限では卒業が困難な者に限り、所定の在学年限の範囲内で修業年限を延長し教育課程を履修することを認める長期履修制度があります。希望する場合は担任に相談してください。

Ⅲ－３－８．音楽学科の転コース

音楽学科の転コースを希望する場合、所定の期間内に手続きをし、音楽学科で定められた試験に合格した後、学長が許可します。

なお、変更可能時期は、２年次、３年次への進級時とします。

Ⅲ－３－９．芸術学部の研究生

(1) 音楽専攻

- ① 研究生は、半年または１年間で各々が定めた研究課題を学修します。
- ② 主たる研究科目と必要であれば副科相当の実技レッスンを１つ履修することができます。
ただし、それ以上履修する場合は、追加受講料が発生します（追加受講料１科目につき60,000円）。
なお、履修の希望が多い場合は、履修人数を制限する場合があります。その際は抽選等の適当な方法（例えば、楽器は大学の借用よりも所有している者を優先する等）により履修者を決定します。
- ③ 教職科目の履修は、科目等履修生の登録をし、別途受講料を納入することが必要です。
- ④ 研究生として期間終了時には、研究成果の発表をする必要があります。

(2) 美術専攻

- ① 研究生は、１年間で各々が定めた研究課題を学修します。
- ② 指導教員が、研究上必要と認めた場合、開設している授業科目を聴講することができます。
- ③ 教職科目の履修は、科目等履修生の登録をし、別途受講料を納入することが必要です。
- ④ 研究生として期間終了時には、研究成果の発表をする必要があります。

Ⅲ－４．大学の教育職員免許状

Ⅲ－４－１．教育職員免許状の取得

取得可能な教育職員免許状は次の通りです。

- ・芸術学部音楽学科：中学校教諭一種（音楽）、高等学校教諭一種（音楽）
- ・芸術学部美術学科：中学校教諭一種（美術）、高等学校教諭一種（美術）
- ・社会学部地域社会学科：中学校教諭一種（社会）、高等学校教諭一種（公民）

Ⅲ－４－２．教職課程の科目

次の教職課程のディプロマ・ポリシーや目標を達成するように科目が配当されています。

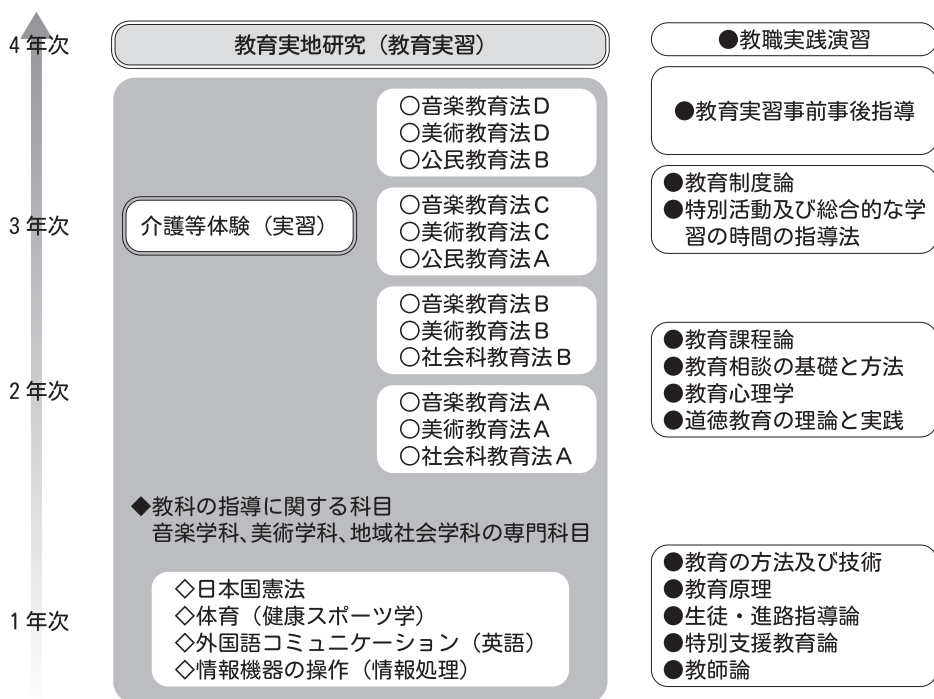
【ディプロマ・ポリシー】

- 1 基礎的汎用的スキル：教育職員に求められる基礎的汎用的なスキルを身につけている。
- 2 自律性：教育職員としての自律をめざし、努力することができる。
- 3 課題発見・社会貢献性：学校教育に関する多様な取組や課題を認識している。
- 4 知識活用：領域・教科に関する専門的な知識や技能を修得し、実践に活用することができる。

【教職課程の目標】

- 1 教育職員としての使命感や責任感、教育的愛情等を形成する。
- 2 社会性や対人関係能力の伸長を図り、協働する力を形成する。
- 3 学校教育の課題を理解し、解決・貢献のための基礎的な技能を身につける。
- 4 領域・教科の指導内容を理解し、実践的な指導法を身につける。

「ディプロマ・ポリシー」の実現 及び 「教職課程の目標」の達成



Ⅲ－４－３．教職課程履修費

◆教職課程履修費（中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状）

	1 年次	2 年次	3 年次	合 計
納入期限	前期 6 月末	前期 4 月15日	前期 4 月15日	
金 額	¥40,000	¥40,000	¥37,500	¥117,500

◇編入学生教職課程履修費（中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状）

		3 年次	合 計
納入期限		前期 6 月末	
金 額		¥45,000	¥45,000

※教職課程履修費の分納は認められません。

Ⅲ－４－４．教職課程履修の申込み

教職課程を履修する場合には、「教職課程履修申込書」を4月末までに学務課へ提出してください。申込み後、郵送される納付案内にしたがって教職課程履修費を期日までに納付してください。

Ⅲ－４－５．教職課程履修の取り止めの手続き

教職課程履修を取り止める場合は、「教職履修取止願」を学務課に提出してください。

(1) 2年生以上

次年度の教職課程履修を取り止める場合は、届出を取り止め希望年度の4月末までに学務課へ提出してください。その場合、当該年度の教職課程履修費を納付する必要はありません。

(2) 1年生

1年次の教職課程履修を取り止める場合は、届出を前期履修放棄手続期間（5月末）に学務課へ提出してください。その場合、当該年度の教職課程履修費を納付する必要はありません。

(3) 全学年共通

上記(1)及び(2)における提出期限経過後の届出には、教職課程履修費が発生します。

Ⅲ－４－６．教職課程の履修要件

次の履修要件を全て満たし、さらに年度初めの「教職オリエンテーション」など指定のガイダンスに出席することが必要となります。

- (1) 中学校と高等学校の教育職員免許状を同時に取得すること
- (2) 4年次に教員採用候補者選考検査（教員採用試験）を受検すること
- (3) 各年次や卒業時に学費等の納付金を完納すること

Ⅲ－４－７．介護等体験

中学校教諭一種免許状を取得するには、教育職員免許法などで7日間以上の介護等体験が義務づけられています。

介護等体験では社会福祉施設（特別養護老人ホーム、児童養護施設など）で5日間、特別支援学校で2日間の実習を行います。

介護等体験の受入先は、大学が窓口となり、社会福祉施設については北海道社会福祉協議会を通じて、特別支援学校については北海道教育委員会を通じて実施施設が決定されます。

Ⅲ－４－８．教育実地研究（教育実習）実施の要件

中学校や高等学校での教育実地研究（教育実習）の受け入れは、法令上の義務ではありません。教育実習は、全て善意による受け入れであることを認識してください。

学校現場が多忙なことは承知かと思いますが、こうした中で皆さんの指導に時間を割いてくれています。受け入れへの感謝の念をもち、挨拶を忘れず言動や礼儀に留意し、時間を守り礼儀正しく、誠意と積極性をもって実習に取り組むことを肝に銘じてください。実習先では、皆さんに注目していますので、しっかり心に留めて行動してください。

以上を踏まえ、次の要件を全て満たしている必要があります。

- (1) 「教育実習事前事後指導」に欠席がなく事務手続きを完了していること
- (2) 3年次に「教育実地研究（教育実習）」の依頼を完了していること
- (3) 「教職課程の履修継続の要件」を満たしていること

Ⅲ－４－９．教職課程の履修の継続要件

3年次及び4年次の教職課程の履修を継続するには、次の要件を全て満たす必要があります。

- (1) 学校教育に貢献したいという目的意識を持続していること
- (2) 教育実地研究（教育実習）に必要な単位を全て取得し、事務手続を完了していること
- (3) 3年次及び4年次の「学部・学科ごとの履修継続の要件」を満たしていること
- (4) 当該年度の履修費の納入を完了していること

上記の履修の継続要件(1)～(4)を満たしていない場合、教職委員会から履修を取り止めるよう指示することがあります。これは、特に近年求められる教育職員として適切な人材を確保することを受けたものです。取り止めに指示する背景には、教育実習に必要な科目が履修できていない状況に加えて、卒業要件単位の取得も良好ではない状況にもあることが考えられます。取り止めに指示する具体として、次の詳細を示します。

- (1) 性行不良や学力不振など教育職員として適性を欠くと判断した場合は、教育実習を実施することが極めて困難と判断し、履修取り止めに指示します。
- (2) 各学部各学科に示す「履修継続要件」を満たしていない場合は、履修取り止めに指示します。
なかでも「出席不足」で単位を取得できなかった場合は、学校教育に貢献したいという目的意識を失っていると判断しますので十分留意してください。
- (3) 「各教科の指導法」及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の履修を出席不足によって単位を修得できなかった場合は、履修取り止めに指示します。
- (4) 各年次の教職課程履修費を納入期限までに収められなかった場合は、履修取り止めに指示します。

Ⅲ－５．社会福祉主事（任用資格）

社会福祉主事は、社会福祉法第19条に規定されている任用資格で、福祉事務所現業員として任用される者に要求される資格であり、社会福祉施設職員等の資格に準用されています。社会福祉主事（任用資格）を取得するためには、本学で定める授業科目のうち3科目以上の単位を取得して卒業する必要があります。

厚生労働大臣指定科目	科目名	音楽	美術	地域 社会	保育
社会福祉概論	社会福祉	○	○		
	社会福祉				○
	現代社会と福祉			○	
社会福祉事業史					
社会福祉援助技術論					
社会福祉調査論	社会調査入門			○	
	社会調査応用			○	
社会福祉施設経営論					
社会福祉行政論					
社会保障論					
公的扶助論					
児童福祉論	子ども家庭福祉				○
	子ども家庭福祉論			○	
家庭福祉論					
保育理論	保育者論				○
身体障害者福祉論					
知的障害者福祉論					
精神障害者保健福祉論					
老人福祉論					
医療社会事業論					
地域福祉論	地域福祉の理論と実践			○	
法学	法学入門			○	
民法	民法入門			○	
行政法					
経済学	経済学入門			○	
社会政策					
経済政策					
心理学					
教育学					
倫理学					
公衆衛生学					
医学一般	医学概論	○	○	○	
リハビリテーション論	リハビリテーション医学	○	○	○	
看護学					
介護概論	介護概論	○	○	○	
栄養学					
家政学					

厚生労働大臣指定科目「社会福祉調査論」は本学授業科目「社会調査入門」「社会調査応用」の両科目を修得して1科目とみなします。また、資格を有することの証明書は発行していませんので、成績証明書と卒業証明書にて必要な要件を満たすことを確認してください。

IV. 芸術学部音楽学科の学修

IV－１．卒業要件単位数

必修科目	大学共通科目	4 単位
	専門科目	14単位
選択科目	大学共通科目	18単位以上 (うち外国語科目 2 単位以上)
	芸術学部共通科目	68単位以上
	専門科目	
自由科目	他学部他学科科目等	20単位まで
卒業に必要な単位数の合計		124単位以上

- (1) 必修科目の大学共通科目は、4 単位全て修得しなければならない。
- (2) 必修科目の専門科目は、14単位全て修得しなければならない。
- (3) 選択科目の大学共通科目は、その中から18単位以上を修得しなければならない。
さらに、大学共通科目のうち外国語科目は、その中から2 単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択科目の芸術学部共通科目及び専門科目は、その中から68単位以上を修得しなければならない。
- (5) 芸術学部音楽学科の履修登録の年間上限単位数は、各49単位とする。

履修に関すること

- (1) 授業科目の前期又は後期の開講学期については、臨時で変更する場合があります。
- (2) ローマ数字（Ⅰ～Ⅷ）を含む科目名称は、そのローマ数字順に修得しなければならない。

Ⅳ－２．授業科目情報

１．必修科目・大学共通科目

科目名称	授業形態	単位数		１年次		２年次		３年次		４年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
初年次教育・情報リテラシー	講義	2		2								○	○	○	
建学の精神と大谷学A	講義	2		2								○	○		
卒業に必要な単位数		4													

２．必修科目・芸術学部音楽学科専門科目

科目名称	授業形態	単位数		１年次		２年次		３年次		４年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
音楽史A	講義	2				2									○
音楽史B	講義	2					2								○
ソルフェージュA	演習	1		1											○
ソルフェージュB	演習	1			1										○
ソルフェージュC	演習	1				1									○
ソルフェージュD	演習	1					1								○
合唱Ⅰ	演習	1		1								○	○		○
合唱Ⅱ	演習	1			1							○	○		○
卒業研究	演習	4								4(通年)			○	○	○
卒業に必要な単位数		14													

3 - (1). 選択科目・大学共通科目（一般教養科目）

科目名称	授業形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
情報検索	講義		2	2								○			
医学概論	講義		2	2								○			
障がい児教育	講義		2	2								○			
数学Ⅰ	講義		2	2										○	
数学Ⅱ	講義		2		2									○	
哲学	講義		2		2							○			
日本国憲法	講義		2		2										○
臨床医学	講義		2		2										○
児童心理学	講義		2		2										○
建学の精神と大谷学 B	講義		2		2							○			
文学	講義		2			2						○			
政治学	講義		2			2									○
芸術メディア論	講義		2			2									○
日本の地理	講義		2			2						○			
発達心理学	講義		2			2									○
臨床心理学概論	講義		2			2									○
リハビリテーション医学	講義		2			2									○
民族音楽Ⅰ	講義		2			2						○			
民族音楽Ⅱ	講義		2				2					○			
社会福祉	講義		2				2								○
社会思想史	講義		2				2					○			
文化人類学	講義		2				2					○			
日本の歴史	講義		2				2					○			
臨床心理学	講義		2				2								○
北海道の地理	講義		2				2								○
北海道の生活文化	講義		2				2								○
北海道の歴史	講義		2					2							○
北海道の美術	講義		2					2				○			
北海道の産業	講義		2					2							○
音楽心理学	講義		2					2							○
国際社会と政治	講義		2					2							○
国際社会と経済	講義		2					2							○
西洋史	講義		2					2				○			
知的財産法概論	講義		2					2							○
美学 A	講義		2					2						○	
美学 B	講義		2						2					○	
東洋史	講義		2						2			○			
国際社会と法	講義		2						2						○
欧米社会論	講義		2						2						○
介護概論	講義		2						2			○			○
文書実務（Word）	演習		1	1								○			
情報処理演習 A（Excel）	演習		1		1							○			
情報処理演習 B（Excel）	演習		1			1						○			
情報処理応用演習Ⅰ	演習		1				1					○			
情報処理応用演習Ⅱ	演習		1					1				○			
コンピュータプログラミングⅠ	演習		1				1					○			
コンピュータプログラミングⅡ	演習		1					1				○			
文書作成法	演習		1	1								○			
口語表現法	演習		1		1							○			
健康スポーツ学 A（体育理論）	講義		1	1											○
健康スポーツ学 B（体育実技）	実技		1	1	1										○

3 - (2). 選択科目・大学共通科目（キャリア科目）

科目名称	授業 形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
札幌大谷キャリア支援プログラム A - I	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - II	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - III	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - IV	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - V	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - VI	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - VII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - VIII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - I	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - II	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - III	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - IV	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - V	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - VI	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - VII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - VIII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - I	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - II	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - III	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - IV	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - V	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - VI	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - VII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - VIII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - I	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - II	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - III	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - IV	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - V	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - VI	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - VII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - VIII	実習		1					1				○			

3 - (3). 選択科目・大学共通科目 (外国語科目)

科目名称	授業 形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
英語基礎 I	演習		1	1								○			
英語基礎 II	演習		1		1							○			
英語応用 A	演習		1			1						○			
英語応用 B	演習		1				1					○			
英語コミュニケーション I	演習		1					1				○			
英語コミュニケーション II	演習		1						1			○			
総合英語 A	講義		2	2								○			
総合英語 B	講義		2		2							○			
イタリア語基礎 I	演習		1	1								○			
イタリア語基礎 II	演習		1		1							○			
イタリア語応用 A	演習		1			1						○			
イタリア語応用 B	演習		1				1					○			
ドイツ語基礎 I	演習		1	1								○			
ドイツ語基礎 II	演習		1		1							○			
ドイツ語応用 A	演習		1			1						○			
ドイツ語応用 B	演習		1				1					○			
フランス語基礎 I	演習		1	1								○			
フランス語基礎 II	演習		1		1							○			
フランス語応用 A	演習		1			1						○			
フランス語応用 B	演習		1				1					○			
中国語基礎 I	演習		1	1								○			
中国語基礎 II	演習		1		1							○			
中国語応用 A	演習		1			1						○			
中国語応用 B	演習		1				1					○			

4. 選択科目・芸術学部共通科目（映像科目）

科目名称	授業形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
映像制作演習Ⅰ	演習		3	3								○	○	○	○
映像制作演習Ⅱ	演習		3		3							○	○	○	○
映像制作演習Ⅲ	演習		3			3						○	○	○	○
映像制作演習Ⅳ	演習		3				3					○	○	○	○
映像制作演習Ⅴ	演習		3					3				○	○	○	○
映像制作演習Ⅵ	演習		3						3			○	○	○	○
映像制作演習Ⅶ	演習		3							3		○	○	○	○
映像制作演習Ⅷ	演習		3								3	○	○	○	○

5. 選択科目・芸術学部音楽学科専門科目

科目名称	授業形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
音楽概論 A	講義		2	2											○
音楽概論 B	講義		2		2										○
作曲・編曲法Ⅰ	講義		2	2											○
作曲・編曲法Ⅱ	講義		2		2										○
和声法Ⅰ	講義		2			2									○
和声法Ⅱ	講義		2				2								○
和楽器	講義		1			1									○
日本の伝統歌唱	講義		1				1								○
指揮法	講義		2			2						○			○
合唱指導法	講義		2				2					○			○
楽曲分析Ⅰ	講義		2					2					○		○
楽曲分析Ⅱ	講義		2						2				○		○
鍵盤音楽史 A	講義		2					2							○
鍵盤音楽史 B	講義		2						2						○
オペラ史 A	講義		2					2							○
オペラ史 B	講義		2						2						○
管弦楽史 A	講義		2					2							○
管弦楽史 B	講義		2						2						○
コンサートプロデュース論	講義		2					2				○	○	○	○
音楽ビジネス論	講義		2					2				○	○	○	○
実技教材研究Ⅰ（ピアノ）	講義		2			2							○	○	○
実技教材研究Ⅱ（ピアノ）	講義		2				2						○	○	○
実技教材研究Ⅲ（ピアノ）	講義		2					2					○	○	○
実技教材研究Ⅳ（ピアノ）	講義		2						2				○	○	○
実技教材研究Ⅰ（吹奏楽・合唱）	講義		2			2							○	○	○
実技教材研究Ⅱ（吹奏楽・合唱）	講義		2				2						○	○	○
実技教材研究Ⅲ（吹奏楽・合唱）	講義		2					2					○	○	○
実技教材研究Ⅳ（吹奏楽・合唱）	講義		2						2				○	○	○
音楽療法概論	講義		2	2									○	○	○
音楽療法の理論	講義		2	2									○	○	○
音楽療法の技法	講義		2		2								○	○	○
音楽療法各論Ⅰ	講義		2			2							○	○	○
音楽療法各論Ⅱ	講義		2				2						○	○	○
音楽療法各論Ⅲ	講義		2					2					○	○	○
音楽実技教授法Ⅰ（ピアノ）	演習		1							1		○	○	○	○
音楽実技教授法Ⅱ（ピアノ）	演習		1								1	○	○	○	○
音楽実技教授法Ⅰ（吹奏楽・合唱）	演習		1							1		○	○	○	○
音楽実技教授法Ⅱ（吹奏楽・合唱）	演習		1								1	○	○	○	○
コードプログレッション A	演習		1	1											○
コードプログレッション B	演習		1		1										○
即興演奏 A	演習		1			1						○	○		○
即興演奏 B	演習		1				1					○	○		○
即興演奏 C	演習		1					1				○	○		○
即興演奏 D	演習		1						1			○	○		○
即興演奏 E	演習		1							1		○	○		○

即興演奏F	演習		1							1	○	○		○
器楽合奏Ⅰ（吹奏楽・オーケストラ）	演習		2	2							○	○		○
器楽合奏Ⅱ（吹奏楽・オーケストラ）	演習		2		2						○	○		○
器楽合奏Ⅲ（吹奏楽・オーケストラ）	演習		2			2					○	○		○
器楽合奏Ⅳ（吹奏楽・オーケストラ）	演習		2				2				○	○		○
器楽合奏Ⅴ（吹奏楽・オーケストラ）	演習		2					2			○	○		○
器楽合奏Ⅵ（吹奏楽・オーケストラ）	演習		2						2		○	○		○
器楽合奏Ⅶ（吹奏楽・オーケストラ）	演習		2							2	○	○		○
器楽合奏Ⅷ（吹奏楽・オーケストラ）	演習		2							2	○	○		○
器楽合奏Ⅰ（弦楽合奏・オーケストラ）	演習		2	2							○	○		○
器楽合奏Ⅱ（弦楽合奏・オーケストラ）	演習		2		2						○	○		○
器楽合奏Ⅲ（弦楽合奏・オーケストラ）	演習		2			2					○	○		○
器楽合奏Ⅳ（弦楽合奏・オーケストラ）	演習		2				2				○	○		○
器楽合奏Ⅴ（弦楽合奏・オーケストラ）	演習		2					2			○	○		○
器楽合奏Ⅵ（弦楽合奏・オーケストラ）	演習		2						2		○	○		○
器楽合奏Ⅶ（弦楽合奏・オーケストラ）	演習		2							2	○	○		○
器楽合奏Ⅷ（弦楽合奏・オーケストラ）	演習		2							2	○	○		○
器楽合奏Ⅰ（電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ）	演習		2	2							○	○		○
器楽合奏Ⅱ（電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ）	演習		2		2						○	○		○
器楽合奏Ⅲ（電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ）	演習		2			2					○	○		○
器楽合奏Ⅳ（電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ）	演習		2				2				○	○		○
器楽合奏Ⅴ（電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ）	演習		2					2			○	○		○
器楽合奏Ⅵ（電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ）	演習		2						2		○	○		○
器楽合奏Ⅶ（電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ）	演習		2							2	○	○		○
器楽合奏Ⅷ（電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ）	演習		2							2	○	○		○
ピアノアンサンブルⅠ	演習		1	1							○	○	○	○
ピアノアンサンブルⅡ	演習		1		1						○	○	○	○
ピアノアンサンブルⅢ	演習		1			1					○	○	○	○
ピアノアンサンブルⅣ	演習		1				1				○	○	○	○
ピアノアンサンブルⅤ	演習		1					1			○	○	○	○
ピアノアンサンブルⅥ	演習		1						1		○	○	○	○
ピアノアンサンブルⅦ	演習		1							1	○	○	○	○
ピアノアンサンブルⅧ	演習		1							1	○	○	○	○
合唱Ⅲ	演習		1			1					○	○		○
合唱Ⅳ	演習		1				1				○	○		○
合唱Ⅴ	演習		1					1			○	○		○
合唱Ⅵ	演習		1						1		○	○		○
合唱Ⅶ	演習		1							1	○	○		○
合唱Ⅷ	演習		1							1	○	○		○
オペラ制作演習Ⅰ	演習		2	2							○	○		○
オペラ制作演習Ⅱ	演習		2		2						○	○		○
オペラ制作演習Ⅲ	演習		2			2					○	○		○
オペラ制作演習Ⅳ	演習		2				2				○	○		○
オペラ制作演習Ⅴ	演習		2					2			○	○		○
オペラ制作演習Ⅵ	演習		2						2		○	○		○
オペラ制作演習Ⅶ	演習		2							2	○	○		○
オペラ制作演習Ⅷ	演習		2							2	○	○		○
演奏解釈Ⅰ	演習		1							1		○		○
演奏解釈Ⅱ	演習		1							1		○		○
歌曲研究A	演習		1				1					○		○
歌曲研究B	演習		1					1				○		○
歌曲研究C（隔年）	演習		1					1				○		○
歌曲研究D（隔年）	演習		1						1			○		○
歌曲研究E（隔年）	演習		1					1				○		○
歌曲研究F（隔年）	演習		1						1			○		○
声楽特別研究A	演習		1					1			○	○		○
声楽特別研究B	演習		1						1		○	○		○
声楽特別研究C	演習		1							1	○	○		○
声楽特別研究D	演習		1							1	○	○		○
デジタルノテーション	演習		1	1										○
D A W	演習		1		1									○

音響デザインⅠ	演習	1			1									○
音響デザインⅡ	演習	1				1								○
サウンドレコーディングA	演習	1					1							○
サウンドレコーディングB	演習	1						1						○
サウンドプロダクションA	演習	1							1					○
サウンドプロダクションB	演習	1								1				○
音楽リテラシー演習Ⅰ	演習	1			1						○			○
音楽リテラシー演習Ⅱ	演習	1				1					○			○
音楽リテラシー演習Ⅲ	演習	1					1				○			○
音楽リテラシー演習Ⅳ	演習	1						1			○			○
ピアノ伴奏法A	演習	1	1								○	○		○
ピアノ伴奏法B	演習	1		1							○	○		○
ピアノ伴奏法C	演習	1			1						○	○		○
ピアノ伴奏法D	演習	1				1					○	○		○
伴奏法Ⅰ	演習	1			1									○
伴奏法Ⅱ	演習	1				1								○
伴奏法Ⅲ	演習	1					1							○
伴奏法Ⅳ	演習	1						1						○
伴奏法Ⅴ	演習	1							1					○
伴奏法Ⅵ	演習	1								1				○
音楽療法技能A	演習	1	1								○	○		○
音楽療法技能B	演習	1		1							○	○		○
音楽療法技能C	演習	1			1						○	○		○
音楽療法技能D	演習	1				1					○	○		○
音楽療法技能E	演習	1					1				○	○		○
音楽療法技能F	演習	1						1			○	○		○
音楽療法演習Ⅰ	演習	1		1							○	○	○	○
音楽療法演習Ⅱ	演習	1			1						○	○	○	○
伴奏実習Ⅰ	実習	1				1					○	○		○
伴奏実習Ⅱ	実習	1					1				○	○		○
伴奏実習Ⅲ	実習	1						1			○	○		○
伴奏実習Ⅳ	実習	1						1			○	○		○
伴奏実習Ⅴ	実習	1							1		○	○		○
伴奏実習Ⅵ	実習	1							1		○	○		○
伴奏実習Ⅶ	実習	1								1	○	○		○
伴奏実習Ⅷ	実習	1								1	○	○		○
ステージスタッフ実習Ⅰ	実習	1				1					○	○		
ステージスタッフ実習Ⅱ	実習	1					1				○	○		
ステージスタッフ実習Ⅲ	実習	1						1			○	○		
ステージスタッフ実習Ⅳ	実習	1						1			○	○		
ステージスタッフ実習Ⅴ	実習	1							1		○	○		
ステージスタッフ実習Ⅵ	実習	1							1		○	○		
ステージスタッフ実習Ⅶ	実習	1								1	○	○		
ステージスタッフ実習Ⅷ	実習	1								1	○	○		
実技演奏研究Ⅰ（演奏クラス）	実技	3			3									
実技演奏研究Ⅱ（演奏クラス）	実技	3				3								
実技演奏研究Ⅲ（演奏クラス）	実技	3					3							
実技演奏研究Ⅳ（演奏クラス）	実技	3						3						
実技演奏研究Ⅴ（演奏クラス）	実技	3							3					
実技演奏研究Ⅵ（演奏クラス）	実技	3								3				
音楽療法実習Ⅰ	実習	2			2（通年）						○	○	○	○
音楽療法実習Ⅱ	実習	2					2（通年）				○	○	○	○
音楽療法実習Ⅲ	実習	2						2（通年）			○	○	○	○
室内楽Ⅰ	実技	1			1						○	○		○
室内楽Ⅱ	実技	1				1					○	○		○
室内楽Ⅲ	実技	1					1				○	○		○
室内楽Ⅳ	実技	1						1			○	○		○
室内楽Ⅴ	実技	1							1		○	○		○
室内楽Ⅵ	実技	1								1	○	○		○
実技演奏法Ⅰ（主専攻・[楽器名又は専攻科目名]）	実技	3	3									○		○
実技演奏法Ⅱ（主専攻・[楽器名又は専攻科目名]）	実技	3		3								○		○

実技演奏法Ⅲ（主専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		3			3							○		○
実技演奏法Ⅳ（主専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		3			3							○		○
実技演奏法Ⅴ（主専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		3				3						○		○
実技演奏法Ⅵ（主専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		3					3					○		○
実技演奏法Ⅶ（主専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		3						3				○		○
実技演奏法Ⅷ（主専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		3							3			○		○
作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅠ	実技		3	3									○		○
作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅡ	実技		3		3								○		○
作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅢ	実技		3			3							○		○
作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅣ	実技		3				3						○		○
作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅤ	実技		3					3					○		○
作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅥ	実技		3						3				○		○
作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅦ	実技		3							3			○		○
作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅧ	実技		3								3		○		○
実技演奏法Ⅰ（副専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		2	2									○		○
実技演奏法Ⅱ（副専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		2		2								○		○
実技演奏法Ⅲ（副専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		2			2							○		○
実技演奏法Ⅳ（副専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		2				2						○		○
実技演奏法Ⅴ（副専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		2					2					○		○
実技演奏法Ⅵ（副専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		2						2				○		○
実技演奏法Ⅶ（副専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		2							2			○		○
実技演奏法Ⅷ（副専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		2								2		○		○
実技演奏法Ⅰ（副科・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		1	1									○		○
実技演奏法Ⅱ（副科・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		1		1								○		○
実技演奏法Ⅲ（副科・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		1			1							○		○
実技演奏法Ⅳ（副科・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		1				1						○		○
実技演奏法Ⅴ（副科・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		1					1					○		○
実技演奏法Ⅵ（副科・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		1						1				○		○
実技演奏法Ⅶ（副科・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		1							1			○		○
実技演奏法Ⅷ（副科・〔楽器名又は専攻科目名〕）	実技		1								1		○		○

上記、「実技演奏法Ⅰ～Ⅷ（主専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）」「実技演奏法Ⅰ～Ⅷ（副専攻・〔楽器名又は専攻科目名〕）」「実技演奏法Ⅰ～Ⅷ（副科・〔楽器名又は専攻科目名〕）」の「〔楽器名又は専攻科目名〕」は、次のとおりとなります。

ピアノ、チェンバロ、電子オルガン、声楽、ミュージカル歌唱、フルート、ピッコロ、オーボエ、クラリネット、バスクラリネット、ファゴット、サクソフォン、トランペット、ホルン、トロンボーン、バストロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、パーカッション、ドラム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギター、箏、作曲、ハープ、ポピュラー・ジャズピアノ

Ⅳ－３．履修モデル

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部では、みなさんの卒業までの学びが、ご自分の理想に近づけるように履修モデルを設定しております。

履修モデルはコースや専攻ごとに設定されるだけでなく、職種などの進路に合わせて複数用意されております。ご自分の将来の理想に合わせて履修モデルを選択してください。

しかしながら将来の理想が在学中に変わることもあります。その場合、違う履修モデルに変更することも可能です。

また、履修モデルをベースとしつつも、ご自分の興味のある科目に変更するなどカスタマイズも可能です。例えば、教職課程履修者は履修モデルをベースとしながら、教職必修科目に入れ替えることもできます。ぜひ履修モデルを有効に活用し、自分のカリキュラムを作ってください。

ピアノコース

大区分	中区分	1 年生				2 年生			
		前期		後期		前期		後期	
共通科目	建学の精神と大谷学	建学の精神と大谷学 A	2	建学の精神と大谷学 B	2				
	基礎的汎用的スキル	初年次教育・情報リテラシー	2						
		文書実務 (Word)	1	情報処理演習 A (Excel)	1				
		文書作成法	1	口語表現法	1				
	芸術系教養					民族音楽Ⅰ	2	民族音楽Ⅱ	2
専門科目等	外国語	〇〇語基礎Ⅰ	1	〇〇語基礎Ⅱ	1	〇〇語応用 A	1	〇〇語応用 B	1
	卒業研究								
	実技	実技演奏法Ⅰ (主専攻)	3	実技演奏法Ⅱ (主専攻)	3	実技演奏法Ⅲ (主専攻)	3	実技演奏法Ⅳ (主専攻)	3
		実技演奏法Ⅰ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅱ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅰ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅱ (副専攻)	2
		ピアノ伴奏法 A	1	ピアノ伴奏法 B	1	ピアノ伴奏法 C	1	ピアノ伴奏法 D	1
		伴奏実習Ⅰ	1	伴奏実習Ⅱ	1	伴奏実習Ⅲ	1	伴奏実習Ⅳ	1
		ピアノアンサンブルⅠ	1	ピアノアンサンブルⅡ	1	ピアノアンサンブルⅢ	1	ピアノアンサンブルⅣ	1
						室内楽Ⅰ	1	室内楽Ⅱ	1
		合唱Ⅰ	1	合唱Ⅱ	1				
	音楽一般	ソルフェージュ A	1	ソルフェージュ B	1	ソルフェージュ C	1	ソルフェージュ D	1
		音楽概論 A	2	音楽概論 B	2	音楽史 A	2	音楽史 B	2
	ポピュラー音楽					和声法Ⅰ	2	和声法Ⅱ	2
		コードプログレッション A	1	コードプログレッション B	1	即興演奏 A	1	即興演奏 B	1
	キャリア								

3 年生			4 年生		
前期		後期	前期		後期
音楽心理学	2	美学 B	2		
知的財産法概論	2				
			卒業研究		4
実技演奏法 V（主専攻）	3	実技演奏法 VI（主専攻）	3	実技演奏法 VII（主専攻）	3
実技演奏法 V（副専攻）	2	実技演奏法 VI（副専攻）	2	実技演奏法 VII（副専攻）	2
伴奏実習 V	1	伴奏実習 VI	1	伴奏実習 VII	1
ピアノアンサンブル V	1	ピアノアンサンブル VI	1	ピアノアンサンブル VII	1
室内楽 III	1	室内楽 IV	1	室内楽 V	1
楽曲分析 I	2	楽曲分析 II	2	演奏解釈 I	1
鍵盤音楽史 A	2	鍵盤音楽史 B	2	演奏解釈 II	1
音楽ビジネス論	2				
コンサートプロデュース論	2				

声楽コース

大区分	中区分	1 年生			2 年生		
		前期	後期		前期	後期	
共通科目	建学の精神と大谷学	建学の精神と大谷学 A	2	建学の精神と大谷学 B	2		
	基礎的汎用的スキル	初年次教育・情報リテラシー	2				
		文書実務 (Word)	1	情報処理演習 A (Excel)	1		
		文書作成法	1	口語表現法	1		
	芸術系教養						
外国語	外国語	〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1	〇〇語応用 A	1
		〇〇語基礎 I ※2 科目	1	〇〇語基礎 II ※2 科目	1	〇〇語応用 A ※2 科目	1
専門科目等	卒業研究						
	実技	実技演奏法 I (主専攻)	3	実技演奏法 II (主専攻)	3	実技演奏法 III (主専攻)	3
		実技演奏法 I (副専攻)	2	実技演奏法 II (副専攻)	2	実技演奏法 I (副専攻)	2
		オペラ制作演習 I	2	オペラ制作演習 II	2	オペラ制作演習 III	2
	音楽一般	合唱 I	1	合唱 II	1	合唱 III	1
		ソルフェージュ A	1	ソルフェージュ B	1	ソルフェージュ C	1
		音楽概論 A	2	音楽概論 B	2	音楽史 A	2
	キャリア					和声法 I	2
						和声法 II	2

管弦打楽コース

大区分	中区分	1 年生			2 年生		
		前期	後期		前期	後期	
共通科目	建学の精神と大谷学	建学の精神と大谷学 A	2	建学の精神と大谷学 B	2		
	基礎的汎用的スキル	初年次教育・情報リテラシー	2				
		文書実務 (Word)	1	情報処理演習 A (Excel)	1		
		文書作成法	1	口語表現法	1		
	芸術系教養				民族音楽 I	2	民族音楽 II
外国語	外国語	〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1	〇〇語応用 A	1
						〇〇語応用 B	1
専門科目等	卒業研究						
	実技	実技演奏法 I (主専攻)	3	実技演奏法 II (主専攻)	3	実技演奏法 III (主専攻)	3
		実技演奏法 I (副専攻)	2	実技演奏法 II (副専攻)	2	実技演奏法 I (副専攻)	2
		器楽合奏 I	2	器楽合奏 II	2	器楽合奏 III	2
					室内楽 I	1	室内楽 II
		合唱 I	1	合唱 II	1		
	音楽一般	ソルフェージュ A	1	ソルフェージュ B	1	ソルフェージュ C	1
		音楽概論 A	2	音楽概論 B	2	音楽史 A	2
					和声法 I	2	和声法 II
	ポピュラー音楽	コードプログレッション A	1	コードプログレッション B	1	即興演奏 A	1
	キャリア						

3 年生			4 年生		
前期		後期	前期		後期
音楽心理学	2				
〇〇語基礎Ⅰ ※3つ目	1	〇〇語基礎Ⅱ ※3つ目	1	〇〇語応用Ⅰ ※3つ目	1
			卒業研究		4
実技演奏法Ⅴ (主専攻)	3	実技演奏法Ⅵ (主専攻)	3	実技演奏法Ⅶ (主専攻)	3
実技演奏法Ⅴ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅵ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅶ (副専攻)	2
オペラ制作演習Ⅴ	2	オペラ制作演習Ⅵ	2	オペラ制作演習Ⅶ	2
歌曲研究Ⅰ	1	歌曲研究Ⅱ	1	歌曲研究Ⅲ	1
歌曲研究Ⅲ	1	歌曲研究Ⅳ	1	歌曲研究Ⅴ	1
声楽特別研究Ⅰ	1	声楽特別研究Ⅱ	1	声楽特別研究Ⅲ	1
合唱Ⅴ	1	合唱Ⅵ	1	合唱Ⅶ	1
楽曲分析Ⅰ	2	楽曲分析Ⅱ	2		
オペラ史Ⅰ	2	オペラ史Ⅱ	2		
コンサートプロデュース論	2				

3 年生			4 年生		
前期		後期	前期		後期
音楽心理学	2	美学Ⅰ	2		
知的財産法概論	2				
			卒業研究		4
実技演奏法Ⅴ (主専攻)	3	実技演奏法Ⅵ (主専攻)	3	実技演奏法Ⅶ (主専攻)	3
実技演奏法Ⅴ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅵ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅶ (副専攻)	2
器楽合奏Ⅴ	2	器楽合奏Ⅵ	2	器楽合奏Ⅶ	2
室内楽Ⅲ	1	室内楽Ⅳ	1	室内楽Ⅴ	1
楽曲分析Ⅰ	2	楽曲分析Ⅱ	2		
管弦楽史Ⅰ	2	管弦楽史Ⅱ	2		
即興演奏Ⅰ	1	即興演奏Ⅱ	1	即興演奏Ⅲ	1
コンサートプロデュース論	2				

電子オルガンコース

大区分	中区分	1 年生				2 年生			
		前期		後期		前期		後期	
共通科目	建学の精神と大谷学	建学の精神と大谷学 A	2	建学の精神と大谷学 B	2				
	基礎的汎用的スキル	初年次教育・情報リテラシー	2						
		文書実務 (Word)	1	情報処理演習 A (Excel)	1				
		文書作成法	1	口語表現法	1				
	芸術系教養					民族音楽Ⅰ	2	民族音楽Ⅱ	2
	外国語	〇〇語基礎Ⅰ	1	〇〇語基礎Ⅱ	1	〇〇語応用 A	1	〇〇語応用 B	1
専門科目等	卒業研究								
	実技	実技演奏法Ⅰ (主専攻)	3	実技演奏法Ⅱ (主専攻)	3	実技演奏法Ⅲ (主専攻)	3	実技演奏法Ⅳ (主専攻)	3
		実技演奏法Ⅰ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅱ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅰ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅱ (副専攻)	2
		器楽合奏Ⅰ	2	器楽合奏Ⅱ	2	器楽合奏Ⅲ	2	器楽合奏Ⅳ	2
		合唱Ⅰ	1	合唱Ⅱ	1				
	音楽一般	ソルフェージュ A	1	ソルフェージュ B	1	ソルフェージュ C	1	ソルフェージュ D	1
		音楽概論 A	2	音楽概論 B	2	音楽史 A	2	音楽史 B	2
		作曲・編曲法Ⅰ	2	作曲・編曲法Ⅱ	2	和声法Ⅰ	2	和声法Ⅱ	2
	コンピューター音楽	デジタルノーテーション	1	D A W	1				
	ポピュラー音楽	コードプログレッション A	1	コードプログレッション B	1	即興演奏 A	1	即興演奏 B	1
	キャリア								

作曲・サウンドクリエーションコース

大区分	中区分	1 年生				2 年生			
		前期		後期		前期		後期	
共通科目	建学の精神と大谷学	建学の精神と大谷学 A	2	建学の精神と大谷学 B	2				
	基礎的汎用的スキル	初年次教育・情報リテラシー	2						
		文書実務 (Word)	1	情報処理演習 A (Excel)	1				
		文書作成法	1	口語表現法	1				
	芸術系教養					民族音楽Ⅰ	2	民族音楽Ⅱ	2
	外国語	〇〇語基礎Ⅰ	1	〇〇語基礎Ⅱ	1	〇〇語応用 A	1	〇〇語応用 B	1
専門科目等	卒業研究								
	実技	作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅠ	3	作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅡ	3	作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅢ	3	作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅣ	3
		実技演奏法Ⅰ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅱ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅰ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅱ (副専攻)	2
		映像制作演習Ⅰ	3	映像制作演習Ⅱ	3	映像制作演習Ⅲ	3	映像制作演習Ⅳ	3
		合唱Ⅰ	1	合唱Ⅱ	1				
	音楽一般	ソルフェージュ A	1	ソルフェージュ B	1	ソルフェージュ C	1	ソルフェージュ D	1
		音楽概論 A	2	音楽概論 B	2	音楽史 A	2	音楽史 B	2
	コンピューター音楽	デジタルノーテーション	1	DAW	1	音響デザインⅠ	1	音響デザインⅡ	1
	ポピュラー音楽	コードプログレッション A	1	コードプログレッション B	1	即興演奏 A	1	即興演奏 B	1
	キャリア								

3 年生			4 年生		
前期		後期	前期		後期
音楽心理学	2	美学 B	2		
知的財産法概論	2				
			卒業研究		
実技演奏法 V（主専攻）	3	実技演奏法 VI（主専攻）	3	実技演奏法 VII（主専攻）	3
実技演奏法 V（副専攻）	2	実技演奏法 VI（副専攻）	2	実技演奏法 VII（副専攻）	2
器楽合奏 V	2	器楽合奏 VI	2	器楽合奏 VII	2
楽曲分析 I	2	楽曲分析 II	2		
管弦楽史 A	2	管弦楽史 B	2		
サウンドレコーディング A	1	サウンドレコーディング B	1	サウンドプロダクション A	1
即興演奏 C	1	即興演奏 D	1	即興演奏 E	1
コンサートプロデュース論	2				

3 年生			4 年生		
前期		後期	前期		後期
音楽心理学	2	美学 B	2		
知的財産法概論	2				
			卒業研究		
作曲・編曲実技・サウンドクリエイション V	3	作曲・編曲実技・サウンドクリエイション VI	3	作曲・編曲実技・サウンドクリエイション VII	3
実技演奏法 V（副専攻）	2	実技演奏法 VI（副専攻）	2	実技演奏法 VII（副専攻）	2
映像制作演習 V	3	映像制作演習 VI	3	映像制作演習 VII	3
楽曲分析 I	2	楽曲分析 II	2		
サウンドレコーディング A	1	サウンドレコーディング B	1	サウンドプロダクション A	1
即興演奏 C	1	即興演奏 D	1	即興演奏 E	1
音楽ビジネス論	2				
コンサートプロデュース論	2				

音楽療法コース

大区分	中区分	1 年生			2 年生		
		前期		後期	前期		後期
共通科目	建学の精神と大谷学	建学の精神と大谷学 A	2	建学の精神と大谷学 B	2		
	基礎的汎用的スキル	初年次教育・情報リテラシー	2				
		文書実務 (Word)	1	情報処理演習 A (Excel)	1		
		文書作成法	1	口語表現法	1		
	芸術系教養						
	医学・心理学	医学概論	2	臨床医学	2	リハビリテーション医学	2
						臨床心理学概論	2
	福祉・教育	障がい児教育	2	児童心理学	2	発達心理学	2
専門科目等	音楽療法	英語基礎 I	1	英語基礎 II	1	英語応用 A	1
		〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1	〇〇語応用 A	1
		卒業研究					
		音楽療法概論	2				
		音楽療法の理論	2	音楽療法の技法	2		
	実技	音楽療法技能 A	1	音楽療法技能 B	1	音楽療法技能 C	1
				音楽療法演習 I	1	音楽療法演習 II	1
						音楽療法各論 I	2
						音楽療法各論 II	2
						音楽療法実習 I	2
	音楽一般	実技演奏法 I (副科・ピアノ)	1	実技演奏法 II (副科・ピアノ)	1	実技演奏法 I (副科・〇〇)	1
		実技演奏法 I (副科・声楽)	1	実技演奏法 II (副科・声楽)	1	実技演奏法 II (副科・〇〇)	1
		器楽合奏 I	2	器楽合奏 II	2		
		合唱 I	1	合唱 II	1	合唱 III	1
						伴奏法 I	1
						伴奏法 II	1
						指揮法	2
	ポピュラー音楽	ソルフエージュ A	1	ソルフエージュ B	1	ソルフエージュ C	1
		音楽概論 A	2	音楽概論 B	2	音楽史 A	2
						和声法 I	2
						和声法 II	2
	邦楽					音楽リテラシー演習 I	1
						音楽リテラシー演習 II	1
						即興演奏 A	1
	キャリア					即興演奏 B	1
						日本の伝統歌唱	1

3 年生				4 年生			
前期		後期		前期		後期	
音楽心理学	2	美学 B	2				
		介護概論	2				
				卒業研究			4
音楽療法技能 E	1	音楽療法技能 F	1				
音楽療法各論Ⅲ	2						
音楽療法実習Ⅱ			2	音楽療法実習Ⅲ			2
合唱Ⅴ	1	合唱Ⅵ	1	合唱Ⅶ	1	合唱Ⅷ	1
伴奏法Ⅲ	1	伴奏法Ⅳ	1	伴奏法Ⅴ	1	伴奏法Ⅵ	1
即興演奏 C	1	即興演奏 D	1				
音楽ビジネス論	2						

音楽総合コース（実技講師型）

大区分	中区分	1 年生				2 年生			
		前期		後期		前期		後期	
共通科目	建学の精神と大谷学	建学の精神と大谷学 A	2	建学の精神と大谷学 B	2				
	基礎的汎用的スキル	初年次教育・情報リテラシー	2						
		文書実務 (Word)	1	情報処理演習 A (Excel)	1				
		文書作成法	1	口語表現法	1				
	芸術系教養								
	福祉・教育	障がい児教育	2	児童心理学	2	発達心理学	2		
専門科目等	外国語	〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1	〇〇語応用 A	1	〇〇語応用 B	1
	卒業研究								
	実技	実技演奏法 I (副専攻)	2	実技演奏法 II (副専攻)	2	実技演奏法 III (副専攻)	2	実技演奏法 IV (副専攻)	2
		実技演奏法 I (副科)	1	実技演奏法 II (副科)	1	実技演奏法 I (副科)	1	実技演奏法 II (副科)	1
		器楽合奏 I	2	器楽合奏 II	2	器楽合奏 III	2	器楽合奏 IV	2
		ピアノアンサンブル I	1	ピアノアンサンブル II	1	ピアノアンサンブル III	1	ピアノアンサンブル IV	1
		合唱 I	1	合唱 II	1				
	音楽一般	ソルフェージュ A	1	ソルフェージュ B	1	ソルフェージュ C	1	ソルフェージュ D	1
		音楽概論 A	2	音楽概論 B	2	音楽史 A	2	音楽史 B	2
						和声法 I	2	和声法 II	2
						音楽リテラシー演習 I	1	音楽リテラシー演習 II	1
	ポピュラー音楽					即興演奏 A	1	即興演奏 B	1
	実技指導					実技教材研究 I	2	実技教材研究 II	2
	キャリア								

3 年生				4 年生			
前期		後期		前期		後期	
音楽心理学	2						
知的財産法概論	2						
美学 A	2	美学 B	2				
				卒業研究			4
実技演奏法 V (副専攻)	2	実技演奏法 VI (副専攻)	2	実技演奏法 VII (副専攻)	2	実技演奏法 VIII (副専攻)	2
実技演奏法 V (副科)	1	実技演奏法 VI (副科)	1	実技演奏法 VII (副科)	1	実技演奏法 VIII (副科)	1
器楽合奏 V	2	器楽合奏 VI	2	器楽合奏 VII	2	器楽合奏 VIII	2
ピアノアンサンブル V	1	ピアノアンサンブル VI	1	ピアノアンサンブル VII	1	ピアノアンサンブル VIII	1
楽曲分析 I	2	楽曲分析 II	2	演奏解釈 I	1	演奏解釈 II	1
鍵盤音楽史 A	2	鍵盤音楽史 B	2				
音楽リテラシー演習 III	1	音楽リテラシー演習 IV	1				
即興演奏 C	1	即興演奏 D	1	即興演奏 E	1	即興演奏 F	1
実技教材研究 III	2	実技教材研究 IV	2	音楽実技教授法 I	1	音楽実技教授法 II	1
音楽ビジネス論	2						
コンサートプロデュース論	2						

音楽総合コース（音楽系就職型）

大区分	中区分	1 年生				2 年生			
		前期		後期		前期		後期	
共通科目	建学の精神と大谷学	建学の精神と大谷学 A	2	建学の精神と大谷学 B	2				
	基礎的汎用的スキル	初年次教育・情報リテラシー	2						
		文書実務 (Word)	1	情報処理演習 A (Excel)	1	情報処理演習 B (Excel)	1	情報処理応用演習 I	1
		文書作成法	1	口語表現法	1				
	芸術系教養					芸術メディア論	2	文化人類学	2
						民族音楽 I	2	民族音楽 II	2
	外国語	英語基礎 I	1	英語基礎 II	1	英語応用 A	1	英語応用 B	1
		〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1	〇〇語応用 A	1	〇〇語応用 B	1
	卒業研究								
専門科目等	実技	実技演奏法 I (副専攻)	2	実技演奏法 II (副専攻)	2	実技演奏法 III (副専攻)	2	実技演奏法 IV (副専攻)	2
		実技演奏法 I (副科)	1	実技演奏法 II (副科)	1	実技演奏法 I (副科)	1	実技演奏法 II (副科)	1
		器楽合奏 I	2	器楽合奏 II	2	器楽合奏 III	2	器楽合奏 IV	2
		映像制作演習 I	3	映像制作演習 II	3				
		合唱 I	1	合唱 II	1				
	音楽一般	ソルフェージュ A	1	ソルフェージュ B	1	ソルフェージュ C	1	ソルフェージュ D	1
		音楽概論 A	2	音楽概論 B	2	音楽史 A	2	音楽史 B	2
						音楽リテラシー演習 I	1	音楽リテラシー演習 II	1
	邦楽					和楽器	1	日本の伝統歌唱	1
	キャリア	ステージスタッフ実習 I	1	ステージスタッフ実習 II	1	ステージスタッフ実習 III	1	ステージスタッフ実習 IV	1

3 年生			4 年生		
前期		後期	前期		後期
情報処理応用演習Ⅱ	1				
音楽心理学	2	東洋史	2		
美学A	2	美学B	2		
知的財産法概論	2				
			卒業研究		
					4
実技演奏法Ⅴ（副専攻）	2	実技演奏法Ⅵ（副専攻）	2	実技演奏法Ⅶ（副専攻）	2
実技演奏法Ⅴ（副科）	1	実技演奏法Ⅵ（副科）	1	実技演奏法Ⅶ（副科）	1
器楽合奏Ⅴ	2	器楽合奏Ⅵ	2	器楽合奏Ⅶ	2
鍵盤音楽史A	2	鍵盤音楽史B	2		
音楽リテラシー演習Ⅲ	1	音楽リテラシー演習Ⅳ	1		
ステージスタッフ実習Ⅴ	1	ステージスタッフ実習Ⅵ	1	ステージスタッフ実習Ⅶ	1
音楽ビジネス論	2				
コンサートプロデュース論	2				

音楽総合コース（教職型）

大区分	中区分	1 年生				2 年生			
		前期		後期		前期		後期	
共通科目	建学の精神と大谷学	建学の精神と大谷学 A	2	建学の精神と大谷学 B	2				
	基礎的汎用的スキル	初年次教育・情報リテラシー	2						
		文書実務 (Word)	1	情報処理演習 A (Excel)	1				
		文書作成法	1	口語表現法	1				
	教職科目	健康スポーツ学 A	1	健康スポーツ学 B	1				
				日本国憲法	2				
	芸術系教養					民族音楽Ⅰ	2	民族音楽Ⅱ	2
	外国語	英語基礎Ⅰ	1	英語基礎Ⅱ	1	英語応用 A	1	英語応用 B	1
専門科目等	卒業研究								
	実技	実技演奏法Ⅰ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅱ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅲ (副専攻)	2	実技演奏法Ⅳ (副専攻)	2
		実技演奏法Ⅰ (副科・ピアノ)	1	実技演奏法Ⅱ (副科・ピアノ)	1	実技演奏法Ⅲ (副科・ピアノ)	1	実技演奏法Ⅳ (副科・ピアノ)	1
		実技演奏法Ⅰ (副科・声楽)	1	実技演奏法Ⅱ (副科・声楽)	1	実技演奏法Ⅲ (副科・声楽)	1	実技演奏法Ⅳ (副科・声楽)	1
		器楽合奏Ⅰ	2	器楽合奏Ⅱ	2	器楽合奏Ⅲ	2	器楽合奏Ⅳ	2
		合唱Ⅰ	1	合唱Ⅱ	1	合唱Ⅲ	1	合唱Ⅳ	1
	音楽一般				伴奏法Ⅰ	1	伴奏法Ⅱ	1	
		ソルフェージュ A	1	ソルフェージュ B	1	ソルフェージュ C	1	ソルフェージュ D	1
		音楽概論 A	2	音楽概論 B	2	音楽史 A	2	音楽史 B	2
		作曲・編曲法Ⅰ	2	作曲・編曲法Ⅱ	2	和声法Ⅰ	2	和声法Ⅱ	2
	邦楽				音楽リテラシー演習Ⅰ	1	音楽リテラシー演習Ⅱ	1	
					和楽器	1	日本の伝統歌唱	1	
	アンサンブルの指導				指揮法	2	合唱指導法	2	
					実技教材研究Ⅰ (吹奏楽・合唱)	2	実技教材研究Ⅱ (吹奏楽・合唱)	2	
	キャリア								

3 年生			4 年生		
前期		後期	前期		後期
知的財産法概論	2				
			卒業研究		
					4
実技演奏法Ⅴ（副専攻）	2	実技演奏法Ⅵ（副専攻）	2	実技演奏法Ⅶ（副専攻）	2
実技演奏法Ⅴ（副科）	1	実技演奏法Ⅵ（副科）	1	実技演奏法Ⅶ（副科）	1
器楽合奏Ⅴ	2	器楽合奏Ⅵ	2	合唱Ⅴ	1
				合唱Ⅵ	1
伴奏法Ⅲ	1	伴奏法Ⅳ	1	伴奏法Ⅴ	1
楽曲分析Ⅰ	2	楽曲分析Ⅱ	2	伴奏法Ⅵ	1
音楽リテラシー演習Ⅲ	1	音楽リテラシー演習Ⅳ	1		
実技教材研究Ⅰ （吹奏楽・合唱）	2	実技教材研究Ⅱ （吹奏楽・合唱）	2	音楽実技教授法Ⅰ （吹奏楽・合唱）	1
音楽ビジネス論	2			音楽実技教授法Ⅱ （吹奏楽・合唱）	1
コンサートプロデュース論	2				

Ⅳ－４．教育職員免許状の取得

(1) 教育職員免許状を取得するためには「①教科及び教科の指導法に関する科目」「②教育の基礎的理解に関する科目等」「③大学が独自に設定する科目」「④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」よりそれぞれ所要の単位数を修得する必要があります。

中学校教諭一種（音楽）・高等学校教諭一種（音楽）

①教科及び教科の指導法に関する科目

単 位 数	教育職員免許法 施行規則に定め る科目区分	左記に対応する開設授業科目					備考
		授業科目	単位数		免許対象科目		
			必修	選択	中学	高校	
中学 28単位以上 高校 24単位以上	ソルフェージュ	ソルフェージュA	1		○	○	
		ソルフェージュB	1		○	○	
		ソルフェージュC	1		○	○	
		ソルフェージュD	1		○	○	
	声乐（合唱及び 日本の伝統的な 歌唱を含む。）	合唱Ⅰ	1		○	○	
		合唱Ⅱ	1		○	○	
		合唱Ⅲ	1		○	○	
		合唱Ⅳ	1		○	○	
		日本の伝統歌唱	1		○	○	
		実技演奏法Ⅰ（主専攻・声乐）		3	○	○	
		実技演奏法Ⅱ（主専攻・声乐）		3	○	○	
		実技演奏法Ⅲ（主専攻・声乐）		3	○	○	
		実技演奏法Ⅳ（主専攻・声乐）		3	○	○	
		実技演奏法Ⅰ（副専攻・声乐）		2	○	○	
		実技演奏法Ⅱ（副専攻・声乐）		2	○	○	
		実技演奏法Ⅲ（副専攻・声乐）		2	○	○	
		実技演奏法Ⅳ（副専攻・声乐）		2	○	○	
		実技演奏法Ⅰ（副科・声乐）		1	○	○	
		実技演奏法Ⅱ（副科・声乐）		1	○	○	
		実技演奏法Ⅲ（副科・声乐）		1	○	○	
		実技演奏法Ⅳ（副科・声乐）		1	○	○	
		器楽（合奏及び 伴奏並びに和楽 器を含む。）	和楽器	1		○	○
	伴奏法Ⅰ		1		○	○	
	伴奏法Ⅱ		1		○	○	
	伴奏法Ⅲ		1		○	○	
	伴奏法Ⅳ		1		○	○	
	実技演奏法Ⅰ（主専攻・ピアノ）			3	○	○	2単位以上 選択必修
	実技演奏法Ⅱ（主専攻・ピアノ）			3	○	○	
	実技演奏法Ⅲ（主専攻・ピアノ）			3	○	○	
	実技演奏法Ⅳ（主専攻・ピアノ）			3	○	○	
	実技演奏法Ⅰ（副専攻・ピアノ）			2	○	○	
	実技演奏法Ⅱ（副専攻・ピアノ）			2	○	○	
	実技演奏法Ⅲ（副専攻・ピアノ）			2	○	○	
	実技演奏法Ⅳ（副専攻・ピアノ）			2	○	○	
	実技演奏法Ⅰ（副科・ピアノ）			1	○	○	いずれか1科目 選択必修
	実技演奏法Ⅱ（副科・ピアノ）			1	○	○	
	実技演奏法Ⅲ（副科・ピアノ）			1	○	○	
	実技演奏法Ⅳ（副科・ピアノ）			1	○	○	
	器楽合奏Ⅰ（吹奏楽・オーケストラ）			2	○	○	
	器楽合奏Ⅰ（弦楽合奏・オーケストラ）			2	○	○	
	器楽合奏Ⅰ（電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ）			2	○	○	
	器楽合奏Ⅱ（吹奏楽・オーケストラ）			2	○	○	
	器楽合奏Ⅱ（弦楽合奏・オーケストラ）			2	○	○	
	器楽合奏Ⅱ（電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ）			2	○	○	
	指揮法	指揮法	2		○	○	
		合唱指導法	2		○	○	

単位数	教育職員免許法 施行規則に定め る科目区分	左記に対応する開設授業科目					備考
		授業科目	単位数		免許対象科目		
			必修	選択	中学	高校	
中学 28単位以上 高校 24単位以上	音楽理論・作曲 法（編曲法を含 む。）・音楽史 （日本の伝統音 楽及び諸民族 の音楽を含む。）	音楽史 A	2		○	○	
		和声法Ⅰ	2		○	○	
		和声法Ⅱ	2		○	○	
		民族音楽Ⅰ	2		○	○	
		作曲・編曲法Ⅰ		2	○	○	いずれか 1 科目 選択必修
		作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅠ		3	○	○	
		作曲・編曲法Ⅱ		2	○	○	いずれか 1 科目 選択必修
		作曲・編曲実技・サウンドクリエイションⅡ		3	○	○	
		音楽史 B		2	○	○	
		楽曲分析Ⅰ		2	○	○	
		楽曲分析Ⅱ		2	○	○	
		民族音楽Ⅱ		2	○	○	
	各教科の指導法 （情報通信技術 の活用を含む。）	音楽教育法 A	2		○	○	2 年次前期開講
		音楽教育法 B	2		○	○	2 年次後期開講
		音楽教育法 C	2		○	○	3 年次前期開講
		音楽教育法 D	2		○	○	3 年次後期開講

②教育の基礎的理解に関する科目等

単位数		教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				配当年次			
			授業科目	単位数		免許対象科目				
				必修	選択	中学		高校		
中学27単位 高校23単位以上	10	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2		○	○	1・前期	
			教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教師論	2			○	○	1・前期
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2			○	○	3・前期
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2			○	○	2・前期
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1			○	○	1・後期
			教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2			○	○	2・後期
	高校8 10	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	2			○		2・後期
			総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2			○	○	3・後期
			特別活動の指導法							
			教育の方法及び技術	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）	2			○	○	1・前期
			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法							
			生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2			○	○	1・後期
			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
			教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の基礎と方法	2			○	○	2・前期
	高校3 5	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前事後指導	1			○	○	3－4 通年
				教育実地研究	4			○	○	4・通年
			教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2			○	○	4・後期

※「道德教育の理論と実践」は中学校教諭一種免許状では「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目であり、高等学校教諭一種免許状では「大学が独自に設定する科目」となります。

③大学が独自に設定する科目

単位数	対応する開設授業科目					配当年次
	授業科目	単位数		免許対象科目		
		必修	選択	中学	高校	
中学 4 単位 高校12単位	介護等体験	1		○	○	3・通年

※残りの単位は「教科及び教科の指導法に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目等」から修得すること。

※高等学校教諭一種免許状では「介護等体験」に加え「道德教育の理論と実践」が「大学が独自に設定する科目」に充当されます。

④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

単位数		教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
8 単位	2	日本国憲法	日本国憲法	2	
	2	体育	健康スポーツ学 A（体育理論）	1	
			健康スポーツ学 B（体育実技）	1	
	2	外国語コミュニケーション	英語基礎Ⅰ	1	
			英語基礎Ⅱ	1	
	2	情報機器の操作	文書実務（Word）	1	
			情報処理演習 A（Excel）	1	

(2) 履修継続要件

P50「Ⅲ－4－9．教職課程の履修の継続要件」を満たし、かつ以下の要件を満たすこと。

① 3年次継続履修要件

- ・「①教科及び教科の指導法に関する科目」の1年次配当科目のうち教職必修科目及び選択必修科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・「②教育の基礎的理解に関する科目等」のうち1年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・「④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」のうち1年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・P54「Ⅳ－2．授業科目情報」の必修科目のうち1年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。

② 4年次継続履修要件

- ・「①教科及び教科の指導法に関する科目」の1・2年次配当科目のうち教職必修科目及び選択必修科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・「②教育の基礎的理解に関する科目等」及び「③大学が独自に設定する科目」のうち1～3年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・P54「Ⅳ－2．授業科目情報」の必修科目のうち1・2年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。

IV-5. 実技演奏法（レッスン）の主専攻・副科・副専攻

(1) 実技演奏法（レッスン）の種類、半期（6ヶ月）のレッスン時間、単位数他

実技演奏法の種類	レッスン時間	単位数	コース別情報
副科 [下表参照]	20分×15回 (週)	1	- 音楽療法コースと音楽総合コースの学生は、17単位目から学費とは別の追加受講料が発生します。 - ピアノ、声楽、管弦打楽、作曲、電子オルガンの各コースの学生は9単位目から、学費とは別の追加受講料が発生します。 - 追加受講料は1科目につき60,000円です。
副専攻	30分×15回 (週)	2	- 音楽総合コースの学生は17単位目から学費とは別の追加受講料が発生します。 - ピアノ、声楽、管弦打楽、作曲、電子オルガン、音楽療法の各コースの学生は学費とは別の追加受講料が発生します。 - 追加受講料は1科目につき90,000円です。
主専攻	45分×15回 (週)	3	音楽療法、音楽総合の各コースの学生は履修不可です。

実技演奏法Ⅰ～Ⅷ (副科・[楽器名又は専攻科目名])	ピアノ	声楽	管弦打楽	作曲	電子オルガン	音楽療法	音楽総合
1単位から8単位まで	—	—	—	—	—	—	—
9単位から16単位まで	○	○	○	○	○	—	—
17単位以上	○	○	○	○	○	○	○

追加授業料について

—：発生しない
○：発生する

(2) 履修要件

- ① 受講料を納めること。
- ② 履修に必要な読譜能力を有していること。
- ③ 楽器を用意すること（管楽器の場合）。

なお、履修の希望が多い場合は、履修人数を制限する場合があります。その際は抽選等の適当な方法（例えば、楽器は大学の借用よりも所有している者を優先する等）により履修者を決定します。

また、管楽器を履修する場合は、その楽器を持っているか、または購入する必要があります。

楽器を購入する場合は、授業始めのガイダンスで担当教員と相談してから購入するようにしてください。

(3) 受講料

- ① 履修登録時に納入期限も併せてご案内しますので、特定の口座へ受講料を納付してください。
- ② 受講料を納めなければ、履修することができません。
- ③ 受講料の分納は認めていません。また、納付した受講料は原則として返付しません。

(4) 注意事項

授業が始まりますと、科目の特性上、原則途中で履修放棄することはできません。

(5) 楽器名又は専攻科目名

楽器名又は専攻科目名	参考価格（円）	受講要件ほか
ピアノ	購入不要	—
チェンバロ	購入不要	—
電子オルガン	購入不要	—
声楽	—	—
ミュージカル歌唱	—	—
フルート	7万程度	楽器を購入すること
ピッコロ	20万～	楽器一部貸出可
オーボエ	45万程度	楽器を購入すること
クラリネット	20万程度	
バスクラリネット	50万～	楽器一部貸出可
ファゴット	95万～	借用楽器もありますが、購入が望ましい
サクソフォン	12万～	
トランペット	7万程度	
ホルン	50万前後～	
トロンボーン	15万～30万程度	楽器を購入すること
バストロンボーン	20万～40万程度	
チューバ	95万～120万程度	
ユーフォニアム	50万～70万程度	
パーカッション	スティック・マレットのみ	—
ドラム	1千～7千程度	
ヴァイオリン	10万程度	
ヴィオラ	10～20万程度	借用楽器もありますが、購入が望ましい
チェロ	20～50万程度	
コントラバス	30万～	
ギター	5万程度	楽器一部貸出可
箏	—	借用楽器もありますが、購入が望ましい
作曲	—	—
ハープ	購入不要	—
ポピュラー・ジャズピアノ	購入不要	—

IV－6．日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）受験資格と 全国音楽療法士養成協議会音楽療法士（1種）称号の取得

音楽療法コースの履修によって取得できる受験資格及び称号は、次のとおりであり、それぞれ所定の単位を修得する必要があります。

(1) 日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）受験資格

分野及び科目区分			単位数	
			必修	選択
音楽分野 (32単位以上)	I. 理論	音楽理論/通論 (4単位必修)	音楽概論 A	2
			音楽概論 B	2
		和声学 (2単位必修)	和声法 I	2
		音楽心理学 (2単位必修)	音楽心理学	2
		日本の音楽 (2単位必修)	日本の伝統歌唱	1
			和楽器	1
		美学（音楽）	美学 B	2
		編曲法	作曲・編曲法 I	2
		鍵盤和声 (コード伴奏法)	和声法 II	2
		対位法	該当なし	
		音楽構成論	該当なし	
		楽式論	該当なし	
		楽曲分析	楽曲分析 I	2
		演奏解釈	演奏解釈 I	1
			演奏解釈 II	1
		芸術社会学	該当なし	
		音楽社会学	該当なし	
		音楽教育学	音楽教育法 A	2
		コンピュータ音楽	デジタルノテーション	1
			DAW	1
		西洋音楽史	音楽史 A	2
		西洋音楽史各論	音楽史 B	2
		演奏様式論	該当なし	
		民族音楽学	民族音楽 I	2
		芸能論	民族音楽 II	2

分野及び科目区分			本学授業科目	単位数	
				必修	選択
音楽分野 (32単位以上)	Ⅱ 実技「副科を含む」	ソルフェージュ (2単位必修)	ソルフェージュ A		1
			ソルフェージュ B		1
			ソルフェージュ C		1
			ソルフェージュ D		1
		ピアノ (2単位必修)	実技演奏法Ⅰ (副科・ピアノ)	1	
			実技演奏法Ⅱ (副科・ピアノ)	1	
		声楽 (2単位必修)	実技演奏法Ⅰ (副科・声楽)	1	
			実技演奏法Ⅱ (副科・声楽)	1	
		器楽 (管、弦、打楽器) (2単位必修)	実技演奏法Ⅰ (副科・管弦打楽)		1
			実技演奏法Ⅱ (副科・管弦打楽)		1
			実技演奏法Ⅰ (副科・電子オルガン)		1
			実技演奏法Ⅱ (副科・電子オルガン)		1
		合唱 (2単位必修)	合唱Ⅰ	1	
			合唱Ⅱ	1	
		合奏 (2単位必修)	器楽合奏Ⅰ (吹奏楽・オーケストラ)		2
			器楽合奏Ⅰ (弦楽合奏・オーケストラ)		2
			器楽合奏Ⅰ (電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ)		2
		指揮法 (2単位必修)	指揮法	2	
		ギター	該当なし		
		リトミック	該当なし		

分野及び科目区分				本学授業科目	単位数 必修 選択	
音楽療法分野 (30 単位以上)	I. 理論	音楽療法概論 (2 単位必修)	資質・論理を含む	音楽療法概論	2	
	II. 音楽療法 1 (基礎)	音楽療法の理論と技法 (4 単位必修)		音楽療法の理論	2	
				音楽療法の技法	2	
	III. 音楽療法 2 (臨床)	音楽療法各論 (I) (2 単位必修)	障害児・者など	音楽療法各論 I	2	
		音楽療法各論 (II) (2 単位必修)	精神科、心療内科など	音楽療法各論 II	2	
		音楽療法各論 (III) (2 単位必修)	高齢者、緩和ケアなど	音楽療法各論 III	2	
	IV. 音楽療法 3 (技能)	技能 (I) (2 単位必修)	歌唱、伴奏	音楽療法技能 A	1	
		技能 (II) (2 単位必修)	即興演奏	音楽療法技能 B	1	
				音楽療法技能 C	1	
				音楽療法技能 D	1	
		技能 (III) (2 単位必修)	作曲、編曲、アンサンブル、指揮	音楽療法技能 E	1	
	V. 演習・実習	演習 (2 単位必修)	グループ体験	音楽療法演習 I	1	
				音楽療法演習 II	1	
		実習 (6 単位必修)	最低、児童、成人、高齢者の 3 領域とし見学実習、評価実習を含む	音楽療法実習 I	2	
				音楽療法実習 II	2	
				音楽療法実習 III	2	
	VI. 卒業論文	卒業論文 (4 単位必修)	研究方法論を含む・統計学、研究計画、論文の書き方など	卒業研究	4	
医学・心理学分野 (10 単位)		医学概論 (2 単位必修)	解剖・生理、治療学、症候学、チーム医療など	医学概論	2	
		臨床医学各論 (I) (2 単位必修)	精神医学、心身医学、老年学など	臨床医学	2	
		臨床医学各論 (II) (2 単位必修)	小児科学、内科学、リハビリ学、関連医学	リハビリテーション医学	2	
		臨床心理学 (I) (2 単位必修)	面接法、心理テスト、行動評価など	臨床心理学概論	2	
		臨床心理学 (II) (2 単位必修)	心理療法の諸理論と技法	臨床心理学	2	
福祉・教育分野 (8 単位)		社会福祉概論 (2 単位必修)	福祉システム、関連法、児童・老人・地域福祉	社会福祉	2	
		発達心理学 (2 単位必修)		発達心理学	2	
		障害児教育 (2 単位必修)	障害学を含む	障がい児教育	2	
		介護概論 (2 単位必修)		介護概論	2	

分野及び 科目区分	本学授業科目	単位数		分野及び 科目区分	本学授業科目	単位数	
		必修	選択			必修	選択
語学 (8単位以上)	英語基礎Ⅰ		1	その他 (36単位以上)	芸術メディア論		2
	英語基礎Ⅱ		1		日本の地理		2
	英語応用Ⅰ		1		社会思想史		2
	英語応用Ⅱ		1		文化人類学		2
	総合英語Ⅰ		2		日本の歴史		2
	総合英語Ⅱ		2		国際社会と政治		2
	英語コミュニケーションⅠ		1		国際社会と経済		2
	英語コミュニケーションⅡ		1		西洋史		2
	フランス語基礎Ⅰ		1		知的財産法概論		2
	フランス語基礎Ⅱ		1		東洋史		2
	フランス語応用Ⅰ		1		国際社会と法		2
	フランス語応用Ⅱ		1		欧米社会論		2
	イタリア語基礎Ⅰ		1		健康スポーツ学Ⅰ(体育理論)		1
	イタリア語基礎Ⅱ		1		健康スポーツ学Ⅱ(体育実技)		1
	イタリア語応用Ⅰ		1		コンピュータプログラミングⅠ		1
	イタリア語応用Ⅱ		1		コンピュータプログラミングⅡ		1
	ドイツ語基礎Ⅰ		1		美学Ⅰ		2
	ドイツ語基礎Ⅱ		1		オペラ制作演習Ⅰ		2
	ドイツ語応用Ⅰ		1		オペラ制作演習Ⅱ		2
	ドイツ語応用Ⅱ		1		オペラ制作演習Ⅲ		2
その他 (36単位以上)	中国語基礎Ⅰ		1		オペラ制作演習Ⅳ		2
	中国語基礎Ⅱ		1		オペラ制作演習Ⅴ		2
	中国語応用Ⅰ		1		オペラ制作演習Ⅵ		2
	中国語応用Ⅱ		1		オペラ制作演習Ⅶ		2
	教育原理		2		オペラ制作演習Ⅷ		2
	教育制度論		2		映像制作演習Ⅰ		3
	音楽教育法Ⅰ		2		映像制作演習Ⅱ		3
	初年次教育・情報リテラシー		2		映像制作演習Ⅲ		3
	建学の精神と大谷学Ⅰ		2		映像制作演習Ⅳ		3
	文書実務(Word)		1		映像制作演習Ⅴ		3
	情報処理演習Ⅰ(Excel)		1		映像制作演習Ⅵ		3
	情報処理演習Ⅱ(Excel)		1		映像制作演習Ⅶ		3
	情報処理応用演習Ⅰ		1		映像制作演習Ⅷ		3
	情報処理応用演習Ⅱ		1		作曲・編曲法Ⅱ		2
	文書作成法		1		楽曲分析Ⅱ		2
	口語表現法		1		鍵盤音楽史Ⅰ		2
	情報検索		2		鍵盤音楽史Ⅱ		2
	数学Ⅰ		2		オペラ史Ⅰ		2
	数学Ⅱ		2		オペラ史Ⅱ		2
	北海道の地理		2		管弦楽史Ⅰ		2
	北海道の生活文化		2		管弦楽史Ⅱ		2
	北海道の歴史		2		合唱指導法		2
	北海道の美術		2		コンサートプロデュース論		2
	北海道の産業		2		音楽ビジネス論		2
	哲学		2		実技教材研究Ⅰ(ピアノ)		2
	日本国憲法		2		実技教材研究Ⅱ(ピアノ)		2
	児童心理学		2		実技教材研究Ⅲ(ピアノ)		2
	建学の精神と大谷学Ⅱ		2		実技教材研究Ⅳ(ピアノ)		2
	文学		2		実技教材研究Ⅰ(吹奏楽・合唱)		2
	政治学		2		実技教材研究Ⅱ(吹奏楽・合唱)		2

分野及び 科目区分	本学授業科目	単位数		分野及び 科目区分	本学授業科目	単位数	
		必修	選択			必修	選択
その他 (36 単位以上)	実技教材研究Ⅲ (吹奏楽・合唱)		2	その他 (36 単位以上)	歌曲研究 D		1
	実技教材研究Ⅳ (吹奏楽・合唱)		2		歌曲研究 E		1
	音楽実技教授法Ⅰ (ピアノ)		1		歌曲研究 F		1
	音楽実技教授法Ⅱ (ピアノ)		1		声楽特別研究 A		1
	音楽実技教授法Ⅰ (吹奏楽・合唱)		1		声楽特別研究 B		1
	音楽実技教授法Ⅱ (吹奏楽・合唱)		1		声楽特別研究 C		1
	コードプログレッション A		1		声楽特別研究 D		1
	コードプログレッション B		1		音響デザインⅠ		1
	即興演奏 A		1		音響デザインⅡ		1
	即興演奏 B		1		サウンドレコーディング A		1
	即興演奏 C		1		サウンドレコーディング B		1
	即興演奏 D		1		サウンドプロダクション A		1
	即興演奏 E		1		サウンドプロダクション B		1
	即興演奏 F		1		音楽リテラシー演習Ⅰ		1
	器楽合奏Ⅱ (吹奏楽・オーケストラ)		2		音楽リテラシー演習Ⅱ		1
	器楽合奏Ⅲ (吹奏楽・オーケストラ)		2		音楽リテラシー演習Ⅲ		1
	器楽合奏Ⅳ (吹奏楽・オーケストラ)		2		音楽リテラシー演習Ⅳ		1
	器楽合奏Ⅴ (吹奏楽・オーケストラ)		2		ピアノ伴奏法 A		1
	器楽合奏Ⅵ (吹奏楽・オーケストラ)		2		ピアノ伴奏法 B		1
	器楽合奏Ⅶ (吹奏楽・オーケストラ)		2		ピアノ伴奏法 C		1
	器楽合奏Ⅷ (吹奏楽・オーケストラ)		2		ピアノ伴奏法 D		1
	器楽合奏Ⅱ (弦楽合奏・オーケストラ)		2		伴奏法Ⅰ		1
	器楽合奏Ⅲ (弦楽合奏・オーケストラ)		2		伴奏法Ⅱ		1
	器楽合奏Ⅳ (弦楽合奏・オーケストラ)		2		伴奏法Ⅲ		1
	器楽合奏Ⅴ (弦楽合奏・オーケストラ)		2		伴奏法Ⅳ		1
	器楽合奏Ⅵ (弦楽合奏・オーケストラ)		2		伴奏法Ⅴ		1
	器楽合奏Ⅶ (弦楽合奏・オーケストラ)		2		伴奏法Ⅵ		1
	器楽合奏Ⅷ (弦楽合奏・オーケストラ)		2		伴奏実習Ⅰ		1
	器楽合奏Ⅱ (電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ)		2		伴奏実習Ⅱ		1
	器楽合奏Ⅲ (電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ)		2		伴奏実習Ⅲ		1
	器楽合奏Ⅳ (電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ)		2		伴奏実習Ⅳ		1
	器楽合奏Ⅴ (電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ)		2		伴奏実習Ⅴ		1
	器楽合奏Ⅵ (電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ)		2		伴奏実習Ⅵ		1
	器楽合奏Ⅶ (電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ)		2		伴奏実習Ⅶ		1
	器楽合奏Ⅷ (電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ)		2		伴奏実習Ⅷ		1
	合唱Ⅲ		1		ステージスタッフ実習Ⅰ		1
	合唱Ⅳ		1		ステージスタッフ実習Ⅱ		1
	合唱Ⅴ		1		ステージスタッフ実習Ⅲ		1
	合唱Ⅵ		1		ステージスタッフ実習Ⅳ		1
	合唱Ⅶ		1		ステージスタッフ実習Ⅴ		1
	合唱Ⅷ		1		ステージスタッフ実習Ⅵ		1
	歌曲研究 A		1		ステージスタッフ実習Ⅶ		1
	歌曲研究 B		1		ステージスタッフ実習Ⅷ		1
	歌曲研究 C		1		実技演奏研究Ⅰ (演奏クラス)		3
					実技演奏研究Ⅱ (演奏クラス)		3
					実技演奏研究Ⅲ (演奏クラス)		3
					実技演奏研究Ⅳ (演奏クラス)		3
					実技演奏研究Ⅴ (演奏クラス)		3
					実技演奏研究Ⅵ (演奏クラス)		3
					ピアノアンサンブルⅠ		1

分野及び 科目区分	本学授業科目	単位数	
		必修	選択
その他 (36単位以上)	ピアノアンサンブルⅡ		1
	ピアノアンサンブルⅢ		1
	ピアノアンサンブルⅣ		1
	ピアノアンサンブルⅤ		1
	ピアノアンサンブルⅥ		1
	ピアノアンサンブルⅦ		1
	ピアノアンサンブルⅧ		1
	室内楽Ⅰ		1
	室内楽Ⅱ		1
	室内楽Ⅲ		1
	室内楽Ⅳ		1
	室内楽Ⅴ		1
	室内楽Ⅵ		1

(2) 全国音楽療法士養成協議会認定音楽療法士（1種）称号

1. 専門科目

科目区分（指定単位数）		本学授業科目	単位数
音楽に関する分野 (30単位)	理論に関する科目群 (8単位)	音楽概論 A	2
		音楽概論 B	2
		楽曲分析 I	2
		楽曲分析 II	2
		音楽心理学	2
		音楽史 A	2
		音楽史 B	2
		和声法 I	2
		和声法 II	2
		作曲・編曲法 I	2
		作曲・編曲法 II	2
	実技に関する科目群 (22単位)	ソルフェージュ A	1
		ソルフェージュ B	1
		ソルフェージュ C	1
		ソルフェージュ D	1
		合唱 I	1
		合唱 II	1
		合唱 III	1
		合唱 IV	1
		合唱 V	1
		合唱 VI	1
		合唱 VII	1
		合唱 VIII	1
		実技演奏法 I（副科・ピアノ）	1
		実技演奏法 II（副科・ピアノ）	1
		実技演奏法 III（副科・ピアノ）	1
		実技演奏法 IV（副科・ピアノ）	1
		実技演奏法 I（副科・声楽）	1
		実技演奏法 II（副科・声楽）	1
		実技演奏法 III（副科・声楽）	1
		実技演奏法 IV（副科・声楽）	1
		実技演奏法 V（副科・声楽）	1
		実技演奏法 VI（副科・声楽）	1
		実技演奏法 I（副科・管弦打楽）	1
		実技演奏法 II（副科・管弦打楽）	1
		実技演奏法 III（副科・管弦打楽）	1
		実技演奏法 IV（副科・管弦打楽）	1
		実技演奏法 V（副科・管弦打楽）	1
		実技演奏法 VI（副科・管弦打楽）	1
		実技演奏法 I（副科・電子オルガン）	1
		実技演奏法 II（副科・電子オルガン）	1
		実技演奏法 III（副科・電子オルガン）	1
		実技演奏法 IV（副科・電子オルガン）	1
		実技演奏法 V（副科・電子オルガン）	1
		実技演奏法 VI（副科・電子オルガン）	1

科目区分（指定単位数）		本学授業科目	単位数
音楽に関する分野 （30単位）	実技に関する科目群 （22単位）	伴奏法Ⅰ	1
		伴奏法Ⅱ	1
		伴奏法Ⅲ	1
		伴奏法Ⅳ	1
		指揮法	2
		器楽合奏Ⅰ（吹奏楽・オーケストラ）	2
		器楽合奏Ⅰ（弦楽合奏・オーケストラ）	2
		器楽合奏Ⅰ（電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ）	2
		器楽合奏Ⅱ（吹奏楽・オーケストラ）	2
		器楽合奏Ⅱ（弦楽合奏・オーケストラ）	2
		器楽合奏Ⅱ（電子オルガン・ハイブリッドオーケストラ）	2
小計			74
音楽療法に関する分野 （16単位）		音楽療法概論	2
		音楽療法の理論	2
		音楽療法各論Ⅰ	2
		音楽療法各論Ⅱ	2
		音楽療法各論Ⅲ	2
		音楽療法技能 A	1
		音楽療法技能 B	1
		音楽療法技能 C	1
		音楽療法技能 D	1
		音楽療法技能 E	1
		音楽療法技能 F	1
小計			16
音楽療法の関連分野 （20単位）	教育に関する科目群 （4 単位以上）	教育制度論	2
		教育原理	2
		音楽教育法 A	2
		音楽教育法 B	2
		障がい児教育	2
	福祉に関する科目群 （4 単位以上）	社会福祉	2
		介護概論	2
	医学・看護に関する科目群 （4 単位以上）	医学概論	2
		リハビリテーション医学	2
		臨床医学	2
	心理に関する科目群 （4 単位以上）	臨床心理学概論	2
児童心理学		2	
発達心理学		2	
小計			26
音楽療法実習※事前・事後指導 1 単位含む （5 単位）		音楽療法演習Ⅱ	1
		音楽療法実習Ⅱ	2
		音楽療法実習Ⅲ	2
		小計	5
合計（71単位）			121

2. 教養科目

科目区分（指定単位数）	本学授業科目名	単位数	
		必修	選択
教養関連科目 （24単位以上） （外国語2単位以上修得すること） （情報処理2単位以上修得すること）	初年次教育・情報リテラシー		2
	建学の精神と大谷学 A		2
	哲学		2
	文書実務（Word）		1
	情報処理演習 A（Excel）		1
	情報処理演習 B（Excel）		1
	情報処理応用演習 I		1
	情報処理応用演習 II		1
	文書作成法		1
	口語表現法		1
	情報検索		2
	数学 I		2
	数学 II		2
	北海道の地理		2
	北海道の生活文化		2
	北海道の歴史		2
	北海道の美術		2
	北海道の産業		2
	日本国憲法		2
	日本の地理		2
	日本の歴史		2
	文学		2
	文化人類学		2
	社会思想史		2
	国際社会と法		2
	国際社会と政治		2
	国際社会と経済		2
	西洋史		2
	欧米社会論		2
	東洋史		2
	健康スポーツ学 A（体育理論）		1
	健康スポーツ学 B（体育実技）		1
	建学の精神と大谷学 B		2
	政治学		2
	芸術メディア論		2
	知的財産法概論		2
	コンピュータプログラミング I		1
	コンピュータプログラミング II		1
	英語基礎 I		1
	英語基礎 II		1
	英語応用 A		1
	英語応用 B		1
	総合英語 A		2
	総合英語 B		2
	英語コミュニケーション I		1
	英語コミュニケーション II		1
	フランス語基礎 I		1
	フランス語基礎 II		1

科目区分（指定単位数）	本学授業科目	単位数	
		必修	選択
教養関連科目 （24単位以上） （外国語 2 単位以上修得すること） （情報処理 2 単位以上修得すること）	フランス語応用 A		1
	フランス語応用 B		1
	イタリア語基礎 I		1
	イタリア語基礎 II		1
	イタリア語応用 A		1
	イタリア語応用 B		1
	ドイツ語基礎 I		1
	ドイツ語基礎 II		1
	ドイツ語応用 A		1
	ドイツ語応用 B		1
	中国語基礎 I		1
	中国語基礎 II		1
	中国語応用 A		1
	中国語応用 B		1
	美学 A		2
	美学 B		2
	民族音楽 I		2
	民族音楽 II		2
	和楽器		1
	日本の伝統歌唱		1
	臨床心理学		2
合計			103

V. 芸術学部美術学科の学修

V-1. 卒業要件単位数

必修科目	大学共通科目	4 単位
	専門科目	46単位
選択科目	大学共通科目	18単位以上 (うち外国語科目 2 単位以上)
	芸術学部共通科目	36単位以上
	専門科目	
自由科目	他学部他学科科目等	20単位まで
卒業に必要な単位数の合計		124単位以上

- (1) 必修科目の大学共通科目は、4 単位全て修得しなければならない。
- (2) 必修科目の専門科目は、46単位全て修得しなければならない。
- (3) 選択科目の大学共通科目は、その中から18単位以上を修得しなければならない。
さらに、大学共通科目のうち外国語科目は、その中から2 単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択科目の芸術学部共通科目及び専門科目は、その中から36単位以上を修得しなければならない。
- (5) 芸術学部美術学科の履修登録の年間上限単位数は、各49単位とする。

履修に関すること

- (1) 授業科目の前期又は後期の開講学期については、臨時で変更する場合があります。
- (2) ローマ数字（Ⅰ～Ⅷ）を含む科目名称は、そのローマ数字順に修得しなければならない。

V-2. 授業科目情報

1. 必修科目・大学共通科目

科目名称	授業形態	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
初年次教育・情報リテラシー	講義	2		2								○	○	○	
建学の精神と大谷学A	講義	2		2								○	○		
卒業に必要な単位数		4													

2. 必修科目・芸術学部美術学科専門科目

科目名称	授業形態	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
西洋美術史A	講義	2		2								○			
西洋美術史B	講義	2			2							○			
日本美術史A	講義	2				2						○			
日本美術史B	講義	2					2					○			
クリエイターズライブラリー	講義	2				2						○			
共通基礎A	実技	6		6								○			
共通基礎B	実技	6			6							○			
共通基礎C	実技	4		4	4							○			
専門基礎A	実技	6				6						○	○		
専門基礎B	実技	6					6					○	○	○	
卒業制作A	実技	4								4			○	○	○
卒業制作B	実技	4									4		○	○	○
卒業に必要な単位数		46													

3 - (1). 選択科目・大学共通科目（一般教養科目）

科目名称	授業形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
情報検索	講義		2	2								○			
医学概論	講義		2	2								○			
障がい児教育	講義		2	2								○			
数学Ⅰ	講義		2	2										○	
数学Ⅱ	講義		2		2									○	
哲学	講義		2		2							○			
日本国憲法	講義		2		2										○
臨床医学	講義		2		2										○
児童心理学	講義		2		2										○
建学の精神と大谷学 B	講義		2		2							○			
文学	講義		2			2						○			
政治学	講義		2			2									○
芸術メディア論	講義		2			2									○
日本の地理	講義		2			2						○			
発達心理学	講義		2			2									○
臨床心理学概論	講義		2			2									○
リハビリテーション医学	講義		2			2									○
民族音楽Ⅰ	講義		2			2						○			
民族音楽Ⅱ	講義		2				2					○			
社会福祉	講義		2				2								○
社会思想史	講義		2				2					○			
文化人類学	講義		2				2					○			
日本の歴史	講義		2				2					○			
臨床心理学	講義		2				2								○
北海道の地理	講義		2				2								○
北海道の生活文化	講義		2				2								○
北海道の歴史	講義		2					2							○
北海道の美術	講義		2					2				○			
北海道の産業	講義		2					2							○
音楽心理学	講義		2					2							○
国際社会と政治	講義		2					2							○
国際社会と経済	講義		2					2							○
西洋史	講義		2					2				○			
知的財産法概論	講義		2					2							○
美学 A	講義		2					2						○	
美学 B	講義		2						2					○	
東洋史	講義		2						2			○			
国際社会と法	講義		2						2						○
欧米社会論	講義		2						2						○
介護概論	講義		2						2			○			○
文書実務（Word）	演習		1	1								○			
情報処理演習 A（Excel）	演習		1		1							○			
情報処理演習 B（Excel）	演習		1			1						○			
情報処理応用演習Ⅰ	演習		1				1					○			
情報処理応用演習Ⅱ	演習		1					1				○			
コンピュータプログラミングⅠ	演習		1				1					○			
コンピュータプログラミングⅡ	演習		1					1				○			
文書作成法	演習		1	1								○			
口語表現法	演習		1		1							○			
健康スポーツ学 A（体育理論）	講義		1	1											○
健康スポーツ学 B（体育実技）	実技		1	1	1										○

3 - (2). 選択科目・大学共通科目（キャリア科目）

科目名称	授業 形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
札幌大谷キャリア支援プログラム A - I	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - II	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - III	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - IV	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - V	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - VI	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - VII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - VIII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - I	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - II	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - III	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - IV	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - V	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - VI	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - VII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - VIII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - I	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - II	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - III	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - IV	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - V	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - VI	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - VII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - VIII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - I	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - II	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - III	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - IV	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - V	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - VI	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - VII	実習		1					1				○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - VIII	実習		1					1				○			

3 - (3). 選択科目・大学共通科目 (外国語科目)

科目名称	授業形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
英語基礎 I	演習		1	1								○			
英語基礎 II	演習		1		1							○			
英語応用 A	演習		1			1						○			
英語応用 B	演習		1				1					○			
英語コミュニケーション I	演習		1					1				○			
英語コミュニケーション II	演習		1						1			○			
総合英語 A	講義		2	2								○			
総合英語 B	講義		2		2							○			
イタリア語基礎 I	演習		1	1								○			
イタリア語基礎 II	演習		1		1							○			
イタリア語応用 A	演習		1			1						○			
イタリア語応用 B	演習		1				1					○			
ドイツ語基礎 I	演習		1	1								○			
ドイツ語基礎 II	演習		1		1							○			
ドイツ語応用 A	演習		1			1						○			
ドイツ語応用 B	演習		1				1					○			
フランス語基礎 I	演習		1	1								○			
フランス語基礎 II	演習		1		1							○			
フランス語応用 A	演習		1			1						○			
フランス語応用 B	演習		1				1					○			
中国語基礎 I	演習		1	1								○			
中国語基礎 II	演習		1		1							○			
中国語応用 A	演習		1			1						○			
中国語応用 B	演習		1				1					○			

4. 選択科目・芸術学部共通科目 (映像科目)

科目名称	授業形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
映像制作演習 I	演習		3	3								○	○	○	○
映像制作演習 II	演習		3		3							○	○	○	○
映像制作演習 III	演習		3			3						○	○	○	○
映像制作演習 IV	演習		3				3					○	○	○	○
映像制作演習 V	演習		3					3				○	○	○	○
映像制作演習 VI	演習		3						3			○	○	○	○
映像制作演習 VII	演習		3							3		○	○	○	○
映像制作演習 VIII	演習		3								3	○	○	○	○

5. 選択科目・芸術学部美術学科専門科目

科目名称	授業 形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
色彩学	講義		2	2								○			
デザイン概論	講義		2	2								○			
コンテンポラリーアート	講義		2			2						○			
情報デザイン論	講義		2			2						○			
感性デザイン論	講義		2			2						○			
美術概論	講義		2			2						○			
仏教美術	講義		2					2				○			
マスメディア論	講義		2					2				○			
写真・映像論	講義		2					2				○			
アートマネジメント	講義		2					2				○			
コピーライティング	講義		2					2						○	○
コンピュータ造形	演習		2	2								○			
教職デザイン	演習		2	2								○			
教職彫刻	演習		2	2								○			
教職絵画	演習		2		2							○			
造形表現基礎	演習		2		2							○			
総合表現演習 A	演習		4			4						○	○		
総合表現演習 B	演習		4				4					○	○		
フォトグラフィ	演習		2			2	2					○			
テキスタイル	演習		2			2	2					○			
シルクスクリーン	演習		2			2	2					○			
リトグラフ	演習		2			2						○			
漫画表現	演習		2				2					○			
映像メディア表現	演習		2				2					○			
教職工芸（テキスタイル）	演習		2				2					○			
サウンドデザイン（基礎）	実技		2			2						○			
アニメーション（基礎）	実技		2				2					○			
イラストレーション	実技		2					2				○			
教職陶芸	実技		2					2				○			
クリエイティブデザイン	実技		2						2				○	○	
WEB デザイン（応用）	実技		2						2						○
アートディレクション	実技		2						2					○	○
油彩研究 A	実技		8					8					○	○	
油彩研究 B	実技		8						8				○	○	
油彩研究 C	実技		8							8			○	○	○
油彩研究 D	実技		8								8		○	○	○
日本画研究 A	実技		8					8					○	○	
日本画研究 B	実技		8						8				○	○	
日本画研究 C	実技		8							8			○	○	○
日本画研究 D	実技		8								8		○	○	○
版画研究 A	実技		8					8					○	○	
版画研究 B	実技		8						8				○	○	
版画研究 C	実技		8							8			○	○	○
版画研究 D	実技		8								8		○	○	○
立体研究 A	実技		8					8					○	○	
立体研究 B	実技		8						8				○	○	
立体研究 C	実技		8							8			○	○	○
立体研究 D	実技		8								8		○	○	○
メディア研究 A	実技		8					8					○	○	
メディア研究 B	実技		8						8				○	○	
メディア研究 C	実技		8							8			○	○	○
メディア研究 D	実技		8								8		○	○	○
造形表現ゼミ A	実技		2					2					○	○	○
造形表現ゼミ B	実技		2						2				○	○	○
造形表現ゼミ C	実技		2							2			○	○	○
造形表現ゼミ D	実技		2								2		○	○	○
メディア表現ゼミ A	実技		2					2					○	○	○
メディア表現ゼミ B	実技		2						2				○	○	○

メディア表現ゼミC	実技		2						2			○	○	○
メディア表現ゼミD	実技		2						2			○	○	○

V-3. 履修モデル

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部では、みなさんの卒業までの学びが、ご自分の理想に近づけるように履修モデルを設定しております。

履修モデルはコースや専攻ごとに設定されるだけでなく、職種などの進路に合わせて複数用意されております。ご自分の将来の理想に合わせて履修モデルを選択してください。

しかしながら将来の理想が在学中に変わることもあります。その場合、違う履修モデルに変更することも可能です。

また、履修モデルをベースとしつつも、ご自分の興味のある科目に変更するなどカスタマイズも可能です。例えば、教職課程履修者は履修モデルをベースとしながら、教職必修科目に入れ替えることもできます。ぜひ履修モデルを有効に活用し、自分のカリキュラムを作ってください。

美術学科履修モデル

	1年生				2年生				3年生				4年生			
	前期	後期			前期	後期			前期	後期			前期	後期		
全学共通必修	初年次教育・情報リテラシー 建学の精神と大谷学A	2 2														

外国語	英語基礎Ⅰ 総合英語A イタリア語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅰ	1 2 1 1 1 1	英語基礎Ⅱ 総合英語B イタリア語基礎Ⅱ ドイツ語基礎Ⅱ フランス語基礎Ⅱ 中国語基礎Ⅱ	1 2 1 1 1 1	英語応用A イタリア語応用A ドイツ語応用A フランス語応用A 中国語応用A	1 1 1 1 1	英語応用B イタリア語応用B ドイツ語応用B フランス語応用B 中国語応用B	1 1 1 1 1	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	1 1						
-----	---	----------------------------	---	----------------------------	--	-----------------------	--	-----------------------	------------------------------	--------	--	--	--	--	--	--

外国語以外の全学共通科目	文書実務 文書作成法 情報検索 数学Ⅰ 医学概論 障がい児教育 健康スポーツ学A (体育理論) 健康スポーツ学B (体育実技)	1 1 1 2 2 2 1 1	情報処理演習A 口語表現法 数学Ⅱ 哲学 日本国憲法 臨床医学 児童心理学 建学の精神と大谷学B (体育実技)	1 1 2 2 2 2 2 2	情報処理演習B 文学 政治学 芸術メディア論 日本の地理 発達心理学 臨床心理学概論 リハビリテーション医学 民族音楽Ⅰ	1 2 2 2 2 2 2 2 1	情報処理演習Ⅰ 北海道の地理 北海道の生活文化 社会福祉 社会思想史 文化人類学 日本の歴史 コンピュータプログラミングⅠ	1 2 2 2 2 2 2 1 2	情報処理演習Ⅱ 北海道の美術 北海道の産業 音楽心理学 国際社会と政治 国際社会と経済 西洋史 知的財産法概論 コンピュータプログラミングⅡ	1 2 2 2 2 2 2 1	東洋史 国際社会と法 欧米社会論 介護概論 美学B	2 2 2 2 2				
--------------	--	--------------------------------------	---	--------------------------------------	--	---	--	---	--	--------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------	--	--	--	--

芸術学部共通専門科目	映像制作演習Ⅰ	3	映像制作演習Ⅱ	3	映像制作演習Ⅲ	3	映像制作演習Ⅳ	3	映像制作演習Ⅴ	3	映像制作演習Ⅵ	3	映像制作演習Ⅶ	3	映像制作演習Ⅷ	3
------------	---------	---	---------	---	---------	---	---------	---	---------	---	---------	---	---------	---	---------	---

専門・共通	共通基礎A 共通基礎C 西洋美術史A	6 4 2	共通基礎B 共通基礎C 西洋美術史B 造形表現基礎	6 4 2 2	専門基礎A 総合表現演習A 日本美術史A クリエイターズライブラリー	6 4 2 2	専門基礎B 総合表現演習B 日本美術史B	6 4 2					卒業制作A	4	卒業制作B	4
-------	--------------------------	-------------	------------------------------------	------------------	---	------------------	----------------------------	-------------	--	--	--	--	-------	---	-------	---

油彩専攻	色彩学	2			フォトグラフィ コンテンポラリーアート	2 2	フォトグラフィ	2	油彩研究A 造形表現ゼミA イラストレーション 仏教美術 アートマネジメント	8 2 2 2 2	油彩研究B 造形表現ゼミB	8 2	油彩研究C 造形表現ゼミC	8	油彩研究D 造形表現ゼミD	8 2
日本画専攻	色彩学	2			フォトグラフィ テキスタイル シルクスクリーン	2 2 2	フォトグラフィ テキスタイル シルクスクリーン 漫画表現	2 2 2 2	日本画研究A 造形表現ゼミA イラストレーション 仏教美術 アートマネジメント	8 2 2 2 2	日本画研究B 造形表現ゼミB	8 2	日本画研究C 造形表現ゼミC	8	日本画研究D 造形表現ゼミD	8 2
版画専攻	色彩学	2			フォトグラフィ シルクスクリーン リトグラフ	2 2 2	フォトグラフィ シルクスクリーン	2 2	版画研究A 造形表現ゼミA イラストレーション アートマネジメント	8 2 2 2	版画研究B 造形表現ゼミB	8 2	版画研究C 造形表現ゼミC	8	版画研究D 造形表現ゼミD	8 2
立体専攻					フォトグラフィ コンテンポラリーアート	2 2	フォトグラフィ 感性デザイン論	2 2	立体研究A 造形表現ゼミA 仏教美術 アートマネジメント	8 2 2 2	立体研究B 造形表現ゼミB	8 2	立体研究C 造形表現ゼミC	8	立体研究D 造形表現ゼミD	8 2
写真・映像メディアアート専攻	色彩学 デザイン概論	2 2			フォトグラフィ コンテンポラリーアート サウンドデザイン (基礎)	2 2 2	フォトグラフィ 漫画表現 アニメーション (基礎)	2 2 2	メディア研究A メディア表現ゼミA 写真・映像論	8 2 2	メディア研究B メディア表現ゼミB	8 2	メディア研究C メディア表現ゼミC	8	メディア研究D メディア表現ゼミD	8 2

グラフィックイラスト専攻	色彩学 デザイン概論	2 2		フォトグラフィ	2	フォトグラフィ 漫画表現	2	メディア研究A メディア表現ゼミA イラストレーション コピーライティング	8 2 2 2	メディア研究B メディア表現ゼミB クリエイティブ デザイン アートディレクション	8 2 2 2	メディア研究C メディア表現ゼミC	8 2	メディア研究D メディア表現ゼミD	8 2
	色彩学 デザイン概論	2 2		フォトグラフィ 情報デザイン論	2	フォトグラフィ 感性デザイン論	2	メディア研究A メディア表現ゼミA コピーライティング	8 2 2	メディア研究B メディア表現ゼミB クリエイティブ デザイン アートディレクション WEB デザイン (応用)	8 2 2 2 2	メディア研究C メディア表現ゼミC	8 2	メディア研究D メディア表現ゼミD	8 2
	ファッション・デジタルアプリケーション専攻	2 2		フォトグラフィ テキスタイル シルクスクリーン	2 2	フォトグラフィ テキスタイル シルクスクリーン	2 2	メディア研究A メディア表現ゼミA アートマネジメント	8 2 2	メディア研究B メディア表現ゼミB WEB デザイン (応用)	8 2 2	メディア研究C メディア表現ゼミC	8 2	メディア研究D メディア表現ゼミD	8 2

V-4. 教育職員免許状の取得

- (1) 教育職員免許状を取得するためには「①教科及び教科の指導法に関する科目」「②教育の基礎的理解に関する科目等」「③大学が独自に設定する科目」「④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」よりそれぞれ所要の単位数を修得する必要があります。

中学校教諭一種（美術）・高等学校教諭一種（美術）

①教科及び教科の指導法に関する科目

単 位 数	教育職員免許法 施行規則に定め る科目区分	左記に対応する開設授業科目					備考
		授業科目	単位数		免許対象科目		
	必修		選択	中学	高校		
中 学 28 単 位 以 上 高 校 24 単 位 以 上	絵画（映像メディア表現を含む。）	共通基礎A	6		○	○	
		共通基礎C	4		○	○	
		専門基礎A	6		○	○	
		教職絵画	2		○	○	
		映像メディア表現	2		○	○	
		シルクスクリーン		2	○	○	いずれか1科目 選択必修
		リトグラフ		2	○	○	
		イラストレーション		2	○	○	
	彫刻	彫刻	2		○	○	
	デザイン（映像メディア表現を含む。）	共通基礎B	6		○	○	
		専門基礎B	6		○	○	
		教職デザイン	2		○	○	
		コンピュータ造形	2		○	○	
		フォトグラフィ		2	○	○	
		Webデザイン（応用）		2	○	○	
	工芸	テキスタイル	2		○		
		教職陶芸	2		○		
	美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	西洋美術史A	2		○	○	
		日本美術史A	2		○	○	
		コンテンポラリーアート	2		○	○	
		仏教美術	2		○	○	
		美術概論	2		○	○	
		西洋美術史B		2	○	○	
		日本美術史B		2	○	○	
		デザイン概論		2	○	○	
		色彩学		2	○	○	
		情報デザイン論		2	○	○	
		感性デザイン論		2	○	○	
		北海道の美術		2	○	○	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	美術教育法A	2		○	○	
		美術教育法B	2		○	○	
		美術教育法C	2		○	○	
		美術教育法D	2		○	○	

※科目区分「工芸」の授業科目は高等学校教諭一種免許状の単位に充てることはできません。

②教育の基礎的理解に関する科目等

単位数		教育職員免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目					配当年次
				授業科目	単位数		免許対象科目		
					必修	選択	中学	高校	
中学27単位 高校23単位以上	10	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2		○	○	1・前期
			教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教師論	2		○	○	1・前期
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2		○	○	3・前期
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		○	○	2・前期
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1		○	○	1・後期
			教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2		○	○	2・後期
	高校8 中学10	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	2		○		2・後期
			総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		○	○	3・後期
			特別活動の指導法						
			教育の方法及び技術	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）	2		○	○	1・前期
			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
			生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2		○	○	1・後期
			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
			教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の基礎と方法	2		○	○	2・前期
	高校3 中学5	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前事後指導	1		○	○	3－4 通年
				教育実地研究	4		○	○	4・通年
			教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2		○	○	4・後期

※「道徳教育の理論と実践」は中学校教諭一種免許状では「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目であり、高等学校教諭一種免許状では「大学が独自に設定する科目」となります。

③大学が独自に設定する科目

単位数	対応する開設授業科目					配当年次
	授業科目	単位数		免許対象科目		
		必修	選択	中学	高校	
中学 4 単位 高校12単位	介護等体験	1		○	○	3・通年

※残りの単位は「教科及び教科の指導法に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目等」から修得すること。

※高等学校教諭一種免許状では「介護等体験」に加え「道徳教育の理論と実践」が「大学が独自に設定する科目」に充当されます。

④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

単位数		教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
8 単 位	2	日本国憲法	日本国憲法	2	
	2	体育	健康スポーツ学A（体育理論）	1	
			健康スポーツ学B（体育実技）	1	
	2	外国語コミュニケーション	英語基礎Ⅰ	1	
			英語基礎Ⅱ	1	
	2	情報機器の操作	文書実務（Word）	1	
			情報処理演習A（Excel）	1	

(2) 履修継続要件

P50「Ⅲ－4－9．教職課程の履修の継続要件」を満たし、かつ以下の要件を満たすこと。

① 3年次継続履修要件

- ・「①教科及び教科の指導法に関する科目」の1年次配当科目のうち教職必修科目及び選択必修科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・「②教育の基礎的理解に関する科目等」のうち1年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・「④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」のうち1年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・P92「V－2．授業科目情報」の必修科目のうち1年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。

② 4年次継続履修要件

- ・「①教科及び教科の指導法に関する科目」の1・2年次配当科目のうち教職必修科目及び選択必修科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・「②教育の基礎的理解に関する科目等」及び「③大学が独自に設定する科目」のうち1～3年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・P92「V－2．授業科目情報」の必修科目のうち1・2年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。

VI. 社会学部地域社会学科の学修

VI－1．卒業要件単位数

必修	大学共通科目	4 単位
	専門科目	48単位
選択科目	大学共通科目	10単位以上 (うち外国語科目 2 単位以上)
	専門科目	30単位以上
自由科目	他学部他学科科目等	20単位まで
卒業に必要な単位数の合計		124単位以上

- (1) 必修科目の大学共通科目は、4 単位全て修得しなければならない。
- (2) 必修科目の専門科目は、48単位全て修得しなければならない。
- (3) 選択科目の大学共通科目は、その中から10単位以上を修得しなければならない。
さらに、大学共通科目のうち外国語科目は、その中から 2 単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択科目の専門科目は、その中から30単位以上を修得しなければならない。
- (5) 社会学部の履修登録の年間上限単位数は、各49単位とする。

履修に関すること

- (1) 授業科目の前期又は後期の開講学期については、臨時で変更する場合があります。
- (2) ローマ数字（Ⅰ～Ⅷ）を含む科目名称は、そのローマ数字順に修得しなければならない。

VI-2. 授業科目情報

1. 必修科目・大学共通科目

科目名称	授業形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
初年次教育・情報リテラシー	講義	2		2								○	○	○	
建学の精神と大谷学A	講義	2		2								○	○		
卒業に必要な単位数		4													

2. 必修科目・社会学部地域社会学科専門科目

科目名称	授業形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
市民社会と人間関係	講義	2		2											○
キャリアデザイン論A	講義	2		2								○			
情報検索	講義	2		2								○			
社会問題入門	講義	2		2										○	
地域社会論Ⅰ	講義	2		2											○
地域社会論Ⅱ	講義	2			2										○
社会学基礎	講義	2			2										○
文章構成法	講義	2			2							○			
社会調査入門	講義	2				2								○	
社会調査応用	講義	2					2							○	
文書実務（Word）	演習	1		1								○			
情報処理演習A（Excel）	演習	1			1							○			
情報処理演習B（Excel）	演習	1				1						○			
文章要約実践	演習	1				1						○			
論理的文章作成実践	演習	1					1					○			
地域課題研究Ⅰ	演習	1						1					○	○	
地域課題研究Ⅱ	演習	1							1				○	○	
基礎演習Ⅰ	演習	2		2									○		
基礎演習Ⅱ	演習	2			2								○		
専門基礎演習Ⅰ	演習	2				2							○		
専門基礎演習Ⅱ	演習	2					2						○		
専門演習Ⅰ	演習	1						1					○		
専門演習Ⅱ	演習	1							1				○		
専門演習Ⅲ	演習	1								1			○		
専門演習Ⅳ	演習	1									1		○		
卒業研究Ⅰ	演習	4								4			○	○	
卒業研究Ⅱ	演習	4									4		○	○	
地域実践	実習	1			1									○	
卒業に必要な単位数		48													

3 - (1). 選択科目・大学共通科目（一般教養科目）

科目名称	授業 形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
情報検索	講義		2	2								○			
医学概論	講義		2	2								○			
障がい児教育	講義		2	2								○			
数学Ⅰ	講義		2	2										○	
数学Ⅱ	講義		2		2									○	
哲学	講義		2		2							○			
日本国憲法	講義		2		2										○
臨床医学	講義		2		2										○
児童心理学	講義		2		2										○
建学の精神と大谷学B	講義		2		2							○			
文学	講義		2			2						○			
政治学	講義		2			2									○
芸術メディア論	講義		2			2									○
日本の地理	講義		2			2						○			
発達心理学	講義		2			2									○
臨床心理学概論	講義		2			2									○
リハビリテーション医学	講義		2			2									○
民族音楽Ⅰ	講義		2			2						○			
民族音楽Ⅱ	講義		2				2					○			
社会福祉	講義		2				2								○
社会思想史	講義		2				2					○			
文化人類学	講義		2				2					○			
日本の歴史	講義		2				2					○			
臨床心理学	講義		2				2								○
北海道の地理	講義		2				2								○
北海道の生活文化	講義		2				2								○
北海道の歴史	講義		2												○
北海道の美術	講義		2					2				○			
北海道の産業	講義		2					2							○
音楽心理学	講義		2					2							○
国際社会と政治	講義		2					2							○
国際社会と経済	講義		2					2							○
西洋史	講義		2					2				○			
知的財産法概論	講義		2					2							○
美学A	講義		2					2						○	
美学B	講義		2						2					○	
東洋史	講義		2						2			○			
国際社会と法	講義		2						2						○
欧米社会論	講義		2						2						○
介護概論	講義		2						2			○			○
文書実務（Word）	演習		1	1								○			
情報処理演習A（Excel）	演習		1		1							○			
情報処理演習B（Excel）	演習		1			1						○			
情報処理応用演習Ⅰ	演習		1				1					○			
情報処理応用演習Ⅱ	演習		1					1				○			
コンピュータプログラミングⅠ	演習		1				1					○			
コンピュータプログラミングⅡ	演習		1					1				○			
文書作成法	演習		1	1								○			
口語表現法	演習		1		1							○			
健康スポーツ学A（体育理論）	講義		1	1											○
健康スポーツ学B（体育実技）	実技		1	1	1										○

3 - (2). 選択科目・大学共通科目（キャリア科目）

科目名称	授業 形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
札幌大谷キャリア支援プログラム A - I	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - II	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - III	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - IV	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - V	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - VI	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - VII	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム A - VIII	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - I	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - II	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - III	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - IV	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - V	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - VI	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - VII	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム B - VIII	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - I	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - II	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - III	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - IV	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - V	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - VI	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - VII	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム C - VIII	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - I	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - II	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - III	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - IV	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - V	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - VI	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - VII	実習		1			1						○			
札幌大谷キャリア支援プログラム D - VIII	実習		1			1						○			

3 - (3). 選択科目・大学共通科目（外国語科目）

科目名称	授業 形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
英語基礎Ⅰ	演習		1	1								○			
英語基礎Ⅱ	演習		1		1							○			
英語応用Ⅰ	演習		1			1						○			
英語応用Ⅱ	演習		1				1					○			
英語コミュニケーションⅠ	演習		1					1				○			
英語コミュニケーションⅡ	演習		1						1			○			
総合英語Ⅰ	講義		2	2								○			
総合英語Ⅱ	講義		2		2							○			
イタリア語基礎Ⅰ	演習		1	1								○			
イタリア語基礎Ⅱ	演習		1		1							○			
イタリア語応用Ⅰ	演習		1			1						○			
イタリア語応用Ⅱ	演習		1				1					○			
ドイツ語基礎Ⅰ	演習		1	1								○			
ドイツ語基礎Ⅱ	演習		1		1							○			
ドイツ語応用Ⅰ	演習		1			1						○			
ドイツ語応用Ⅱ	演習		1				1					○			
フランス語基礎Ⅰ	演習		1	1								○			
フランス語基礎Ⅱ	演習		1		1							○			
フランス語応用Ⅰ	演習		1			1						○			
フランス語応用Ⅱ	演習		1				1					○			
中国語基礎Ⅰ	演習		1	1								○			
中国語基礎Ⅱ	演習		1		1							○			
中国語応用Ⅰ	演習		1			1						○			
中国語応用Ⅱ	演習		1				1					○			

4. 選択科目・社会学部地域社会学科専門科目

科目名称	授業 形態	単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
統計学入門	講義		2		2									○	
地方自治入門	講義		2		2										○
法学入門	講義		2		2										○
経済学入門	講義		2		2										○
経営学入門	講義		2		2										○
現代社会と福祉	講義		2		2										○
現代社会と教育	講義		2		2										○
観光社会学	講義		2		2										○
コミュニケーションの社会学	講義		2		2										○
地域社会とICT	講義		2		2							○			
統計学応用	講義		2			2								○	
経済学応用	講義		2			2									○
経営学応用	講義		2			2									○
公共の倫理	講義		2			2						○			
民法入門	講義		2			2									○
憲法A	講義		2			2									○
民法A	講義		2			2									○
地域社会と政治	講義		2			2									○
会計学	講義		2			2									○
子ども家庭福祉論	講義		2			2									○
観光事業論	講義		2			2									○
地域教育政策	講義		2			2									○
インターンシップ概論	講義		2			2						○			
憲法B	講義		2				2								○
民法B	講義		2				2								○
コミュニティとまちづくり	講義		2				2								○
社会心理学	講義		2				2								○
財産取引と法	講義		2				2								○
企業と法	講義		2				2								○
行政学	講義		2				2								○
マーケティング入門	講義		2				2								○
産業経済地理	講義		2				2								○
財政学	講義		2				2								○
生涯学習概論	講義		2				2								○
地域福祉の理論と方法	講義		2				2								○
ニューツーリズム論	講義		2				2								○
地域メディア論	講義		2				2								○
行政法	講義		2					2							○
都市社会学	講義		2					2							○
マーケティング応用	講義		2					2							○
スポーツの社会学	講義		2					2							○
公共政策論	講義		2					2							○
税制税法概論	講義		2					2							○
商品開発論	講義		2					2							○
金融学	講義		2					2							○
産業教育論	講義		2					2							○
社会保障制度論	講義		2					2							○
地域資源管理論	講義		2					2							○
ジェンダーの社会学	講義		2						2			○			
キャリアデザイン論B	講義		2						2			○			
都市計画論	講義		2						2						○

コミュニティビジネス論	講義		2					2							○
ベンチャー経営論	講義		2					2							○
アンケート作成法	演習		2				2							○	
社会調査法演習	演習		2					2						○	
地域スポーツ実践演習	演習		2					2							○
インターンシップ実践	演習		1					1				○			
観光メディア演習Ⅰ	演習		1					1							○
観光メディア演習Ⅱ	演習		1					1							○

VI-3. 履修モデル

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部では、みなさんの卒業までの学びが、ご自分の理想に近づけるように履修モデルを設定しております。

履修モデルはコースや専攻ごとに設定されるだけでなく、職種などの進路に合わせて複数用意されております。ご自分の将来の理想に合わせて履修モデルを選択してください。

しかしながら将来の理想が在学中に変わることもあります。その場合、違う履修モデルに変更することも可能です。

また、履修モデルをベースとしつつも、ご自分の興味のある科目に変更するなどカスタマイズも可能です。例えば、教職課程履修者は履修モデルをベースとしながら、教職必修科目に入れ替えることもできます。ぜひ履修モデルを有効に活用し、自分のカリキュラムを作ってください。

行政・法律コース

	1 年生				2 年生			
	前期		後期		前期		後期	
全学共通必修	初年次教育・情報リテラシー 建学の精神と大谷学 A	2 2						
文章作成			文章構成法	2	文章要約実践	1	論理的文章作成実践	1
情報処理	情報検索 文書実務	2 1	情報処理演習 A	1	情報処理演習 B	1		
キャリア	キャリアデザイン論 A	2			インターンシップ概論	2		
外国語	英語基礎 I	1	英語基礎 II	1	英語応用 A	1	英語応用 B	1
	総合英語 A	2	総合英語 B	2	イタリア語応用 A	1	イタリア語応用 B	1
	イタリア語基礎 I	1	イタリア語基礎 II	1	ドイツ語応用 A	1	ドイツ語応用 B	1
	ドイツ語基礎 I	1	ドイツ語基礎 II	1	フランス語応用 A	1	フランス語応用 B	1
	フランス語基礎 I	1	フランス語基礎 II	1	中国語応用 A	1	中国語応用 B	1
	中国語基礎 I	1	中国語基礎 II	1				
必修・ゼミ	基礎演習 I	2	基礎演習 II	2	専門基礎演習 I	2	専門基礎演習 II	2
必修・地域研究	社会問題入門	2	地域実践	1				
専門・社会調査			統計学入門	2	統計学応用 社会調査入門	2 2	社会調査応用 アンケート作成法	2 2
専門・共通	市民社会と人間関係 地域社会論 I	2 2	社会学基礎 地域社会論 II 地域社会と ICT	2 2 2	公共の倫理	2	社会心理学	2
行政・法律 コース専攻科目			法学入門	2	民法入門	2	財産取引と法 企業と法	2 2
					憲法 A	2	憲法 B	2
					民法 A	2	民法 B	2
			地方自治入門	2	地域社会と政治	2	行政学	2
							コミュニティとまちづくり	2

3 年生			4 年生		
前期		後期	前期		後期
インターンシップ実践	1	キャリアデザイン論 B	2		
英語コミュニケーション I	1	英語コミュニケーション II	1		
専門演習 I	1	専門演習 II	1	専門演習 III 卒業研究 I	1
地域課題研究 I	1	地域課題研究 II	1	4	専門演習 IV 卒業研究 II
社会調査法演習	2				
スポーツの社会学	2	ジェンダーの社会学	2		
地域スポーツ実践演習	2				
税制税法概論	2				
行政法	2				
公共政策論	2				
都市社会学	2	都市計画論	2		

経済・経営コース

	1 年生				2 年生			
	前期		後期		前期		後期	
全学共通必修	初年次教育・情報リテラシー 建学の精神と大谷学 A	2 2						
文章作成			文章構成法	2	文章要約実践	1	論理的文章作成実践	1
情報処理	情報検索 文書実務	2 1	情報処理演習 A	1	情報処理演習 B	1		
キャリア	キャリアデザイン論 A	2			インターンシップ概論	2		
外国語	英語基礎 I	1	英語基礎 II	1	英語応用 A	1	英語応用 B	1
	総合英語 A	2	総合英語 B	2	イタリア語応用 A	1	イタリア語応用 B	1
	イタリア語基礎 I	1	イタリア語基礎 II	1	ドイツ語応用 A	1	ドイツ語応用 B	1
	ドイツ語基礎 I	1	ドイツ語基礎 II	1	フランス語応用 A	1	フランス語応用 B	1
	フランス語基礎 I	1	フランス語基礎 II	1	中国語応用 A	1	中国語応用 B	1
	中国語基礎 I	1	中国語基礎 II	1				
必修・ゼミ	基礎演習 I	2	基礎演習 II	2	専門基礎演習 I	2	専門基礎演習 II	2
必修・地域研究	社会問題入門	2	地域実践	1				
専門・社会調査			統計学入門	2	統計学応用 社会調査入門	2 2	社会調査応用 アンケート作成法	2 2
専門・共通	市民社会と人間関係 地域社会論 I	2 2	社会学基礎 地域社会論 II 地域社会と ICT	2 2 2	公共の倫理	2	社会心理学	2
経済・経営 コース専攻科目			経済学入門 経営学入門	2 2	経済学応用 会計学 経営学応用	2 2 2	財政学 マーケティング入門 産業経済地理	2 2 2

3 年生			4 年生		
前期		後期	前期		後期
インターンシップ実践	1	キャリアデザイン論 B	2		
英語コミュニケーション I	1	英語コミュニケーション II	1		
専門演習 I	1	専門演習 II	1 専門演習 III 卒業研究 I	1 専門演習 IV 卒業研究 II	1
地域課題研究 I	1	地域課題研究 II	1		4
社会調査法演習	2				
スポーツの社会学	2	ジェンダーの社会学	2		
地域スポーツ実践演習	2				
金融学 マーケティング応用 商品開発論	2 2 2	コミュニティビジネス論 ベンチャー経営論	2 2		

教育・福祉コース

	1 年生				2 年生			
	前期		後期		前期		後期	
全学共通必修	初年次教育・情報リテラシー 建学の精神と大谷学A	2 2						
文章作成			文章構成法	2	文章要約実践	1	論理的文章作成実践	1
情報処理	情報検索 文書実務	2 1	情報処理演習 A	1	情報処理演習 B	1		
キャリア	キャリアデザイン論 A	2			インターンシップ概論	2		
外国語	英語基礎 I	1	英語基礎 II	1	英語応用 A	1	英語応用 B	1
	総合英語 A	2	総合英語 B	2	イタリア語応用 A	1	イタリア語応用 B	1
	イタリア語基礎 I	1	イタリア語基礎 II	1	ドイツ語応用 A	1	ドイツ語応用 B	1
	ドイツ語基礎 I	1	ドイツ語基礎 II	1	フランス語応用 A	1	フランス語応用 B	1
	フランス語基礎 I	1	フランス語基礎 II	1	中国語応用 A	1	中国語応用 B	1
	中国語基礎 I	1	中国語基礎 II	1				
必修・ゼミ	基礎演習 I	2	基礎演習 II	2	専門基礎演習 I	2	専門基礎演習 II	2
必修・地域研究	社会問題入門	2	地域実践	1				
専門・社会調査			統計学入門	2	統計学応用 社会調査入門	2 2	社会調査応用 アンケート作成法	2 2
専門・共通	市民社会と人間関係 地域社会論 I	2 2	社会学基礎 地域社会論 II 地域社会と I C T	2 2 2	公共の倫理	2	社会心理学	2
教育・福祉 コース専攻科目			現代社会と教育 現代社会と福祉	2 2	地域教育政策 子ども家庭福祉論	2 2	生涯学習概論 地域福祉の理論と方法	2 2

3 年生			4 年生		
前期		後期	前期		後期
インターンシップ実践	1	キャリアデザイン論 B	2		
英語コミュニケーション I	1	英語コミュニケーション II	1		
専門演習 I	1	専門演習 II	1 専門演習 III 卒業研究 I	1 専門演習 IV 卒業研究 II	1
地域課題研究 I	1	地域課題研究 II	1		4
社会調査法演習	2				
スポーツの社会学	2	ジェンダーの社会学	2		
地域スポーツ実践演習	2				
産業教育論	2				
社会保障制度論	2				

観光メディアコース

	1 年生				2 年生			
	前期		後期		前期		後期	
全学共通必修	初年次教育・情報リテラシー 建学の精神と大谷学A	2 2						
文章作成			文章構成法	2	文章要約実践	1	論理的文章作成実践	1
情報処理	情報検索 文書実務	2 1	情報処理演習 A	1	情報処理演習 B	1		
キャリア	キャリアデザイン論 A	2			インターンシップ概論	2		
外国語	英語基礎 I	1	英語基礎 II	1	英語応用 A	1	英語応用 B	1
	総合英語 A	2	総合英語 B	2	イタリア語応用 A	1	イタリア語応用 B	1
	イタリア語基礎 I	1	イタリア語基礎 II	1	ドイツ語応用 A	1	ドイツ語応用 B	1
	ドイツ語基礎 I	1	ドイツ語基礎 II	1	フランス語応用 A	1	フランス語応用 B	1
	フランス語基礎 I	1	フランス語基礎 II	1	中国語応用 A	1	中国語応用 B	1
	中国語基礎 I	1	中国語基礎 II	1				
必修・ゼミ	基礎演習 I	2	基礎演習 II	2	専門基礎演習 I	2	専門基礎演習 II	2
必修・地域研究	社会問題入門	2	地域実践	1				
専門・社会調査			統計学入門	2	統計学応用 社会調査入門	2 2	社会調査応用 アンケート作成法	2 2
専門・共通	市民社会と人間関係 地域社会論 I	2 2	社会学基礎 地域社会論 II 地域社会と I C T	2 2 2	公共の倫理	2	社会心理学	2
観光メディアコース 専攻科目			観光社会学 コミュニケーションの社会学	2 2	観光事業論	2	ニューツーリズム論 地域メディア論	2 2

3 年生			4 年生		
前期		後期	前期		後期
インターンシップ実践	1	キャリアデザイン論 B	2		
英語コミュニケーション I	1	英語コミュニケーション II	1		
専門演習 I	1	専門演習 II	1 専門演習 III 卒業研究 I	1 専門演習 IV 卒業研究 II	1
地域課題研究 I	1	地域課題研究 II	1		4
社会調査法演習	2				
スポーツの社会学	2	ジェンダーの社会学	2		
地域スポーツ実践演習	2				
地域資源管理論	2				
観光メディア演習 I	1	観光メディア演習 II	1		

Ⅵ－４．教育職員免許状の取得

- (1) 教育職員免許状を取得するためには「①教科及び教科の指導法に関する科目」「②教育の基礎的理
解に関する科目等」「③大学が独自に設定する科目」「④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める
科目」よりそれぞれ所要の単位数を修得する必要があります。

中学校教諭一種（社会）

①－１教科及び教科の指導法に関する科目 中学校教諭一種免許状（社会）

単 位 数	教育職員免許法施行規則に 定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
		授業科目	単位数		高等学校教諭 一種免許状 (公民) 共通	
			必修	選択		
28 単 位 以 上	日本史・外国史	日本の歴史	2			
		西洋史	2			
		東洋史	2			
		北海道の歴史		2		
	地理学（地誌を含む。）	日本の地理	2			
		産業経済地理		2		
		北海道の地理		2		
	法律学、政治学	民法入門	2		○	
		地域社会と政治	2		○	
		法学入門		2	○	
	社会学、経済学	市民社会と人間関係	2		○	
		社会学基礎	2		○	
		経済学入門	2		○	
		子ども家庭福祉論	2		○	
		地域社会論Ⅰ		2	○	
		地域社会論Ⅱ		2	○	
		欧米社会論		2	○	
		現代社会と福祉		2	○	
	哲学、倫理学、宗教学	哲学	2		○	
		公共の倫理		2	○	
		社会思想史		2	○	
	各教科の指導法（情報通信技 術の活用を含む。）	社会科教育法 A	2		○	2 年次前期開講
		社会科教育法 B	2		○	2 年次後期開講
		公民教育法 A	2		○	3 年次前期開講
		公民教育法 B	2		○	3 年次後期開講

高等学校教諭一種（公民）

①－２ 教科及び教科の指導法に関する科目 高等学校教諭一種免許状（公民）

単 位 数	教育職員免許法施行規則に定め る科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
		授業科目	単位数		中学校教諭 一種免許状 (社会) 共通	
			必修	選択		
24 単 位 以 上	法律学（国際法を含む。）、政治 学（国際政治を含む。）	国際社会と法	2			
		国際社会と政治	2			
		民法入門	2		○	
		地域社会と政治	2		○	
		法学入門		2	○	
	社会学、経済学（国際経済を 含む。）	国際社会と経済	2			
		市民社会と人間関係	2		○	
		社会学基礎	2		○	
		経済学入門	2		○	
		子ども家庭福祉論	2		○	
		地域社会論Ⅰ		2	○	
		地域社会論Ⅱ		2	○	
		欧米社会論		2	○	
		現代社会と福祉		2	○	
		哲学、倫理学、宗教学、心理 学	哲学	2		○
	公共の倫理			2	○	
	社会心理学			2		
	各教科の指導法（情報通信技 術の活用を含む。）	社会思想史		2	○	
		公民教育法 A	2		○	3 年次前期開講
		公民教育法 B	2		○	3 年次後期開講
		社会科教育法 A		2	○	2 年次前期開講
		社会科教育法 B		2	○	2 年次後期開講

②教育の基礎的理解に関する科目等

単位数		教育職員免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目					配当年次
				授業科目	単位数		免許対象科目		
					必修	選択	中学	高校	
中学27単位 高校23単位以上	10	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2		○	○	1・前期
			教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教師論	2		○	○	1・前期
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2		○	○	3・前期
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		○	○	2・前期
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1		○	○	1・後期
			教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2		○	○	2・後期
	高校8 10	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	2		○		2・後期
			総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		○	○	3・後期
			特別活動の指導法						
			教育の方法及び技術	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）	2		○	○	1・前期
			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	2		○	○	1・後期
			生徒指導の理論及び方法						
			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
			教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の基礎と方法	2		○	○	2・前期
	高校3 5 2	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前事後指導	1		○	○	3－4通年
				教育実地研究	4		○	○	4・通年
			教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2		○	○	4・後期

※「道徳教育の理論と実践」は中学校教諭一種免許状では「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目であり、高等学校教諭一種免許状では「大学が独自に設定する科目」となります。

③大学が独自に設定する科目 大学共通

単位数	対応する開設授業科目				配当年次	
	授業科目	単位数		免許対象科目		
		必修	選択	中学		高校
中学 4 単位 高校12単位	介護等体験	1		○	○	3・通年

※残りの単位は「教科及び教科の指導法に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目等」から修得すること。

※高等学校教諭一種免許状では「介護等体験」に加え「道徳教育の理論と実践」が「大学が独自に設定する科目」に充当されます。

④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

単位数		教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
8 単位	2	日本国憲法	日本国憲法	2	
	2	体育	健康スポーツ学A（体育理論）	1	
			健康スポーツ学B（体育実技）	1	
	2	外国語コミュニケーション	英語基礎Ⅰ	1	
			英語基礎Ⅱ	1	
	2	情報機器の操作	文書実務（Word）	1	
			情報処理演習A（Excel）	1	

(2) 履修継続要件

P50「Ⅲ－4－9. 教職課程の履修の継続要件」を満たし、かつ以下の要件を満たすこと。

① 3年次継続履修要件

- ・「①教科及び教科の指導法に関する科目」の1年次配当科目のうち教職必修科目及び選択必修科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・「②教育の基礎的理解に関する科目等」のうち1年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・「④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」のうち1年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・P104「Ⅵ－2. 授業科目情報」の必修科目のうち1年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。

② 4年次継続履修要件

- ・「①教科及び教科の指導法に関する科目」の1・2年次配当科目のうち教職必修科目及び選択必修科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・「②教育の基礎的理解に関する科目等」及び「③大学が独自に設定する科目」のうち1～3年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。
- ・P104「Ⅵ－2. 授業科目情報」の必修科目のうち1・2年次配当科目の単位をすべて修得済みであること。

VI－5．社会調査実務士と社会調査アシスタントの取得

(1) 社会調査実務士・社会調査アシスタント

資格を取得するためにはそれぞれ所定の単位を修得する必要があります。

	授業科目名	必修	選択
領域 1 (8 単位以上)	社会調査入門	2	
	情報処理演習 A (Excel)	1	
	情報処理演習 B (Excel)	1	
	情報検索	2	
	市民社会と人間関係	2	
	統計学入門		2
	社会心理学		2
	経営学入門		2
	経営学応用		2
	マーケティング入門		2
	マーケティング応用		2
領域 2 (4 単位以上)	社会調査応用	2	
	アンケート作成法	2	
	統計学応用		2
	情報処理応用演習 I		1
	情報処理応用演習 II		1
領域 3 (2 単位以上)	社会調査法演習	2	
	地域課題研究 I		1
	地域課題研究 II		1
	専門演習 III		1
	専門演習 IV		1
必要総修得単位数	社会調査アシスタント	16単位以上	
	社会調査実務士	26単位以上	

VII. 短期大学部保育科の学修

VII－1．卒業要件単位数

必修科目	教養科目	6 単位	
	専門科目	8 単位	
選択科目	教養科目	9 単位以上	48単位以上
	専門科目	32単位以上	
卒業に必要な単位数の合計		62単位以上	

- (1) 必修科目の教養科目は、6 単位全て修得しなければならない。
- (2) 必修科目の専門科目は、8 単位全て修得しなければならない。
- (3) 選択科目の教養科目から 9 単位以上、専門科目から32単位以上修得し、かつ、選択科目及び専門科目にて合計48単位以上を修得しなければならない。
- (4) 保育科の履修登録の年間上限単位数は、各49単位とする。ただし、免許・資格を取得する者を除く。

履修に関すること

授業科目の前期または後期の開講学期については、臨時で変更する場合があります。

VII-2. 授業科目情報

1. 必修科目・保育科教養科目

科目名称	授業形態	単位数		1年次		2年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
初年次教育・情報リテラシー	講義	2		2				○			
日本語コミュニケーション演習（口語表現）	演習	1		1				○			
日本語コミュニケーション演習（文書表現）	演習	1			1			○			
仏教と保育	講義	2			2			○			
卒業に必要な単位数		6									

2. 必修科目・保育科専門科目

科目名称	授業形態	単位数		1年次		2年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
教育原理	講義	2		2					○		
保育原理	講義	2			2				○		
特別研究Ⅰ（音楽）	演習	2		2（通年）							○
特別研究Ⅰ（美術）	演習			2（通年）							○
特別研究Ⅰ（健康）	演習			2（通年）							○
特別研究Ⅰ（自然）	演習			2（通年）							○
特別研究Ⅰ（子育て支援・特別支援）	演習			2（通年）							○
保育者論	講義	2					2		○		
卒業に必要な単位数		8									

3. 選択科目・保育科教養科目

科目名称	授業形態	単位数		1年次		2年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
環境科学	講義		2	2				○			
社会人基礎	講義		2		2			○			
情報処理	講義		2		2			○			
日本国憲法	講義		2		2			○			
英語（口語表現）	演習		1	1				○			
英語（文書表現）	演習		1		1			○			
体育理論	講義		1	1				○			
体育実技	実技		1		1			○			

4. 選択科目・保育科専門科目

科目名称	授業形態	単位数		1 年次		2 年次		ディプロマ・ポリシー			
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4
社会福祉	講義		2	2					○		
子ども家庭福祉	講義		2	2					○		
社会的養護Ⅰ	講義		2		2				○		
社会的養護Ⅱ	演習		1				1		○		
乳児保育Ⅰ	講義		2	2					○		
乳児保育Ⅱ	演習		1		1				○		
保育の心理学	講義		2		2				○		
子どもの保健	講義		2		2				○		
教育課程論	講義		2			2			○		
子ども家庭支援論	講義		2			2			○		
児童文学	講義		2				2		○		
子ども家庭支援の心理学	講義		2				2		○		
教育相談の基礎	講義		2				2		○		
臨床心理学	講義		2				2		○		
子どもの理解と援助	演習		1		1				○		
保育内容総論	演習		1	1					○		
保育音楽Ⅰ	演習		1	1					○		
保育音楽Ⅱ	演習		1		1				○		
保育音楽Ⅲ	演習		1			1			○		
保育音楽Ⅳ	演習		1				1		○		
特別支援教育と保育（理論）	演習		1		1				○		
特別支援教育と保育（実践）	演習		1			1			○		
総合表現	演習		2				2				○
保育美術	演習		1				1		○		
子どもの食と栄養	演習		2	2（通年）					○		
特別研究Ⅱ（音楽）	演習		2			2（通年）					○
特別研究Ⅱ（美術）											○
特別研究Ⅱ（健康）											○
特別研究Ⅱ（自然）											○
特別研究Ⅱ（子育て支援・特別支援）											○
幼児と環境	講義		1	1					○		
幼児と健康	講義		1	1					○		
幼児と言葉	講義		1	1					○		
幼児と人間関係	講義		1	1					○		
幼児と表現	演習		1	1					○		
保育内容（言葉）	演習		1		1				○		
保育内容（健康）	演習		1			1			○		
保育内容（人間関係）	演習		1			1			○		
保育内容（環境）	演習		1			1			○		
保育内容（表現Ⅰ「音楽」）	演習		1			1			○		
保育内容（表現Ⅱ「美術」）	演習		1		1				○		
幼児教育の方法と技術	演習		2			2				○	
子どもの健康と安全	演習		1			1			○		
子育て支援	演習		1			1			○		
保育・教職実践演習（幼）	演習		2				2			○	
保育実習指導Ⅰ	演習		2	2（通年）						○	
保育実習指導Ⅱ	演習		1			1				○	
保育実習指導Ⅲ	演習		1			1				○	
保育実習ⅠA	実習		2		2					○	
保育実習ⅠB	実習		2		2					○	
保育実習Ⅱ	実習		2			2				○	
保育実習Ⅲ	実習		2			2				○	
教育実習Ⅰ	実習		2	2（通年）						○	
教育実習Ⅱ	実習		3			3				○	

VII－3．幼稚園教諭二種免許状の取得と「教育実習Ⅱ」履修資格

・幼稚園教諭二種免許状取得に関する科目・単位数一覧表

(1) 領域に関する専門的事項及び領域及び保育内容の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数 必修 選択	
領域に関する専門的事項	健康	12	幼児と健康	1	
	人間関係		幼児と人間関係	1	
	環境		幼児と環境	1	
	言葉		幼児と言葉	1	
	表現		幼児と表現	1	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保育内容総論	1	
			保育内容（健康）	1	
			保育内容（人間関係）	1	
			保育内容（環境）	1	
			保育内容（言葉）	1	
			保育内容（表現Ⅰ「音楽」）	1	
			保育内容（表現Ⅱ「美術」）	1	

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		保育者論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育の心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育と保育（理論）	1	
			特別支援教育と保育（実践）	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	幼児教育の方法と技術	2	
	幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と援助	1	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の基礎	2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習Ⅰ	2	
			教育実習Ⅱ	3	
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習（幼）	2	

①「教育原理」と「保育者論」は「施行規則に定める科目区分等」の「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）」を含む。

②「教育実習Ⅰ」は事前事後指導1単位含む。

(3) 大学が独自に設定する科目

教育職員免許 法施行規則に 定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目			備考
		授業科目	単位数		
			必修	選択	
大学が独自に 設定する科目	2	総合表現	2		
		特別研究Ⅰ（音楽）		2	いずれか1科目 選択必修
		特別研究Ⅰ（美術）		2	
		特別研究Ⅰ（健康）		2	
		特別研究Ⅰ（自然）		2	
		特別研究Ⅰ（子育て支援・特別支援）		2	
		特別研究Ⅱ（音楽）		2	いずれか1科目 選択
		特別研究Ⅱ（美術）		2	
		特別研究Ⅱ（健康）		2	
		特別研究Ⅱ（自然）		2	
		特別研究Ⅱ（子育て支援・特別支援）		2	
		児童文学		2	
		保育音楽Ⅰ	1		
		保育音楽Ⅱ	1		
		保育音楽Ⅲ	1		
		保育音楽Ⅳ	1		

(4) 教育職員免許法施行規則に定める科目区分第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
教育職員免許法施行規則に定める科目区分第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2	
	体育	2	体育理論	1	
			体育実技	1	
	外国語コミュニケーション	2	英語（口語表現）	1	
			英語（文書表現）	1	
	情報機器の操作	2	情報処理	2	

※上記のほかに、卒業要件に必要な単位を修得する必要があります。

・「教育実習Ⅱ」履修資格

「教育実習Ⅱ」を行うにあたっての心構え

教育実習Ⅱは、幼稚園において3週間（月～金曜日の15日間）実施されます。実習園には、大変忙しい中実習を引き受けていただいております。学生のみなさんは、教育実習を行うのを当然のことと受け止めるのではなく、実習園のご好意によってさせていただいていることを深く受け止め、真摯に取り組んでください。また子どもにとっても大切な3週間を、まだ教員免許を持たない実習生に任されることになります。みなさんの言動が、子どもたちにさまざまな教育的な影響を及ぼすことを考慮して、くれぐれも保育者としての自覚を持って臨んでください。

このように「教育実習Ⅱ」は、幼稚園教諭二種免許状を取得する事を目的とした保育科のカリキュラムの中で特に重要な科目です。そのため本学では教育実習生を送り出すにあたって、次のような履修資格規定を設けております。

- ①保育者になろうという強い意志を有すること。
- ②「教育実習Ⅰ」を履修していること。
- ③以下の科目（6単位）のうち「教育原理」（2単位）を含め、4単位を修得済みであること。
「教育原理」（2単位）、「特別支援教育と保育（理論）」（1単位）、「保育内容総論」（1単位）、「保育内容（言葉）」（1単位）、「保育内容（表現Ⅱ「美術」）」（1単位）
- ④「領域に関する専門的事項」の1年次配当科目（5単位）のうち、3単位以上修得済みであること。
- ⑤「免許法施行規則第66条の6に定める科目」のうち6単位を修得済みであること。なお、「日本国憲法」を含めて修得することが望ましい。
- ⑥実習費を納付していること。
- ⑦「教育実習Ⅱ」履修の認定は、教職委員会において判定し、可否を学生へ通知する。
- ⑧幼保連携型認定こども園で実習する場合には、保育実習Ⅱと同じ園で実習することは原則できない。

VII-4. 保育士資格の取得と保育実習の履修資格

・ 保育士資格取得に関する科目・単位数一覧表（学則第28条の3による）

系列	教科目	設 置 単位数	授業科目	授業 形態	単位数		備考	
					必修	選択		
教養科目	外国語・ 体育以外の 科目	6 単位 以上	初年次教育・情報リテラシー	講義	2			
			仏教と保育	講義	2			
			日本語コミュニケーション演習（口語表現）	演習	1			
			日本語コミュニケーション演習（文書表現）	演習	1			
			日本国憲法	講義	2			
			環境科学	講義		2		
			社会人基礎	講義		2		
			情報処理	講義		2		
	外国語	2	英語（口語表現）	演習	1			
			英語（文書表現）	演習	1			
	体育	2	体育理論	講義	1			
			体育実技	実技	1			
	計					12	6	
						12単位以上		

系列	教科目	設置 単位数	授業科目	授業 形態	単位数		備考
					必修	選択	
必修科目	目的・保育の本質・ に関する科目	2	保育原理	講義	2		
		2	教育原理	講義	2		
		2	子ども家庭福祉	講義	2		
		2	社会福祉	講義	2		
		2	子ども家庭支援論	講義	2		
		2	社会的養護Ⅰ	講義	2		
		2	保育者論	講義	2		
		2	保育の心理学	講義	2		
	理解・保育の対象の に関する科目	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2		
		1	子どもの理解と援助	演習	1		
		2	子どもの保健	講義	2		
		2	子どもの食と栄養	演習	2		
		2	保育の計画と評価	講義	2		
	保育の内容・方法に関する科目	1	保育内容総論	演習	1		
		5	保育内容（健康）	演習	1		
			保育内容（人間関係）	演習	1		
			保育内容（環境）	演習	1		
			保育内容（言葉）	演習	1		
			保育内容（表現Ⅰ「音楽」）	演習	1		
			保育内容（表現Ⅱ「美術」）	演習	1		
		4	幼児と健康	講義	1		
			幼児と人間関係	講義	1		
			幼児と環境	講義	1		
			幼児と言葉	講義	1		
			幼児と表現	演習	1		
			保育音楽Ⅰ	演習	1		
			保育音楽Ⅱ	演習	1		
			総合表現	演習	2		
		2	乳児保育Ⅰ	講義	2		
		1	乳児保育Ⅱ	演習	1		
		1	子どもの健康と安全	演習	1		
		2	障害児保育	特別支援教育と保育（理論） 特別支援教育と保育（実践）	演習 演習	1 1	
		1	社会的養護Ⅱ	演習	1		
		1	子育て支援	演習	1		
	保育実習	4	保育実習ⅠA	実習	2		
			保育実習ⅠB	実習	2		
		2	保育実習指導Ⅰ	演習	2		
	総合演習	2	保育実践演習	演習	2		
	計				57	0	
					57単位		

系列		教科目	設置 単位数	授業科目	授業 形態	単位数		備考	
						必修	選択		
選択必修科目	科目 目的に関する	本学指定科目	15単位 以上	教育相談の基礎	講義		2		
				児童文学	講義		2		
	科目 理解に関する			臨床心理学	講義		2		
				幼児教育の方法と技術	演習		2		
	保育の内容・方法に関する科目			特別研究Ⅰ（音楽）	演習		2	いずれか 選択必修	
				特別研究Ⅰ（美術）	演習		2		
				特別研究Ⅰ（健康）	演習		2		
				特別研究Ⅰ（自然）	演習		2		
				特別研究Ⅰ（子育て支援・特別支援）	演習		2	いずれか 選択	
				特別研究Ⅱ（音楽）	演習		2		
				特別研究Ⅱ（美術）	演習		2		
				特別研究Ⅱ（健康）	演習		2		
				特別研究Ⅱ（自然）	演習		2		
				特別研究Ⅱ（子育て支援・特別支援）	演習		2		
	保育実習	保育実習Ⅱ又は 保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ	実習		2	いずれか 選択必修	
				保育実習Ⅲ	実習		2		
		保育実習指導Ⅱ又は 保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ	演習		1	いずれか 選択必修	
	保育実習指導Ⅲ			演習		1			
	計						0	34	
							9 単位以上		

・短期大学部保育科 保育実習履修資格

- (1) 保育士資格を取得しようとする者は、修得を必要とする科目並びに単位数及び短期大学士の学位を有し、最低必要単位数の保育士資格取得要件78単位以上修得することが必要となります。
- (2) 保育士養成課程授業科目については、P129Ⅶ－4. 保育士資格の取得と保育実習の履修資格に定める「保育士資格取得に関する科目・単位数一覧表」の授業科目及び単位数に従い履修してください。
- (3) 保育実習科目（「保育実習ⅠA」、「保育実習ⅠB」、「保育実習Ⅱ」及び「保育実習Ⅲ」）を履修するにあたっては、下記の要件が必要になります。保育実習科目の履修認定は、本学教職委員会において判定し、可否を学生に通知します。（札幌大谷大学短期大学部保育士養成課程履修規程第5条）
 - ① 保育者になろうという強い意志を有すること。ただし、本人の性行不良、学力劣等などその他の事由により保育者として適格性を欠くと認められる場合は、これを取り消し、または停止することができます。
 - ② 「保育実習ⅠA」及び「保育実習ⅠB」を履修するにあたっては、「保育実習指導Ⅰ」を履修すること。
 - ③ 「保育実習Ⅱ」を履修するにあたっては、「保育実習ⅠA」を履修済みであり、併せて「保育実習指導Ⅱ」を履修すること。
 - ④ 「保育実習Ⅲ」を履修するにあたっては、「保育実習ⅠB」を履修済みであり、併せて「保育実習指導Ⅲ」を履修すること。
 - ⑤ 実習費を納付していること。
 - ⑥ 幼保連携型認定こども園で実習する場合には教育実習Ⅱと同じ園で実習することは原則できない。
- (4) 保育実習科目の実習日数は次のとおりとする。

科目名		おおむねの実習
保育実習ⅠA	2単位	10日
保育実習ⅠB	2単位	10日
保育実習Ⅱ	2単位	10日
保育実習Ⅲ	2単位	10日

本学は、教育上有益と認めるときは、学生が在学中または入学前に他の短期大学等指定保育士養成施設において履修した教科目の単位を、30単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなすことができる。

VII-5. 履修モデル

保育科では、みなさんの卒業までの学びが、ご自分の理想に近づくように履修モデルを設定しております。

履修モデルはディプロマ・ポリシーごとに科目を設定しております。その科目がディプロマ・ポリシーの「人間性」「知識理解」「協調性」「知識活用」のどの要素に生きてくるか体系的に示しております。

卒業までの短い期間でどのように力を伸ばしていくかをカリキュラムとして可視化したものが履修モデルです。

保育科履修モデル（カリキュラム・ツリー）

DP	1 年生				2 年生			
建学の精神に基づいた豊かな人間性と、真理を探究する姿勢を持ち、社会人としての基礎的教養を身につけている。	初年次教育・情報リテラシー	2	仏教と保育	2				
	日本語コミュニケーション演習（口語表現）	1	日本語コミュニケーション演習（文書表現）	1				
	環境科学	2	社会人基礎情報処理	2				
			日本国憲法	2				
	英語（口語表現）	1	英語（文書表現）	1				
	体育理論	1	体育実技	1				
幼児教育・保育にかかわる理論と技術、子どもの成長・発達についての専門的知識を修得している。	教育原理	2	保育原理	2	教育課程論	2	保育者論	2
	社会福祉	2	社会的養護Ⅰ	2	子ども家庭支援論	2	社会的養護Ⅱ	1
	保育音楽Ⅰ	1	保育の心理学	2	保育音楽Ⅲ	1	保育音楽Ⅳ	1
	子ども家庭福祉	2	保育音楽Ⅱ	1	特別支援教育と保育（実践）	1	児童文学	2
			子どもの保健	2	保育内容（健康）	1	子ども家庭支援の心理学	2
	乳児保育Ⅰ	2	子どもの理解と援助	1	保育内容（人間関係）	1	教育相談の基礎	2
	乳児保育Ⅱ	2	乳児保育Ⅱ	1	保育内容（環境）	1	臨床心理学	2
	保育内容総論	1	特別支援教育と保育（理論）	1	保育内容（表現Ⅰ「音楽」）	1	保育美術	1
	子どもの食と栄養				保育内容（表現Ⅱ「美術」）	1		
	幼児と健康	1	保育内容（言葉）	1	子どもの健康と安全	1		
	幼児と環境	1	保育内容（表現Ⅱ「美術」）	1	子育て支援	1		
	幼児と言葉	1						
社会の様々な問題に関心に向け、幼児教育・保育の現場で他者と協力して対応する行動力を身につけている。	教育実習Ⅰ				幼児教育の方法と技術	2	保育・教職実践演習（幼）	2
	保育実習指導Ⅰ		保育実習ⅠA	2	保育実習指導Ⅱ	1		
			保育実習ⅠB	2	保育実習指導Ⅲ	1		
					保育実習Ⅱ	2		
					保育実習Ⅲ	2		
					教育実習Ⅱ	3		
各々の関心に基づく得意分野を持ち、幼児教育・保育の実践に活かすことができる。	特別研究Ⅰ（音楽、美術、健康、自然、子育て支援・特別支援）	2			特別研究Ⅱ（音楽、美術、健康、自然、子育て支援・特別支援）	2		
					総合表現	2		

Ⅷ. 短期大学部専攻科保育専攻の学修

VIII－1．修了要件単位数

必修科目	専門科目	8 単位
選択科目	専門科目	38単位以上
	専門関連科目	
修了に必要な単位数の合計		46単位以上

- (1) 必修科目の専門科目は、8 単位全て修得しなければならない。
- (2) 選択科目の専門科目及び専門関連科目は、その中から38単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専攻科の履修登録の年間上限単位数は、各40単位とする。

履修に関すること

授業科目の前期または後期の開講学期については、臨時で変更する場合があります。

VIII-2. 授業科目情報

1. 必修科目・専攻科保育専攻専門科目

科目名称	授業形態	単位数		1 年次		2 年次		ディプロマ・ポリシー				
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
発達心理学特論Ⅰ	講義	2		2					○			
発達心理学特論Ⅱ	講義	2			2				○			
幼児教育課程特論	演習	4		4 (通年)						○		
修了に必要な単位数		8										

2. 選択科目・専攻科保育専攻専門科目

科目名称	授業形態	単位数		1 年次		2 年次		ディプロマ・ポリシー				
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
障害児教育臨床	講義		2		2				○			
保育健康特論	講義		2	2					○			
教育相談特論	講義		2		2				○			
子育て支援特論Ⅰ	演習		1	1					○			
子育て支援特論Ⅱ	演習		1		1				○			
表現法「音楽」	演習		2	2 (通年)							○	
表現法「美術」	演習		2	2 (通年)							○	
子どもと自然環境	演習		2	2 (通年)							○	
保育内容研究「音楽」	演習		2	2 (通年)							○	
保育内容研究「美術」	演習		2			2 (通年)					○	
保育内容研究「健康」	講義		2		2						○	
保育内容研究「造形」	演習		2	2 (通年)							○	
保育内容研究「言葉」	講義		2	2							○	
教育原理特論	講義		2			2			○			
保育人間関係特論Ⅰ	講義		2			2			○			
保育人間関係特論Ⅱ	講義		2				2		○			
子どもの特別支援と精神保健	講義		4			4 (通年)			○			
保育環境特論	演習		2			2 (通年)			○			
保育音楽特論	演習		2			2 (通年)			○			
保育美術特論	演習		2			2 (通年)			○			
基礎ゼミナール	演習		2	2 (通年)								○
修了研究	演習		4			4 (通年)						○
幼稚園実習	実習		3	3						○		
保育所実習	実習		2		2					○		
施設実習	実習		2		2					○		

3. 選択科目・専攻科保育専攻専門関連科目

科目名称	授業形態	単位数		1 年次		2 年次		ディプロマ・ポリシー				
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
仏教思想史特論Ⅰ	講義		2	2				○				
仏教思想史特論Ⅱ	講義		2		2			○				
実用英語	演習		2	2 (通年)				○				
情報処理演習	演習		2	2 (通年)				○				
職業論	講義		2			2		○				
仏教文化史	講義		2				2	○				
日本語表現法	講義		4			4 (通年)		○				

Ⅷ－３．幼稚園教諭一種免許状の取得

・幼稚園教諭一種免許状取得に関する科目・単位数一覧表（※幼稚園教諭二種免許状取得者対象）

(1) 領域に関する専門的事項及び領域及び保育内容の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
領域に関する専門的事項	健康	4	保育健康特論		2
	人間関係		保育人間関係特論Ⅰ		2
	環境		保育環境特論		2
	言葉		保育音楽特論		2
	表現		保育美術特論		2
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	保育内容研究「音楽」		2
			保育内容研究「美術」		2
			保育内容研究「健康」		2
			保育内容研究「言葉」		2

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4	教育原理特論	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学特論Ⅰ	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		子どもの特別支援と精神保健		4
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	—			
	幼児理解の理論及び方法				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談特論		2
教育実践に関する科目	教育実習	—			
	教職実践演習	—			

①「教育相談特論」は「施行規則に定める科目区分等」の「幼児理解の理論及び方法を含む」を含む。

(3) 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		
		授業科目	単位数	
			必修	選択
大学が独自に設定する科目	12	表現法「音楽」		2
		表現法「美術」		2
		幼児教育課程特論	4	
		子育て支援特論Ⅰ		1
		子育て支援特論Ⅱ		1
		日本語表現法		4

①「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて8単位以上を修得すること。

VIII－4．学位授与機構への申請

VIII－4－1．学位授与機構申請のための単位修得

申請者は、下記の表1を確認のうえ、単位を修得してください。申請の際には申請者自身が授業科目を分類及び整理し、申告しなければなりません。

表1

分類	基礎資格校単位	積上単位	
	(短大修得単位)	認定専攻科の単位	大学の単位
「専門科目」の単位	62単位以上修得済み	62単位以上修得予定	
「関連科目」の単位			
「専攻外科目」の単位			

※基礎資格校単位は短大で修得済みの単位です。

※積上単位は専攻科で修得予定の単位です。

《積上単位で必要な単位数：62単位以上》

「専門科目」（「修了研究」を含める）＝31単位以上

「専門科目」（「修了研究」を含めない）＋「関連科目」＝40単位以上

《基礎資格校単位と積上単位を合わせて必要な単位数》

「専門科目」＋「関連科目」＝62単位以上（ただし「専門科目」40単位以上、「関連科目」4単位以上）

「関連科目」＋「専攻外科目」＝24単位以上

「外国語科目」＝1単位以上

『基礎資格校単位（62単位以上）』＋『積上単位（62単位以上）』＝124単位以上

- ・「専門科目」、「関連科目」、「専攻外科目」の分類については表2を確認してください。
- ・学士を取得するためには「基礎ゼミナール」及び「修了研究」を修得してください。

Ⅷ－４－２．学位授与機構申請用科目分類一覧

表２ 科目分類（保育専攻）2022年度札幌大谷大学短期大学部卒業生適用

科目区分	摘要	授業科目名	単位数	科目区分	摘要	授業科目名	単位数
専門科目	教育学・教育心理学に関する科目	教育原理	2	専門科目	幼児教育・保育に関する科目	保育実習Ⅲ	2
		保育の心理学	2			子育て支援	1
		子どもの理解と援助	1			社会的養護Ⅱ	1
		子ども家庭支援の心理学	2			保育内容研究「音楽」	2
		臨床心理学	2			保育内容研究「造形」	2
		教育相談の基礎	2			保育内容研究「健康」	2
		発達心理学特論Ⅰ	2			幼児教育課程特論	4
		発達心理学特論Ⅱ	2			保育内容研究「言葉」	2
		教育相談特論	2			子どもと自然環境	2
		教育原理特論	2			保育健康特論	2
	幼児教育・保育に関する科目	保育音楽Ⅰ	1		幼児教育・保育に関する科目	表現法「音楽」	2
		保育音楽Ⅱ	1			表現法「美術」	2
		特別研究Ⅰ（音楽）	2			基礎ゼミナール	2
		特別研究Ⅰ（美術）	2			幼稚園実習	3
		特別研究Ⅰ（自然）	2			保育所実習	2
		特別研究Ⅰ（健康）	2			施設実習	2
		特別研究Ⅰ（子育て支援・特別支援）	2			子育て支援特論Ⅰ	1
		保育原理	2			子育て支援特論Ⅱ	1
		保育内容（言葉）	1			保育内容研究「美術」	2
		保育内容（表現Ⅱ「美術」）	1			保育人間関係特論Ⅰ	2
		総合表現	2		特別支援教育に関する科目	保育人間関係特論Ⅱ	2
		教育実習Ⅰ	2			保育音楽特論	2
		子どもの食と栄養	2			保育美術特論	2
		保育内容総論	1			保育環境特論	2
		乳児保育Ⅰ	2			特別支援教育と保育（理論）	1
		保育実習指導Ⅰ	2			特別支援教育と保育（実践）	1
		保育実習ⅠA	2			障害児教育臨床	2
		保育実習ⅠB	2			子どもの特別支援と精神保健	4
		社会的養護Ⅰ	2		養護教育に関する科目	子どもの保健	2
		保育音楽Ⅲ	1			子どもの健康と安全	1
		保育音楽Ⅳ	1		関連科目	仏教と保育	2
		保育美術	1			仏教思想史特論Ⅰ	2
		児童文学	2			仏教思想史特論Ⅱ	2
		特別研究Ⅱ（音楽）	2			歴史・文化に関する科目	2
		特別研究Ⅱ（美術）	2			社会に関する科目	2
		特別研究Ⅱ（健康）	2			法律・行政・経営に関する科目	2
		特別研究Ⅱ（自然）	2			情報科学に関する科目	2
		特別研究Ⅱ（子育て支援・特別支援）	2			福祉に関する科目	2
		保育者論	2			社会福祉	2
		教育課程論	2			子ども家庭福祉	2
		幼児と環境	1			子ども家庭支援論	2
		幼児と健康	1			修了研究	4
		幼児と言葉	1	専攻総まとめ科目	専攻外科目	初年次教育	1
		幼児と人間関係	1			体育理論	1
		幼児と表現	1			体育実技	1
		保育内容（健康）	1			環境科学	2
		保育内容（人間関係）	1			英語（口語表現）	1
		保育内容（環境）	1			英語（文書表現）	1
		保育内容（表現Ⅰ「音楽」）	1			社会人基礎	2
		幼児教育の方法と技術	2			日本語コミュニケーション演習（口語表現）	1
		保育・教職実践演習（幼）	2			日本語コミュニケーション演習（文書表現）	1
		教育実習Ⅱ	3			実用英語	2
		乳児保育Ⅱ	1			日本語表現法	4
		保育実習指導Ⅱ	1				
		保育実習指導Ⅲ	1				
		保育実習Ⅱ	2				

VIII－5．履修モデル

専攻科保育専攻では、みなさんの卒業までの学びが、ご自分の理想に近づけるように履修モデルを設定しております。

履修モデルはディプロマ・ポリシーごとに科目を設定しております。その科目がディプロマ・ポリシーの「人間性」「知識理解」「協調性」「知識活用」「論理的思考力」のどの要素に活かってくるか体系的に示しております。

卒業までの短い期間でどのように力を伸ばしていくかをカリキュラムとして可視化したものが履修モデルです。

専攻科保育専攻履修モデル

DP	1 年生		2 年生	
建学の精神に基づいた豊かな人間性と、学びの成果を活用して社会に貢献しようとする使命感を持ち、社会人としての教養を身につけている。	仏教思想史特論Ⅰ	2	日本語表現法	4
	仏教思想史特論Ⅱ	2	職業論	2
	実用英語	2	仏教文化史	2
	情報処理演習	2		
幼児教育・保育にかかわる理論を自分なりに理解するとともに、子どもの成長・発達についての幅広い専門的知識を修得している。	発達心理学特論Ⅰ	2	教育原理特論	2
	発達心理学特論Ⅱ	2	保育人間関係特論Ⅰ	2
	保育健康特論	2	保育人間関係特論Ⅱ	2
	障害児教育臨床	2	子どもの特別支援と精神保健	4
	子育て支援特論Ⅰ	1	保育環境特論	2
	子育て支援特論Ⅱ	1	保育音楽特論	2
	教育相談特論	2	保育美術特論	2
社会の問題を多角的に捉え、客観的に把握するとともに、他の専門職と協働して解決に向けて行動するリーダーシップを身につけている。	幼児教育課程特論	4		
	幼稚園実習	3		
	保育所実習	2		
	施設実習	2		
各々の得意分野をさらに磨き、幼児教育・保育の実践に必要な高い技術を持っている。	表現法「音楽」	2	保育内容研究「美術」	2
	表現法「美術」	2		
	子どもと自然環境	2		
	保育内容研究「音楽」	2		
	保育内容研究「健康」	2		
	保育内容研究「造形」	2		
	保育内容研究「言葉」	2		
一定のテーマについて根拠に基づいて論理的に考察し、的確に表現することができる。	基礎ゼミナール	2	修了研究	4

Ⅸ. 札幌大谷大学・ 札幌大谷大学短期大学部 副専攻 (マイナープログラム)

IX. 札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部副専攻（マイナープログラム）

IX－１．副専攻（マイナープログラム）とは

大学・短大の学部及び学科等で編成する教育課程とは別に、特定の分野について、授業科目を体系的に編成することにより、学生の自律性及び専門的知識・技術の修得と活用力を育成することを目的とします。

なお、卒業と同時に副専攻（マイナープログラム）の修了を認定することができる学生には、「副専攻（マイナープログラム）修了認定証書」を授与します。

これは、就職活動において履歴書に卒業見込みとあわせて修了見込みを表記することで、学生のキャリア教育を支援します。

IX－２．履修登録

所定の期間内に授業科目の履修登録をしてください。なお、他学部他学科の授業科目の履修登録について、次の場合は履修できません。

①所属する学部・学科の学生を優先して履修者数を制限する場合

②時間割の上で、所属する学部・学科の必修科目等と同じ時間帯に設定されている場合

副専攻（マイナープログラム）で履修登録する授業科目の単位は、学生の所属学部・学科の登録の上限単位数に含まれます。

副専攻（マイナープログラム）で修了した授業科目の単位は、学生の所属する学部学科の卒業要件における単位として認定します。

③前学期における学費等納付金が納入されていない場合

IX－３．修了認定の要件

① 札幌大谷大学学則第28条または札幌大谷大学短期大学部学則第25条の卒業の要件を満たしていること。

② 副専攻（マイナープログラム）における各種プログラムで定める修了認定の要件単位数を修得していること。

IX－４．各種プログラム（履修体系）

副専攻（マイナープログラム）における各種プログラムの名称、編成する授業科目、履修条件、修了認定の要件単位数等については、次のとおりです。今後、新しいプログラムができましたらお知らせいたします。

なお、各種プログラムの中には履修条件を設けているものがあり、授業開講前に条件を満たしていない場合は履修できません。

(1) 音楽実技系レッスン〔楽器名又は専攻科目名〕

履修条件は、

①受講を希望する期の前学期分の学納金を納めていること、②受講料を納めること、③履修に必要な読譜能力を有していること、④楽器を用意することです。履修の希望が多い場合は、履修人数を制限する場合があります。その際は抽選等の適当な方法（例えば、楽器は大学の借用よりも所有している者を優先する等）により履修者を決定します。

また、器楽を履修する場合は、その楽器を持っているか、または購入する必要があります。

楽器を購入する場合は、授業始めのガイダンスで担当教員と相談してから購入するようにしてください。

詳細は、「Ⅳ－４．実技演奏法（レッスン）の主専攻・副科・副専攻」を参照してください。

科目名称	授業形態	学科区分	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		合計				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
実技演奏法Ⅰ （副専攻・【楽器名又は専攻科目名】）	実技	音楽	2									2			
実技演奏法Ⅱ （副専攻・【楽器名又は専攻科目名】）	実技	音楽			2									2	
実技演奏法Ⅲ （副専攻・【楽器名又は専攻科目名】）	実技	音楽			2									2	
実技演奏法Ⅳ （副専攻・【楽器名又は専攻科目名】）	実技	音楽				2									2
修了認定に必要な単位数												8			

授業科目1つにつき、1回の個人レッスンを30分（通常授業90分の3分の1）で、半期15回（週）実施します。

この副専攻プログラムに限り、学費とは別の追加受講料が発生します。

音楽学科音楽総合コースの学生は17単位目から選択科目として学費とは別の追加受講料が発生します。

なお、追加受講料は1科目につき90,000円です。

上記、「実技演奏法Ⅰ～Ⅳ（副専攻・【楽器名又は専攻科目名】）」の【楽器名又は専攻科目名】は次のとおりとなります（要選択）。

ピアノ、チェンバロ、電子オルガン、声楽、ミュージカル歌唱、フルート、ピッコロ、オーボエ、クラリネット、バスクラリネット、ファゴット、サクソフォン、トランペット、ホルン、トロンボーン、バストロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、パーカッション、ドラム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギター、箏、作曲、ハープ、ポピュラー・ジャズピアノ

(2) 音楽指導〔ピアノ〕

履修条件は、音楽学科以外の学生は事前にプレイスメントテストを受験すること、プレイスメントテストの結果、一定の基準を満たす者について履修することができます。

科目名称	授業形態	学科区分	1年次		2年次		3年次		4年次		合計
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
実技教材研究Ⅰ（ピアノ）	講義	音楽			2						2
実技教材研究Ⅱ（ピアノ）	講義	音楽				2					2
実技教材研究Ⅲ（ピアノ）	講義	音楽					2				2
実技教材研究Ⅳ（ピアノ）	講義	音楽						2			2
音楽実技教授法Ⅰ（ピアノ）	演習	音楽							1		1
音楽実技教授法Ⅱ（ピアノ）	演習	音楽								1	1
修了認定に必要な単位数											10

(3) 音楽指導〔吹奏楽・合唱〕

履修条件は、音楽学科以外の学生は事前にプレイスメントテストを受験すること、プレイスメントテストの結果、一定の基準を満たす者について履修することができます。

科目名称	授業形態	学科区分	1年次		2年次		3年次		4年次		合計
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
実技教材研究Ⅰ（吹奏楽・合唱）	講義	音楽			2						2
実技教材研究Ⅱ（吹奏楽・合唱）	講義	音楽				2					2
実技教材研究Ⅲ（吹奏楽・合唱）	講義	音楽					2				2
実技教材研究Ⅳ（吹奏楽・合唱）	講義	音楽						2			2
音楽実技教授法Ⅰ（吹奏楽・合唱）	演習	音楽							1		1
音楽実技教授法Ⅱ（吹奏楽・合唱）	演習	音楽								1	1
修了認定に必要な単位数											10

(4) 音楽文化

履修条件は、履修に必要な読譜能力を有していること。

科目名称	授業 形態	学科 区分	1年次		2年次		3年次		4年次		合計	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
音楽リテラシー演習Ⅰ	演習	音楽			1						1	音楽リテラシーに関する科目群
音楽リテラシー演習Ⅱ	演習	音楽				1					1	
音楽リテラシー演習Ⅲ	演習	音楽					1				1	
音楽リテラシー演習Ⅳ	演習	音楽					1				1	
コンサートプロデュース論	講義	音楽					2				2	音楽製作に関する科目群
芸術メディア論	講義	音楽・美術			2						4	音楽文化に関する科目群（選択）
美学A	講義	音楽・美術					2				4	
美学B	講義	音楽・美術					2				4	
修了認定に必要な単位数											10	

(5) 総合造形

履修条件は、特になし。

科目名称	授業形態	学科区分	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		合計	備考	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
色彩学	講義	美術	2								4	講義系 科目群 (選択)	
西洋美術史 A	講義	美術	2										
西洋美術史 B	講義	美術		2									
日本美術史 A	講義	美術	2										
日本美術史 B	講義	美術		2									
コンテンポラリーアート	講義	美術			2								
アートマネジメント	講義	美術			2								
共通基礎 A	実技	美術	6								6	実技系 科目群 (選択)	
共通基礎 B	実技	美術		6									
共通基礎 C	実技	美術		4									
		修了認定に必要な単位数									10		

(6) 美術教養

履修条件は、特になし。

科目名称	授業形態	学科区分	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		合計	備考	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
色彩学	講義	美術	2								4	造形系 科目群 (選択)	
西洋美術史 A	講義	美術	2										
西洋美術史 B	講義	美術		2									
日本美術史 A	講義	美術			2								
日本美術史 B	講義	美術				2							
コンテンポラリーアート	講義	美術		2									
アートマネージメント	講義	美術					2						
デザイン概論	講義	美術	2								4	デザイン系 科目群 (選択)	
マスメディア論	講義	美術					2						
情報デザイン論	講義	美術		2									
感性デザイン論	講義	美術			2								
コピーライティング	講義	美術					2						
マーケティング入門	講義	地域社会			2								
		修了認定に必要な単位数									8		

(7) 総合デザイン

履修条件は、ノートパソコンと科目担当教員から指示されるアプリケーションソフトウェアを用意すること。

科目名称	授業形態	学科区分	1年次		2年次		3年次		4年次		合計	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
デザイン概論	講義	美術	2								4	講義系科目群 (選択)
マスメディア論	講義	美術					2					
情報デザイン論	講義	美術					2					
感性デザイン論	講義	美術					2					
コピーライティング	講義	美術					2					
マーケティング入門	講義	地域社会					2				4	実技系科目群 (選択)
イラストレーション	実技	美術					2					
フォトグラフィ	演習	美術					2					
共通基礎A	実技	美術					2					
共通基礎B	実技	美術					2					
Webデザイン(応用)	実技	美術						2			8	
サウンドデザイン(基礎)	実技	美術						2				
修了認定に必要な単位数											8	

(8) 地域メディア

履修条件は、ノートパソコンと科目担当教員から指示されるアプリケーションソフトウェアを用意すること。

科目名称	授業形態	学科区分	1年次		2年次		3年次		4年次		合計	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
マスメディア論	講義	美術					2				2	
地域メディア論	講義	地域社会					2				2	
写真・映像論	講義	美術					2				2	(選択)
映像メディア表現	演習	美術					2					
コピーライティング	講義	美術					2				2	
映像制作演習Ⅰ	演習	音楽・美術					3				2	(選択) ※1
観光メディア演習Ⅰ	演習	地域社会					1					
観光メディア演習Ⅱ	演習	地域社会						1				
修了認定に必要な単位数											10	

※1 「映像制作演習Ⅰ」または「観光メディア演習Ⅰ・Ⅱ」のどちらかを選択

(9) コミュニティデザイン

履修条件は、ノートパソコンと科目担当教員から指示されるアプリケーションソフトウェアを用意すること。

授業科目の名称	授業形態	学科区分	1年次		2年次		3年次		4年次		合計	備考	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
商品開発論	講義	地域社会					2				2		
コミュニティビジネス論	講義	地域社会						2			2		
色彩学	講義	美術	2									2	(選択)
情報デザイン論	講義	美術			2								
感性デザイン論	講義	美術			2								
コンピュータ造形	演習	美術	2								2	(選択)	
共通基礎A	実技	美術	6										
共通基礎B	実技	美術		6									
イラストレーション	実技	美術			2								
メディア研究A	演習	美術					4			2	(選択) ※ 1		
地域課題研究Ⅰ	演習	地域社会					1						
地域課題研究Ⅱ	演習	地域社会						1					
			修了認定に必要な単位数									10	

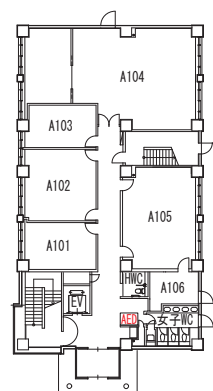
※ 1 「メディア研究 A」または「地域課題研究 I・II」のどちらかを選択

(10) インターンシップ

専攻科保育専攻対象

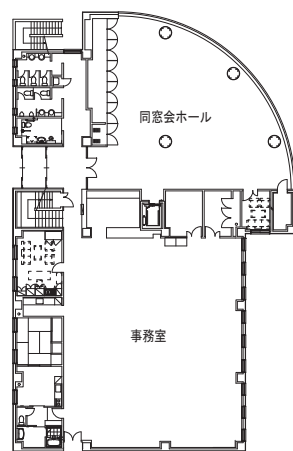
授業科目の名称	授業形態	学科区分	1年次		2年次		合計	備考
			前期	後期	前期	後期		
インターンシップ概論	講義	地域社会	2				2	
インターンシップ実践	実習	地域社会	1				1	
キャリアデザイン論B	講義	地域社会		2			2	
		修了認定に必要な単位数					5	

X. 資料

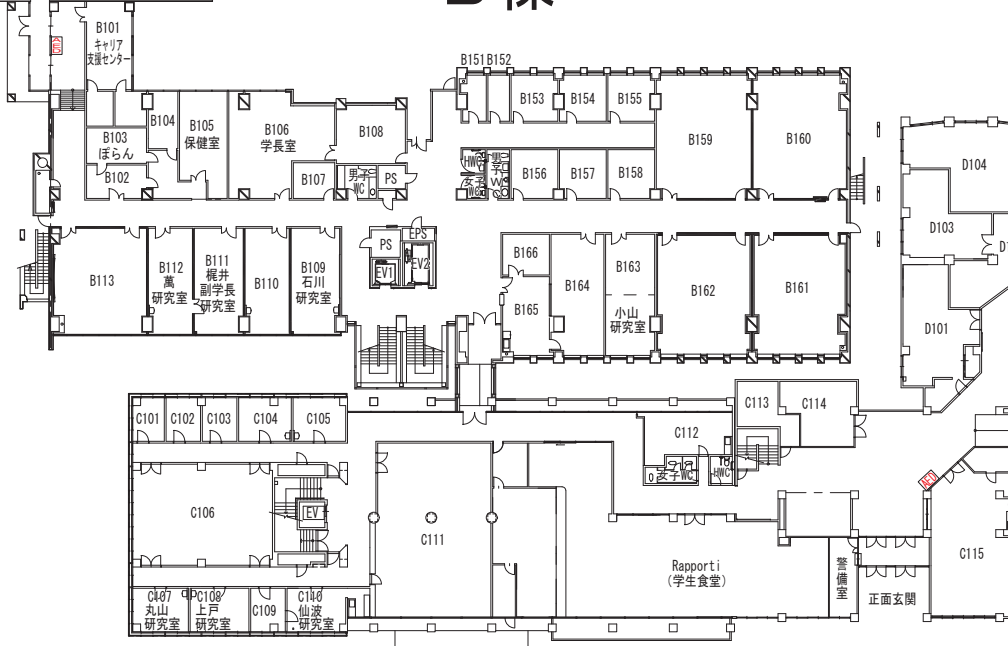


A 棟

百周年記念館

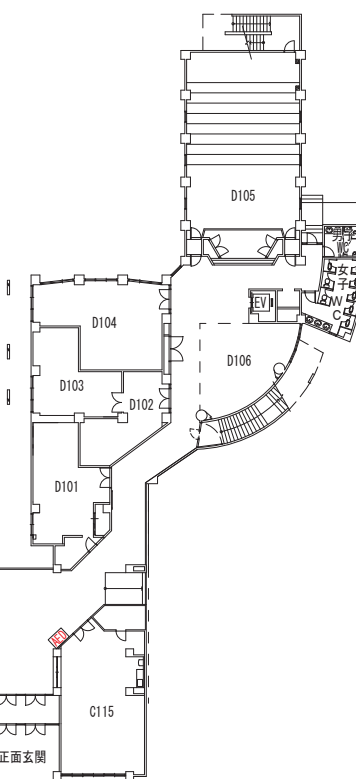


B 棟

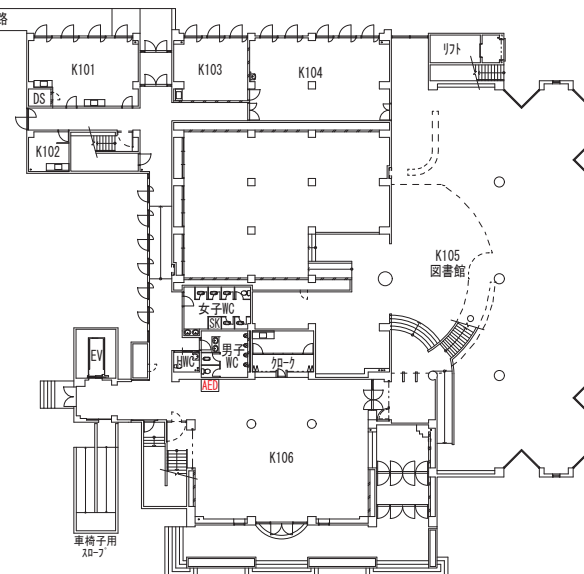


C 棟

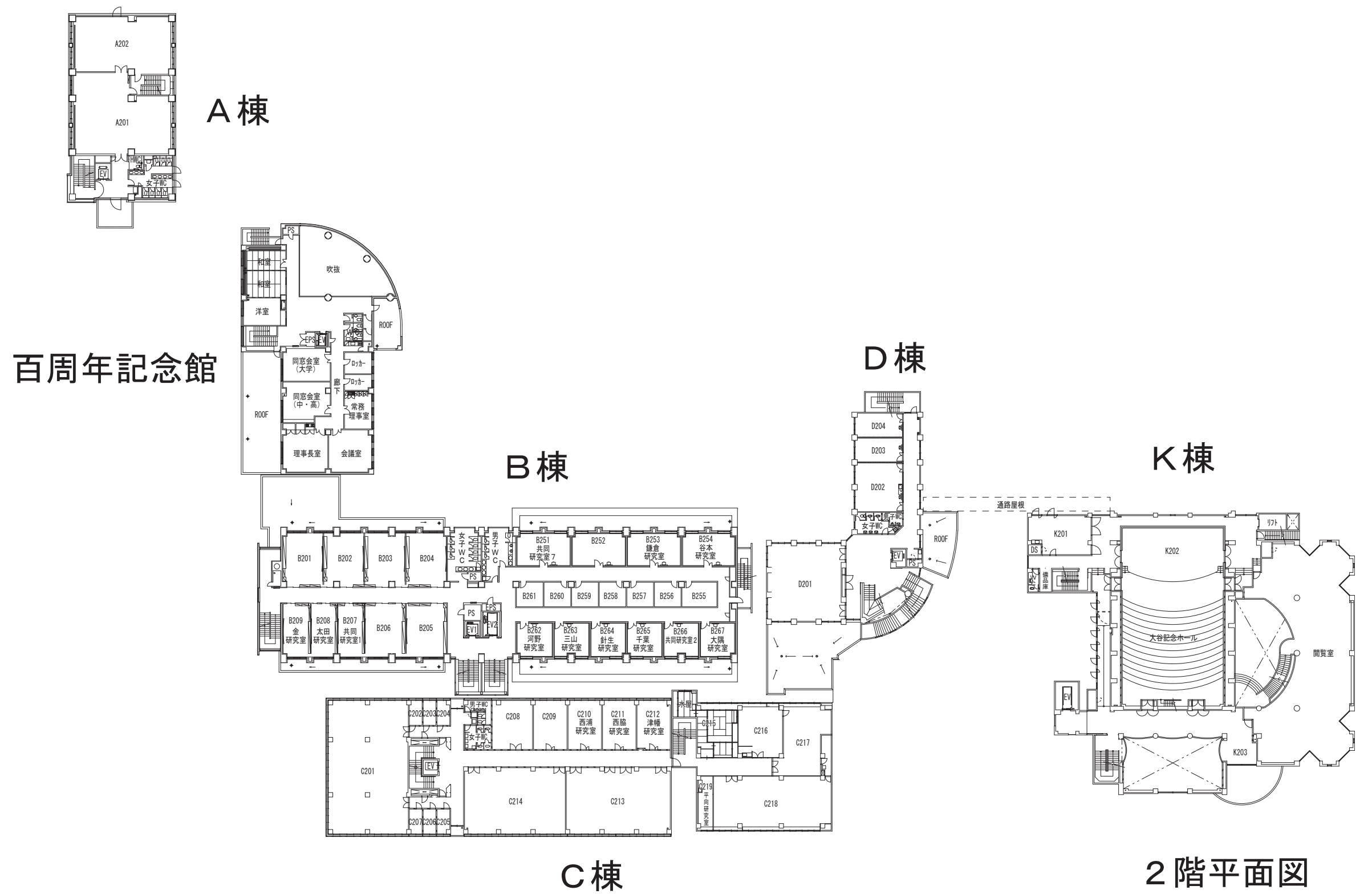
D 棟

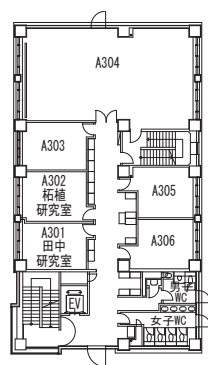


K 棟

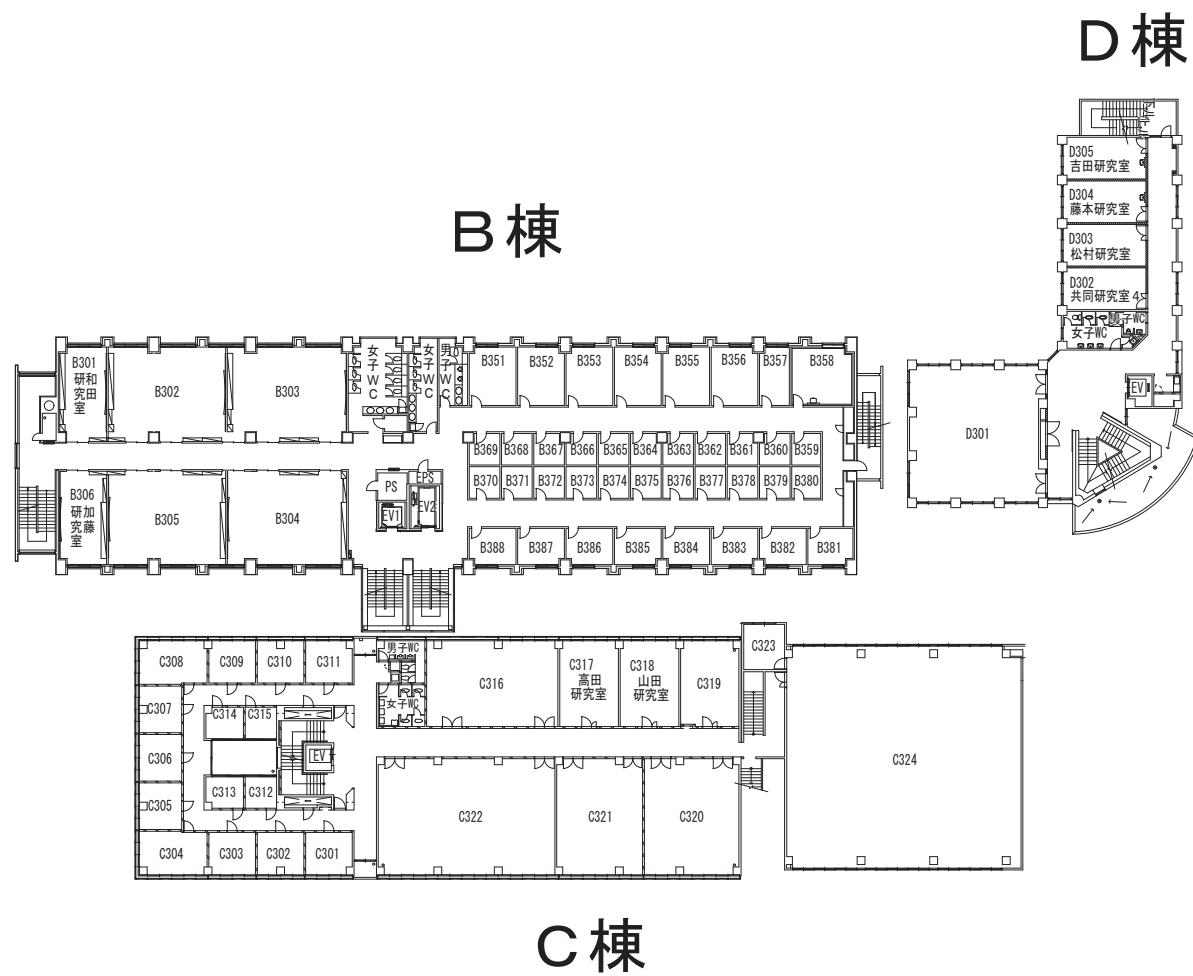


1 階平面図



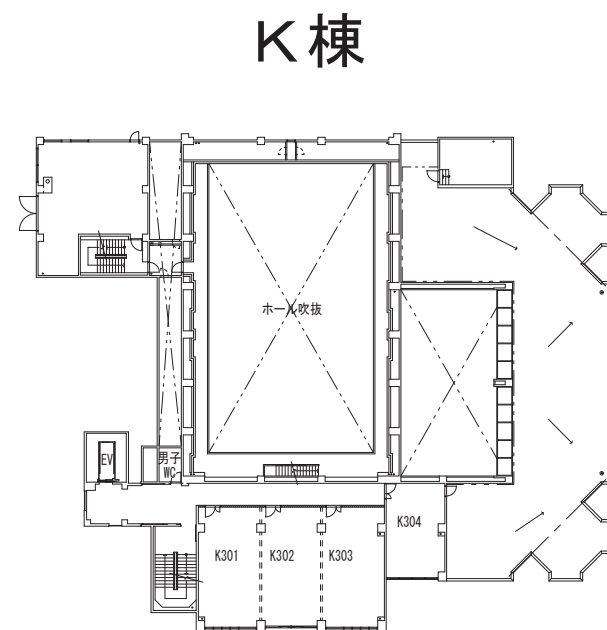
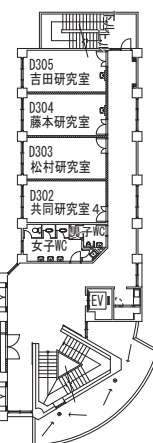


A 棟



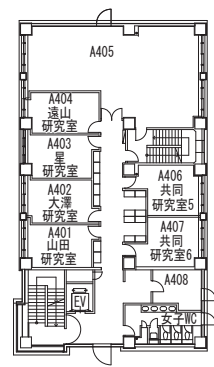
B 棟

D 棟

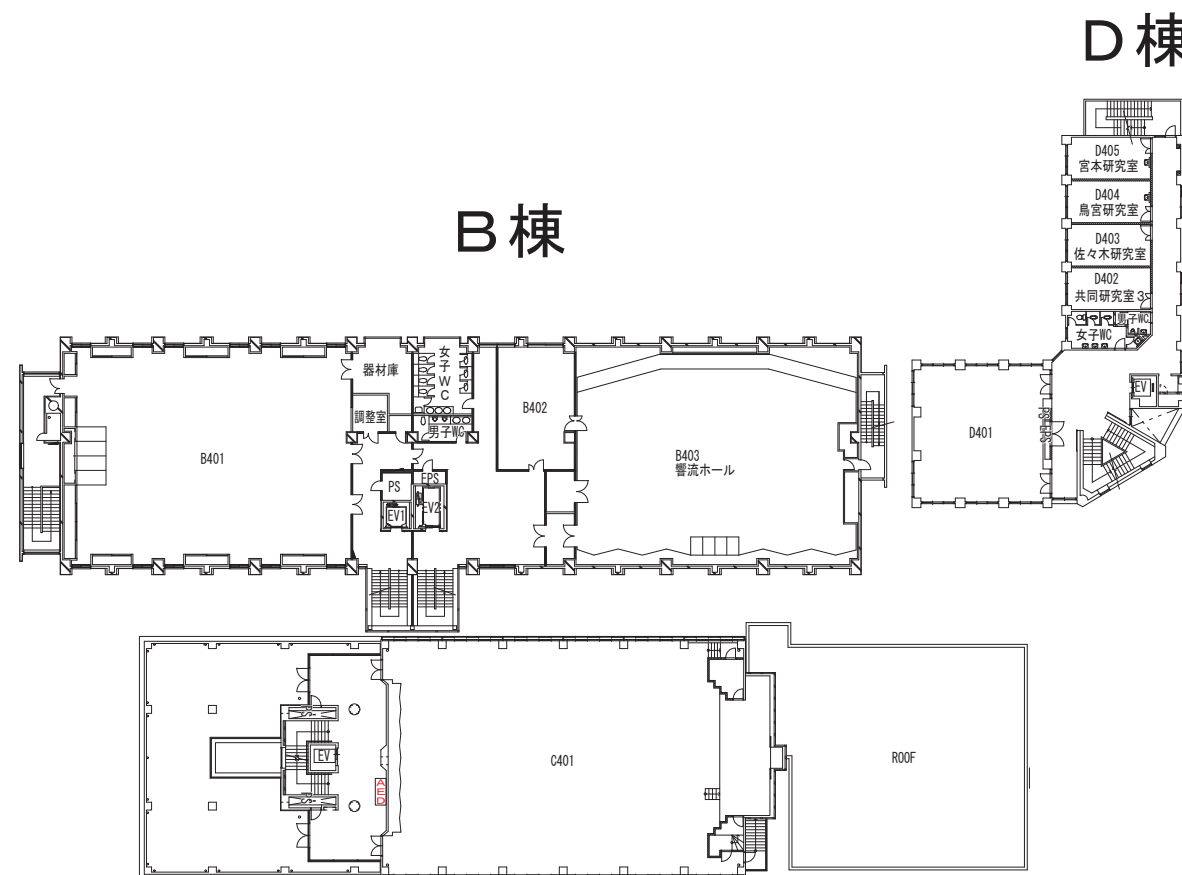


K 棟

3 階平面図



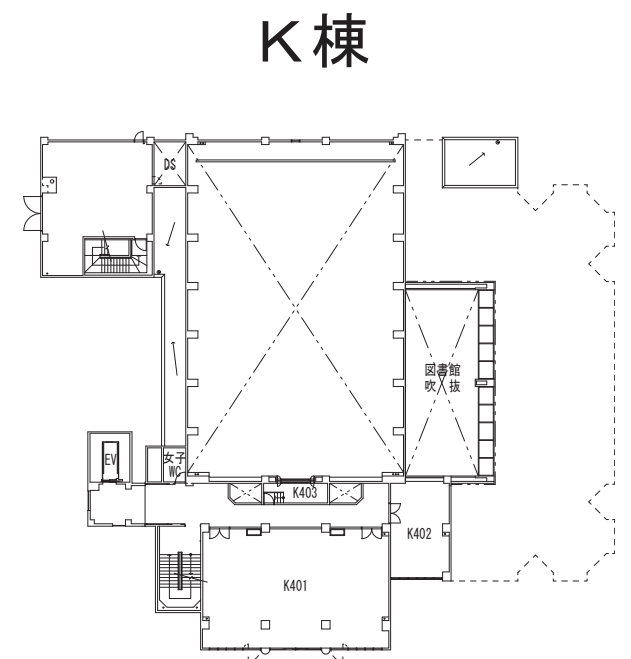
A 棟



B 棟

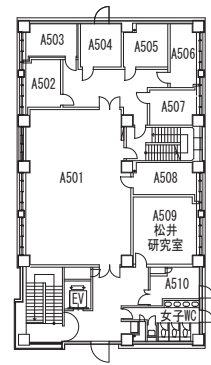
D 棟

C 棟

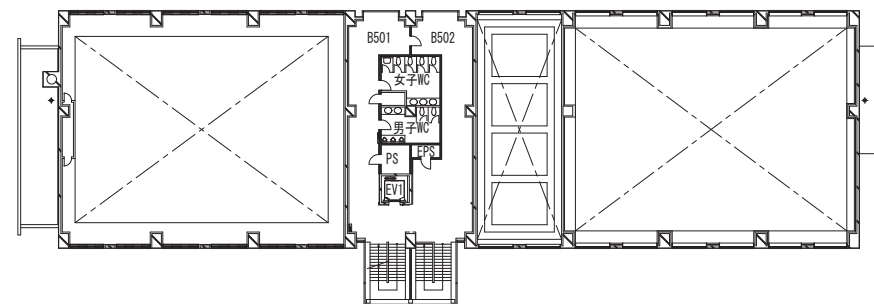


K 棟

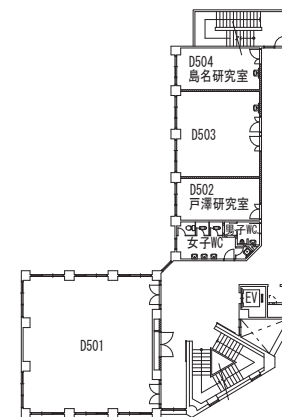
4 階平面図



A 棟

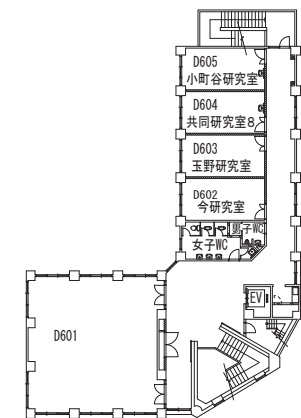


B 棟



D 棟

5 階平面図



D 棟

6 階平面図

札幌大谷大学

札幌大谷大学短期大学部

〒065-8567 札幌市東区北16条東9丁目1-1
Tel.011-742-1651 Fax.011-742-1654

学籍番号

ふりがな
学生氏名